

Canon

コントロールROM

CR-MES/MEN

コントロールフォントROM

CFR-M1/M2

N201 ユーザーズガイド

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

はじめに

このたびは、キヤノンコントロールROM (CR-MES、CR-MEN)、コントロールフォントROM (CFR-M1、CFR-M2) をお買い求めいただきましてまことにありがとうございます。

本書はコントロールROM、コントロールフォントROMでご利用いただけるエミュレーションモード（以降N201エミュレーションモードと呼びます）の各種の機能や操作パネルを使った操作のしかた、およびエミュレーションモードで使用できる制御命令などを詳しく説明しています。本書をよくお読みになり、正しくご使用ください。

なお、本書をお読みになる前に、必ずLBPシリーズ／iRシリーズの取扱説明書をお読みください。

本書は、LBPシリーズ付属の「ユーザーズガイド」および「LIPS機能ガイド」、iRシリーズ付属の「LIPSプリンタガイド」または「LIPSリファレンスガイド」といっしょにご活用ください。

Canon、Canonロゴ、iR、LBP、LIPSは、キヤノン株式会社の商標です。

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

ご注意

- 本書の内容を無断で転載することは禁止されております。
- 本書に記載されている内容は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

本書の構成

本書は、次のような構成になっています。

第1章 ご使用になる前に

N201エミュレーションモードの特長を紹介します。

第2章 N201モードの解説

N201エミュレーションモードの概要とエミュレーションモードの持ついろいろな機能について説明します。

本エミュレーションモードを初めてお使いになるときや、エミュレーションモードの機能の全容を知りたいときにお読みください。

第3章 N201モードの設定

操作パネルを使って行うことのできるN201エミュレーションモードのメニュー設定と、その操作について説明します。

本エミュレーションモードで作業するときにお読みください。

第4章 制御命令

PC-PR201/80Aの制御命令およびLBPシリーズ/iRシリーズ専用の制御命令について説明します。

独自にプログラミングを行われるときにお読みください。

付 録

N201エミュレーションモードをお使いになるときの注意事項や制限事項、初期状態の設定値、テストプリントのサンプルなどを掲載します。

必要に応じてお読みください。

本書で使用している記号

本書では、説明を分かりやすくするために、いろいろな記号を使用しています。



：操作の手順を説明しています。



：詳細な説明や、補足的な説明を行っています。



：ご使用上の注意事項や制限事項を説明しています。



：製品の破損などにつながる注意事項を説明しています。



：関連事項が説明されているページを知らせます。《P.ページ》



：制御命令のパラメータを説明しています。

対応機種について

お使いのLBPシリーズ/iRシリーズによっては、本ROMを使用できない機種があります。

本ROMが使用できるかどうかについては、LBPシリーズに付属の「設置ガイド」または「ユーザーズガイド」、iRシリーズに付属の「LIPSプリンタガイド」または「LIPSリファレンスガイド」をご覧ください。

目次

第1章 ご使用になる前に	1-1
1.1 N201モードの特長	1-2
1.2 N201モードを使用する準備	1-5
1.3 PCN-201Hとの互換性について (LBPシリーズのみ)	1-6
第2章 N201モードの解説	2-1
2.1 用紙のセット	2-2
2.2 ページフォーマット	2-5
2.2.1 ページフォーマットの種類	2-9
(1) 実寸で縦に印刷する【実寸縦：Fmode 1】	2-10
(2) 実寸で横に印刷する【実寸横：Fmode 2】	2-12
(3) 連続用紙 (10×11インチ) をA4縦に印刷する【10"→A4縦：Fmode 3】	2-13
(4) 連続用紙 (15×11インチ) をA4横に印刷する【15"→A4横：Fmode 4】	2-15
(5) 連続用紙 (15×11インチ) をB4横に印刷する【15"→B4横：Fmode 6】	2-17
(6) 2/3倍に縮小して縦に印刷する【2/3縦：Fmode 7】	2-19
(7) 2/3倍に縮小して横に印刷する【2/3横：Fmode 8】	2-22
2.2.2 1ページの文字数と行数	2-25
2.3 ワイド領域に印刷する	2-26
2.3.1 ワイド領域モードのページフォーマット	2-26
(1) 連続用紙 (10×11インチ) をA4縦いっぱい印刷する 【10"→A4縦：Fmode 3：ワイド領域】	2-26
(2) 連続用紙 (15×11インチ) をA4横いっぱい印刷する 【15"→A4横：Fmode 4：ワイド領域】	2-28
(3) 連続用紙 (15×11インチ) をB4横いっぱい印刷する 【15"→B4横：Fmode 6：ワイド領域】	2-29
2.3.2 ワイド領域での1ページの文字数と行数	2-30
2.4 ページフォーマットと用紙サイズの関係	2-31
2.5 印字領域と印字動作	2-34

2.5.1	印字領域の上端での印字動作	2-34
2.5.2	印字領域の左端での印字動作	2-36
2.5.3	印字領域の下端での印字動作	2-38
2.5.4	印字領域の右端での印字動作	2-40
2.6	N201モードの拡張機能	2-41
2.6.1	ページオーバーレイ機能	2-41
	(1) システムページ	2-42
	(2) ユーザページ	2-44
2.6.2	複写用紙機能	2-47
2.6.3	マクロ機能	2-51
2.6.4	行桁固定機能	2-55
2.6.5	2ページ印刷機能	2-60

第3章 N201モードの設定3-1

3.1 N201モードの設定項目の種類3-3

3.2 N201モードの設定3-7

3.2.1 ページレイアウトグループ3-7

- (1) ページフォーマットを設定する (ページフォーマット)3-7
- (2) 用紙位置を設定する (用紙位置)3-10
- (3) 上余白を設定する (上余白)3-11
- (4) 用紙位置を左右に微調整する (用紙位置微調整)3-13
- (5) 印字領域を設定する (領域)3-16
- (6) 右マージンの位置を設定する (右マージン既定値)3-17
- (7) 用紙サイズを設定する (用紙サイズ)3-18
- (8) 2ページ分のデータを1ページに印刷する (2ページ印刷設定)3-19

3.2.2 行桁固定グループ3-20

- (1) 改行ピッチを自動的に設定する (行固低機能)3-20
- (2) 文字ピッチを自動的に設定する (桁固定機能)3-21
- (3) 1ページの行数を設定する (行数)3-22
- (4) 1行の文字数を設定する (桁数)3-23
- (5) 漢字の文字ピッチを設定する (漢字ピッチ)3-24

3.2.3	フォントグループ	3-25
(1)	漢字の書体を設定する (漢字書体)	3-25
(2)	オプションの漢字書体を設定する (フォントID)	3-26
(3)	漢字サイズを設定する (漢字サイズ)	3-27
(4)	OCR文字を設定する (LBPシリーズ: OCR文字、iRシリーズ: OCRフォント)	3-28
(5)	ゼロの書体を設定する (ゼロ書体)	3-30
(6)	国別文字を設定する (国別文字)	3-31
(7)	JISコードの種類を切り替える (漢字グラフィックセット)	3-32
3.2.4	印字機能グループ	3-33
(1)	イメージデータの補正を設定する (イメージの補正)	3-33
(2)	登録文字のサイズを設定する (外字サイズ)	3-34
(3)	グラフィックのドット列ピッチを設定する (グラフィック)	3-36
(4)	システムページのオーバーレイ印字を設定する (システムオーバーレイ)	3-37
(5)	マクロ機能を設定する (スタートアップマクロ)	3-39
(6)	ユーザページ1のオーバーレイ印字を設定する (LBPシリーズ: ユーザオーバーレイ1、iRシリーズ: ユーザオーバーレイ1設定)	3-40
(7)	ユーザページ2のオーバーレイ印字を設定する (LBPシリーズ: ユーザオーバーレイ2、iRシリーズ: ユーザオーバーレイ2設定)	3-41
3.2.5	印字動作グループ	3-42
(1)	ヘキサ形式モード後の改行無視の設定 (LBPシリーズ: HEXモード後のLF、iRシリーズ: HEXモード後の改行設定)	3-42
(2)	復帰コード受信時の動作を設定する (CR機能)	3-43
(3)	印字開始命令を設定する (印字指令)	3-44
(4)	バッファフル時の動作を設定する (バッファフル)	3-45
3.2.6	VFCグループ	3-46
(1)	改行ピッチの設定 (改行幅)	3-46
(2)	カット紙のページ長の設定方法を選択する (単票用紙長機能)	3-47
(3)	初期状態で有効になるページ長を設定する (用紙長機能)	3-48
(4)	ページ長を設定する (用紙長設定)	3-49

(5) ミシン目スキップ行数を設定する (ミシン目スキップ)	3-51
3.2.7 その他のグループ	3-52
(1) 登録データの削除方法を設定する (登録レベル)	3-52
(2) ヘキサ形式モードを設定する (HEX/LIPS機能)	3-53
(3) フォーム登録時のLIPSモードを設定する (LIPSフォーム)	3-55

第4章 制御命令

4.1 制御命令の種類	4-2
(1) PC-PR201/80Aの基本制御命令	4-4
(2) PC-PR201/80Aの拡張制御命令	4-4
(3) LBPシリーズ専用命令	4-7
4.2 基本制御命令	4-9
(1) 水平タブ位置への移動	4-9
(2) 改行	4-9
(3) 垂直タブ位置への移動	4-10
(4) 改ページ	4-10
(5) 復帰	4-11
(6) 文字の横幅拡大指定	4-11
(7) 文字の横幅拡大解除	4-12
(8) データの削除	4-12
(9) VFUのセット開始	4-12
(10) VFUのセット終了	4-14
(11) VFUの実行	4-15
4.3 拡張制御命令	4-16
4.3.1 [ESC]シーケンス	4-16
(1) VFUの簡易セット	4-16
(2) パイカモードの指定	4-17
(3) パイカモードの指定	4-17
(4) コンデンスモードの指定	4-18
(5) エリートモードの指定	4-18
(6) プロポーションナルモードの指定	4-18

(7) 漢字横印字モードの指定	4-19
(8) 漢字縦印字モードの指定	4-19
(9) カタカナモードの指定	4-20
(10) ひらがなモードの指定	4-20
(11) スーパースクリプト文字の指定	4-21
(12) サブスクリプト文字の指定	4-22
(13) スクリプト文字の解除	4-22
(14) 文字の登録 (16×16ドット構成)	4-23
(15) 文字の登録 (24×24ドット構成)	4-24
(16) 1バイトコード文字の登録 (プロポーショナルモード時)	4-25
(17) 1バイトコード文字の登録 (HDパイカ/エリート/コンデンスモード時)	4-26
(18) 登録文字の印字	4-28
(19) プリンタ内文字の印字	4-28
(20) 登録文字の全消去	4-28
(21) 文字の拡大指定	4-29
(22) 文字の繰り返し印字	4-30
(23) 強調印字の指定	4-31
(24) 強調印字の解除	4-31
(25) ライン印字モードの指定	4-32
(26) ライン印字モードの解除	4-32
(27) ラインの設定	4-33
(28) ドットスペース量の指定	4-33
(29) 8ビット・ドット列イメージの印字	4-34
(30) 16ビット・ドット列イメージの印字	4-35
(31) 24ビット・ドット列イメージの印字	4-36
(32) 8ビット・ドット列イメージの繰り返し印字	4-37
(33) 16ビット・ドット列イメージの繰り返し印字	4-38
(34) 24ビット・ドット列イメージの繰り返し印字	4-39
(35) ドットアドレッシング	4-40
(36) コピーモードの指定	4-41
(37) ネイティブモードの指定	4-42

(38) 水平タブの設定	4-43
(39) 水平タブの部分解除	4-44
(40) 水平タブの全解除	4-44
(41) 左マージンの設定	4-45
(42) 右マージンの設定	4-46
(43) 半角漢字の縦印字モードの指定	4-47
(44) 半角漢字の縦印字モードの解除	4-47
(45) 半角漢字の2文字構成縦印字モードの指定	4-48
(46) 改行ピッチの設定 (1/6インチ)	4-48
(47) 改行ピッチの設定 (1/8インチ)	4-49
(48) 改行ピッチの設定 (n/120インチ)	4-49
(49) 順方向改行モードの設定	4-50
(50) 逆方向改行モードの設定	4-50
(51) カラー印字の指定	4-52
(52) 改ページ	4-52
(53) 改ページ	4-53
(54) LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理	4-53
4.3.2 [FS]シーケンス	4-54
(1) 漢字の文字ピッチの指定 (3/20インチ)	4-54
(2) 漢字の文字ピッチの指定 (1/5インチ)	4-54
(3) 漢字の文字ピッチの指定 (1/6インチ)	4-55
(4) 漢字の文字ピッチの指定 (2/15インチ)	4-55
(5) 漢字の文字ピッチの指定 (1/10インチ)	4-55
(6) 漢字の文字ピッチの指定 (1/6インチ)	4-56
(7) 縦縮小文字の2文字縦構成の印字モードの指定	4-56
(8) 文字修飾の指定	4-57
(9) 文字の拡大/縮小指定	4-58
(10) 漢字の文字ピッチの指定	4-59
(11) 文字ピッチの調整	4-60
(12) アンダー/アッパーラインの太さの指定	4-61
(13) 漢字文字サイズの指定	4-62

4.4	LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令	4-63
4.4.1	フォーム作成の制御命令	4-63
	(1) ユーザページの登録	4-63
	(2) ユーザページの登録終了	4-64
	(3) LIPSの制御命令によるユーザページの登録	4-65
	(4) LIPSの制御命令によるユーザページの登録終了	4-67
	(5) 複写ページの登録	4-68
	(6) 複写ページの消去	4-69
	(7) 複写用紙のオーバーレイ印字開始	4-69
	(8) 複写用紙のオーバーレイ印字終了	4-70
4.4.2	文字修飾の制御命令	4-71
	(1) 漢字の文字ピッチの指定	4-71
	(2) ANK文字サイズの指定	4-72
	(3) 全文字印字	4-73
4.4.3	マクロ機能の制御命令	4-74
	(1) マクロの登録	4-74
	(2) マクロの実行	4-75
	(3) マクロの削除	4-75
	(4) マクロの追加登録	4-76
4.4.4	LIPSモードの制御命令	4-77
	(1) LIPS-ヘキサ形式モードの開始	4-77
	(2) LIPSモードへの移行	4-78
4.4.5	そのほかの制御命令	4-79
	(1) 右マージンの設定	4-79
	(2) ヘキサ形式データの設定	4-80
付 録		app.1
付録1.	N201モードの注意と制限	app.1
	(1) 解像度の違いについて	app.1
	(2) 文字セット・フォントパターンについて	app.2
	(3) そのほかの制限	app.3
	(4) PC-PR201シリーズのDIPスイッチの機能について	app.6

付録2. 初期状態	app.8
付録3. N201ステータスプリント	app.19
付録4. 内蔵フォームの印字サンプル	app.20
付録5. コード表	app.25
(1) 1バイトコード表	app.25
(2) 2バイトコード表	app.26

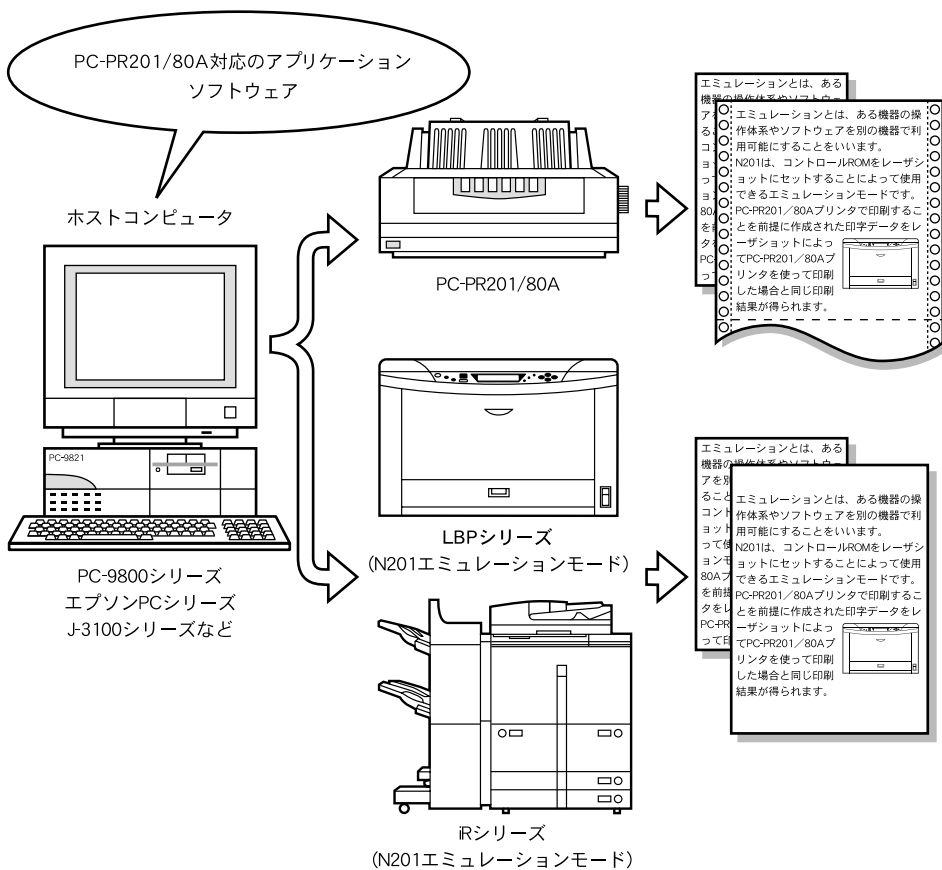
1

ご使用になる前に

本ROM (CR-MES、CR-MEN、CFR-M1、CFR-M2) をLBPシリーズ/iRシリーズにセットすることによって、N201エミュレーションモードをご利用いただけます。

LBPシリーズ/iRシリーズの動作モードが本ROMのN201エミュレーションモードに切り替わることによって、PC-PR201/80Aプリンタを使って印字したときと同等の印字を行うことができます。

LBPシリーズ/iRシリーズのLIPSモードに対応していないアプリケーションソフトウェアなどをお使いのときは、アプリケーション側でプリンタ機種にPC-PR201/80A(または同等の機種)を指定し、本エミュレーションモードをご利用ください。



1

ご使用になる前に

1.1 N201モードの特長

PC-9800シリーズに対応……………

PC-PR201／80Aが接続可能なすべてのPC-9800シリーズ（エプソンPCシリーズ、J-3100シリーズも含まれます）をホストコンピュータとして利用できます。

このため、PC-9800シリーズの豊富なアプリケーションソフトウェア群で作成したデータを印字することが可能です。

豊富な書体をサポート……………

PC-PR201／80Aの持っているすべての文字フォントに対応する専用のフォントが用意されています。英数字・カタカナ・ひらがな（1バイトコード文字）は、パイカ、エリート、コンデンス、プロポーションナルを、漢字（2バイトコード文字）は明朝体、ゴシック体、丸ゴシック体（丸ゴシック体がプリンタに搭載されている場合のみ）を使用できます。また、このほかOCR文字（OCR-A、OCR-B、OCR-カナ）があります。

ページのレイアウトを活かした印字……………

PC-PR201／80Aと同じサイズの内紙をセットすれば、PC-PR201／80Aと同じレイアウトで印字できることはもちろんですが、印字する内紙に応じて印字データを縮小してレイアウトを変えずに印字することもできます。

たとえば、連続用紙に印字するためのデータをレイアウトを変えることなく、そのままカット紙に印字したり、B4サイズのデータをA4サイズのカット紙に印字したりすることが可能です。《☞ P.2-5》

1ページの文字数や行数を簡単に決定……………

1ページに印字したい行数や文字数が決まっていれば、その行数や文字数に合わせて改行ピッチと文字ピッチを自動的に設定できます。また、文字幅の異なる漢字と英数字を混ぜて印字したときに、文字がきれいにそろうように文字間隔を調整することもできます。この機能を行桁固定機能といいます。この機能は、LBPシリーズでは操作パネルのセットアップメニュー（N201グループ）、iRシリーズでは操作パネルのN201設定によって利用できます。《☞ P.2-55》

用紙を無駄なく活用した印字

印字データを縮小すると、用紙の上下、左右の余白ができることがあります。

このようなき、印字領域をワイド領域にすることによって、文字数や行数を用紙サイズいっぱいまで広げて印字することができ、用紙を無駄なく使えます。《☞ P.2-26》

設定しやすいメニュー構造

このエミュレーションモードでは、操作パネルを使って印字に必要ないろいろな設定を行うことができます。印字設定の項目はメニュー形式で並んでおり、ディスプレイに表示されるメニューにしたがって簡単に探すことができます。それぞれの設定は、LBPシリーズでは操作パネルのセットアップメニュー（N201グループ）、iRシリーズでは操作パネルのN201設定で行うことができます。《☞ P.3-1》

印字設定はメモリに登録

メニューなどで設定した印字環境は、自動的に不揮発性メモリに登録されます。ですから、いったん設定値を登録してしまえば、他の動作モードに移ったり、電源をオフ（同等のリセット処理も含みます）にしたりしても、いつでも同じ設定で印字を行うことができます。

印字データと定型フォームを重ねて印字

ページ全体を枠取りしたり、1行おきに網や横罫を入れたりするデータをページ単位であらかじめ用意しておき、プログラムリストや帳票データなどを印字する際に、重ねて印字することができます。この機能をページオーバーレイ機能といい、重ねる罫線や網かけデータをフォームといいます。

LBPシリーズ/iRシリーズには、5種類の汎用的なフォームが登録されていますが、必要に応じてユーザ独自のフォームを作成し、登録することもできます。《☞ P.2-41》

バックカーボン付き複写用紙のような印字が可能

バックカーボン付き複写用紙を使用したときと同じように、1ページの印字データを送るだけで、複写枚数分の印字を行えます。この機能を複写用紙機能といいます。それぞれの複写ページには、共通の枠や罫線などをオーバーレイ印字することができるほか、異なるタイトル名などをページごとにオーバーレイ印字することもできます。《☞ P.2-47》

定型的な処理を登録.....

一連の処理を行う制御命令の手順や、文字・イメージなどのデータが繰り返し使用される場合は、それらのデータを登録し、必要なときに呼び出して実行することができます。この機能をマクロ機能といいます。マクロを使うと、同じ印字データを繰り返し送る必要がなくなるため、印字処理を効率化できます。マクロの登録や実行は制御命令によって行えます。《☞ P.2-51》

また、制御命令でリセット処理が行われた場合に自動的に特定のマクロを実行することもできます。このマクロをスタートアップマクロといい、LBPシリーズでは操作パネルのセットアップメニュー（N201グループ）、iRシリーズでは操作パネルのN201設定で設定できます。《☞ P.3-39》

2ページのデータを見開きで印字.....

A4サイズやB5サイズの用紙2ページ分の内容を、A3サイズやB4サイズの用紙に見開きになるように印字することができます。印字した文書を二つ折りにしてとじるときなどに便利です。

なお、文書のとじかたに応じて、右開きまたは左開きになるようにページの向きを設定することも可能です。《☞ P.2-60》

1.2 N201モードを使用する準備

LBPシリーズ/iRシリーズには、LIPSモード（LIPSⅡ+、LIPSⅢ、LIPSⅣ）のほかに、PC-PR201/80AプリンタをエミュレートするN201、PC-9800シリーズをはじめ、DOS/VやIBM-PC系のコンピュータで使用されるESC/P準拠プリンタをエミュレートするESC/Pエミュレーションモードが内蔵されています。

ただし、この内蔵のN201エミュレーションモードは一部の機能が省略されていますので、本ROM（CR-MES、CR-MEN、CFR-M1、CFR-M2）をLBPシリーズ/iRシリーズにセットすることによって省略されていた機能を使用することができます。

印字を行うときのLBPシリーズ/iRシリーズのモード（動作モードといいます）は、送られてくる印字データを判別して自動的に切り替わりますので、特に設定する必要はありません。ただし、動作モードの自動切り替えがうまくいかなかったり、印刷が正常に行えない場合は、動作モードを本エミュレーションに設定してください。

使用するモードが決まっているときなどは、動作モードの設定を本エミュレーションに設定することをお勧めします。詳しくは、LBPシリーズ/iRシリーズ付属のマニュアルをご覧ください。

また、セントロニクスインタフェースで使用している場合に、動作モードを固定しても正常に印刷されないときは、以下の操作を行ってください。

(1) 専用インタフェースケーブルを使用してください。

(2) LBPシリーズの場合はインタフェースの設定を「セントロニクス」に設定、ハードリセットまたは電源のオフ/オンをしてください。

詳しくは、LBPシリーズ付属のマニュアルをご覧ください。



ハードディスクを装着しているLBPシリーズで本エミュレーションを使用する場合、「タイムアウト」を無効（シナイ）に設定すると正常に動作しない場合がありますのでご注意ください。



■N201エミュレーションモードは、従来のLBPシリーズで使用できるPCN-201Hコントロールカードの機能を網羅し（一部サポートしていない命令もあります）、かつ新しいLBPシリーズに対応したPC-PR201/80Aのエミュレーションモードです。

■コントロールROM（CR-MES、CR-MEN）をLBPシリーズに取り付ける手順については、LBPシリーズ付属のマニュアルをご覧ください。

1.3 PCN-201Hとの互換性について（LBPシリーズのみ）

コントロールROMのN201エミュレーションモードは、旧コントロールカードPCN-201Hのエミュレーションと次の点などで異なります。

旧エミュレーションモードをご利用の方は、本エミュレーションモードをご利用になる前に、ここの説明をよくお読みください。

ページフォーマットFmode 4, 7, 8のイメージ印字

旧エミュレーションモードでは、ページフォーマットFmode4,7,8のときにイメージを実寸で印字していましたが、本エミュレーションモードでは、LBPシリーズの解像度が600dpiまたは300dpiであるため同じ大きさに見えるように印字するためイメージを拡大しています。

文字フォント

文字フォントのデザインが旧エミュレーションモードと異なります。

メニューの操作とリセット処理

旧エミュレーションモードでは、操作パネルによって排紙やメニュー操作を行ったときに一部のメニュー操作を除き印字パラメータが保持されていましたが、本エミュレーションモードでは、それらの操作を行った場合にジョブ終了が行われます。

文字修飾の立体文字

文字修飾で立体にした文字の側面部は白抜きになっていましたが、本エミュレーションモードでは文字を他の文字と同様に重ね書きするため、側面部が白抜きではなくなります。

イメージの展開

旧エミュレーションモード対応のLBPシリーズの解像度240dpiと、本エミュレーションモード対応のLBPシリーズの解像度600dpiまたは300dpiとの違いから、イメージの展開方法が異なります。本エミュレーションモードでは、イメージの印字方法をメニューの「イメージの補正」で選択できます。

登録文字の印字

エミュレーションモード対応のLBPシリーズの解像度の違いによって、登録文字はLBPシリーズ専用命令およびPC-PR201/80Aの制御命令共に拡大して登録されます。登録文字の展開方法は、メニューの「外字サイズ」でイメージとして扱うか、文字として扱うかを選択できますが、設定に関わらず文字修飾を行う場合は常に文字として扱われ、修飾を行えます。

複写用紙機能の開始

複写用紙機能の開始を指定した場合、旧エミュレーションモードでは現在ページから機能が有効になりましたが、本エミュレーションモードでは現在のページに影響を与えず、次ページから有効になります。

システムページのフォーム

オーバーレイ印字を行うシステムページの定形フォームの矩形罫線は、旧エミュレーションモードでは1ページ内の印字可能行数を元に罫線を描いていましたが、本エミュレーションモードでは有効印字領域を元に描きます。

また、システムページ2および5の網かけの順序は、旧エミュレーションモードでは網罫から始まっていましたが、本エミュレーションモードでは網かけしない行から始まります。

オーバーレイページの反転・上書き

旧エミュレーションモードではオーバーレイページに対して実ページの反転・上書き印字ができましたが、本エミュレーションモードではできません。

LIPS-ヘキサ形式モード

旧エミュレーションモードは、LIPS II+の命令のみ使用でき、LIPSのジョブ開始/終了命令、ソフトリセット命令は無効でしたが、本エミュレーションモードではLIPS命令に制限が緩和され、LIPSのジョブ開始/終了命令、ソフトリセット命令も有効になります。したがって、LIPSのジョブ終了命令でLIPS-ヘキサ形式モードを終了します。

また、従来はLIPS-ヘキサ中に登録したものはLIPS-ヘキサを終了するときに削除していましたが、本エミュレーションモードでは削除せず、登録されています。

また、本エミュレーションではN201モードで登録したのも、LIPS-ヘキサモードの開始/終了をしても削除されません。LIPS-ヘキサ中の登録は一時登録で行い、不用になっ

た登録データは必ずLIPS-ヘキサ終了前にソフトリセット命令を発行して削除してください。

LIPSの制御命令によるユーザページの登録

旧エミュレーションモードは、LIPS II +の命令のみ使用できましたが、本エミュレーションモードではメニューの「LIPSフォーム」で次の2種類のモードが選べます。

- メニューで「LIPS2」を選んだとき

旧エミュレーションモードと同様に、LIPS II +の命令のみ使用できます。

したがって、LIPSのジョブ開始命令やオーバーレイページ登録開始命令などが使用できません。

- メニューで「LIPS4」を選んだとき

LIPS命令に制限がなくなります。ただし、LIPSのジョブ開始命令やオーバーレイページ登録開始命令などが正しく送られなければなりません。

フォント／解像度の違い

フォントおよび解像度に関連して、次のような違いがあります。

- 旧エミュレーションモードでは、240dpiのドットフォントを使用していましたが、本エミュレーションモードでは本体内蔵のスケラブルフォントを使用します。また、従来は240dpiで印字していましたが、本エミュレーションモード対応のLBPシリーズでは600dpiまたは300dpiで印字します。このため、印字結果や印字スピードが異なる場合があります。

- 解像度が異なるため、イメージの補正や登録文字の展開方法も異なります。

また、罫線文字はつねにイメージとして印字されます。

- 240dpi専用のイメージデータ、登録文字パターンデータは、従来と同じ大きさになるように補正されるため、印字するパターンが異なります。矩形罫線も線幅および太り方の違いがあるほか、4点に同一点を指定した場合描画されません。

- 旧エミュレーションモードでは、拡大文字をスケラブルフォントで印字するかどうかをメニューで設定しましたが、本エミュレーションモードでは、すべてスケラブルフォントで印字します。

メニューとホルダー

本エミュレーションモードでは、排紙などのパネル操作を行った場合や、ジョブタイムアウトした場合に、メニューで設定した値にリセットされます。また、従来のホルダー機能は使用できません。

フォント指定

LIPSの制御命令によるページ登録中は、LIPSのフォントが指定できます。また、LBPシリーズ専用命令による文字セットの選択では本体内蔵の漢字フォントのみ指定できます。

制御命令

本エミュレーションモードでは、SUBシーケンスの拡張制御命令はサポートしていません。

1

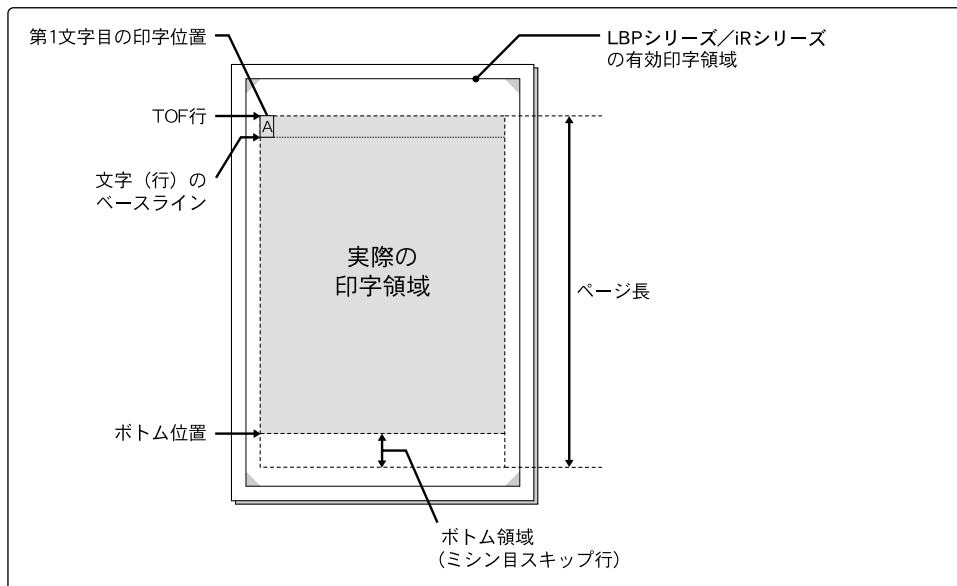
ご使用になる前に

2


N201モードの解説

本エミュレーションモードを使用して印字を行うときの用紙の向きと印字方向の関係や、PC-PR201／80Aプリンタと同等の印字結果を得るための情報などについて説明します。

本エミュレーションモードでは、実際の用紙上での印字位置と印字領域について次の用語で説明しています。



■実際の印字領域

PC-PR201／80Aプリンタ用に作成された印字データが、の領域に同等のレイアウトで印字されます。印字領域の位置とサイズは最初に決められていますが、LBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域内で変更できます。

■ページ長とボトム領域

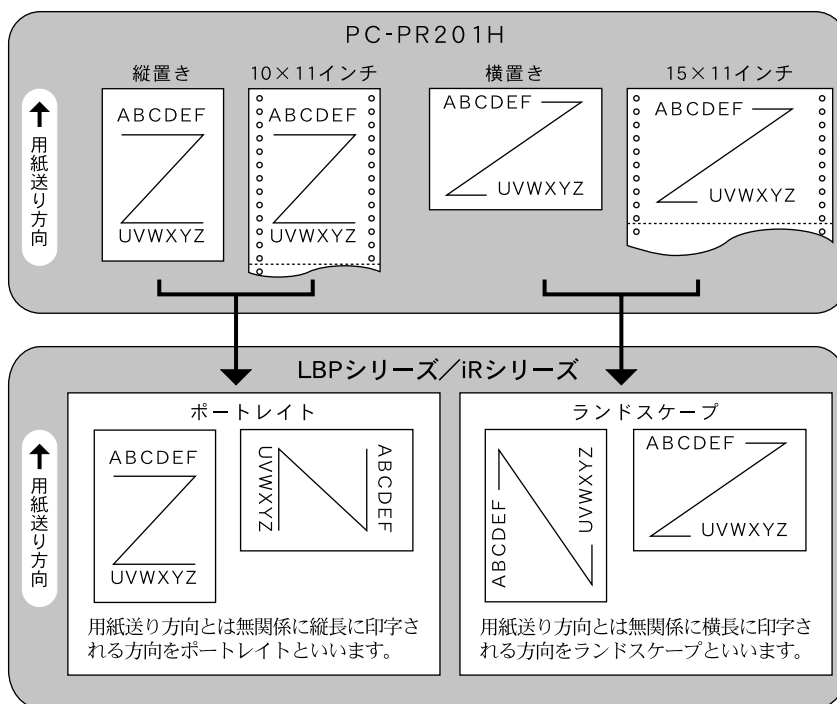
印字領域のページ長はLBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域内で任意の行数に変更することができます。また、印字しないで改ページする領域(ボトム領域)を設定することもできますので、連続用紙用に作成されたデータなども任意のレイアウトで印刷することができます。

2.1 用紙のセット

PC-PR201/80Aはカット紙や連続用紙に印字できます。印字方向は常に一定ですから、カット紙を縦置きや横置きにすることで縦長（ポートレイト）または横長（ランドスケープ）の文書を印字します。

これに対して、LBPシリーズ/iRシリーズは印字に際して用紙の方向（縦置き／横置き）を意識する必要はありません。操作パネルの設定によって縦長（ポートレイト）で印刷するか横長（ランドスケープ）で印刷するかが決まり、印字データ全体の向きを自動的に変換して印字します。また、連続用紙を想定した印字データもカット紙に印字します。

PC-PR201/80Aで印刷するときと本エミュレーションモードで印刷するときの用紙セットの対応は次のとおりです。



■左端印字モードと中央印字モード

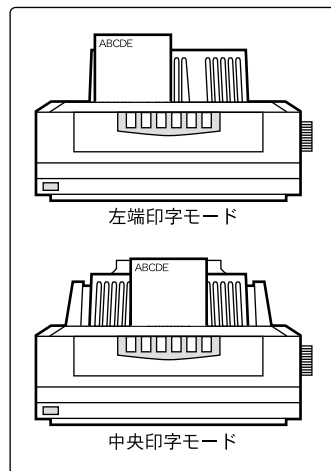
PC-PR201/80Aでは、カットシートフィーダを使用してカット紙を連続給紙することができます。この カットシートフィーダを使用する場合と、使用しない場合とでは、用紙をセットする位置が異なります。

カットシートフィーダを使用しないときは、用紙をPC-PR201/80Aの用紙幅スケールの左端に合わせてセットします。これを左端印字モードといいます。

カットシートフィーダを使用するときは、カット紙をカットシートフィーダの用紙幅スケールの中央に揃えてセットします。これを中央印字モードといいます。

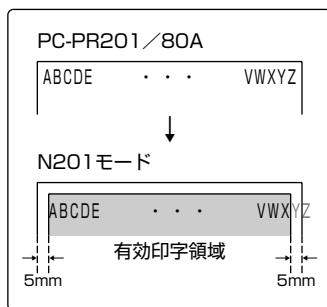
左端印字モードと中央印字モードでは印字データの内容が異なります。

本エミュレーションモードでは、PC-PR201/80Aの左端印字モードと中央印字モードの両方をエミュレーションすることができます。



■左端印字モード

左端印字モードは、PC-PR201/80Aの用紙幅スケールの左端に合わせて用紙をセットした場合を想定した印字モードです。印字データをそのまま印字領域の左端から印字します。



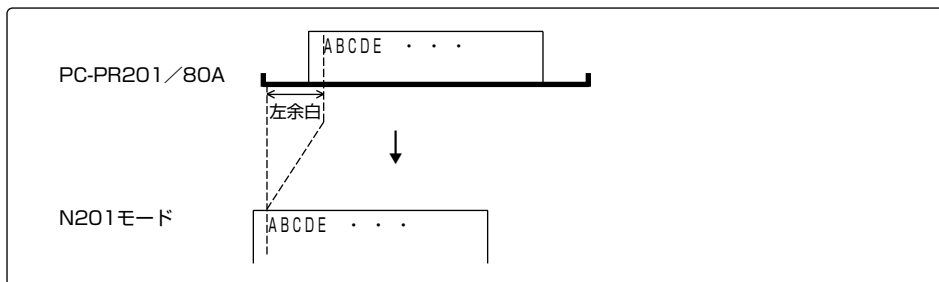
なお、PC-PR201/80Aでは用紙の左端から右端まで用紙幅いっぱいに印字できるのに対して、本エミュレーションモードでは、用紙の左右端から5mm内側（LBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域）の領域に印字します。

このため、PC-PR201/80Aで用紙幅いっぱいに印字した場合にくらべて印字結果が右へ約5mmずれ、右端側で約10mm印字できなくなります。

■中央印字モード

中央印字モードは、PC-PR201／80Aにカットシートフィーダを取り付けて、用紙幅スケールの中央に合わせて用紙をセットした場合を想定した印字モードです。

中央印字モード用の印字データには、第1文字目を用紙の左端まで送るための一定の左余白が設定されています。（アプリケーションソフトウェアでは、印刷書式などで用紙サイズや用紙方向を設定すると、自動的にこの処理が行われます。）

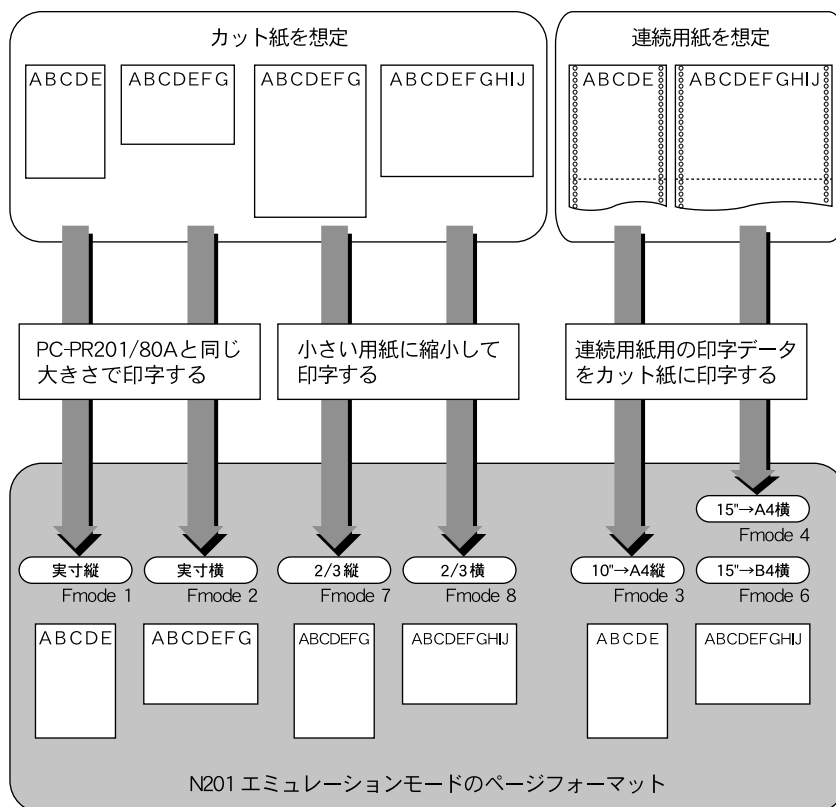


N201エミュレーションモードを中央印字モードに設定すると、印字データ上の左余白を自動的に調整し、PC-PR201／80Aの印字結果と同じ位置に印字します。調整する余白量（オフセット量）は、それぞれの用紙サイズと印字方向（ポートレイト／ランドスケープ）をもとに自動的に計算されます。《 P.2-36》

2.2 ページフォーマット

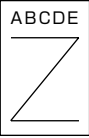
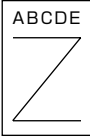
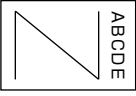
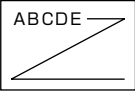
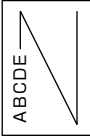
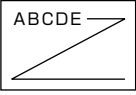
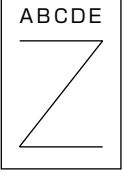
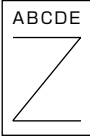
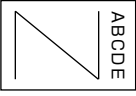
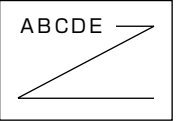
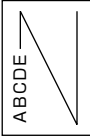
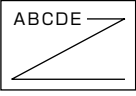
N201エミュレーションモードには、PC-PR201/80A プリンタでの印刷を想定した様々なアプリケーションソフトウェアおよび印字データに対応するために、7種類のページフォーマットが用意されています。

ホストコンピュータ側で印字開始を指示する前に、想定されている用紙の種類（カット紙／連続用紙／用紙サイズ）や用紙の方向（縦置き／横置き）に合わせて、最適なページフォーマットを選んでおきます。



ページフォーマット名の右下にある名称（Fmode 1, 2, 3, 4, 6, 7, 8）は、各ページフォーマットに対応するモードNo.です。以後、本書の操作説明および制御命令の説明では、おもにこのモードNo.を使用しています。

■カット紙のページフォーマット

ページ フォーマット	PC-PR201/80A	N201エミュレーションモード	
		縦送り	横送り
実寸縦 (Fmode 1)	縦置き 	ポートレイト	
			
PC-PR201/80Aにカット紙を縦置きでセットすることを想定している印字データを実寸のポートレイトで印字します。			
実寸横 (Fmode 2)	横置き 	ランドスケープ	
			
PC-PR201/80Aにカット紙を横置きでセットすることを想定している印字データを実寸のランドスケープで印字します。			
2/3縦 (Fmode 7)	縦置き 	ポートレイト	
			
PC-PR201/80Aにカット紙を縦置きでセットすることを想定している印字データを2/3に縮小してポートレイトで印字します。			
2/3横 (Fmode 8)	横置き 	ランドスケープ	
			
PC-PR201/80Aにカット紙を横置きでセットすることを想定している印字データを2/3に縮小してランドスケープで印字します。			



■カット紙に対応したページフォーマットは、左端印字モードの印字動作と中央印字モードの印字動作をエミュレーションします。

左端印字モードで印字する場合は、第1文字目が有効印字領域の左上端とほぼ同じ位置に印字されます。中央印字モードで印字する場合は、ページフォーマットによっては印字領域の左右に若干余白が空きます。

「3.2.1 ページレイアウトグループ (2) 用紙位置を設定する」《☞ P.3-10》

■操作パネルで設定されている用紙サイズにしたがってレイアウト・印字されます。

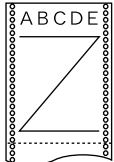
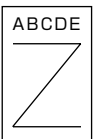
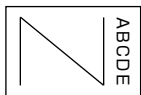
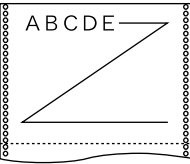
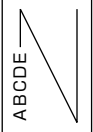
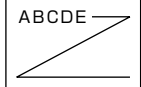
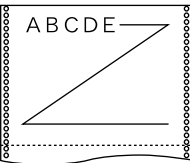
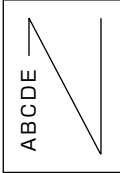
「3.2.1 ページレイアウトグループ (7) 用紙サイズを設定する」《☞ P.3-18》

■1ページに印字できる行数は、メニューの「行数」および「単票用紙長機能」によって決まります。

「3.2.2 行桁固定グループ (3) 1ページの行数を設定する」《☞ P.3-22》

「3.2.6 VFCグループ (2) カット紙のページ長の設定方法を選択する」《☞ P.3-47》

■連続用紙のページフォーマット

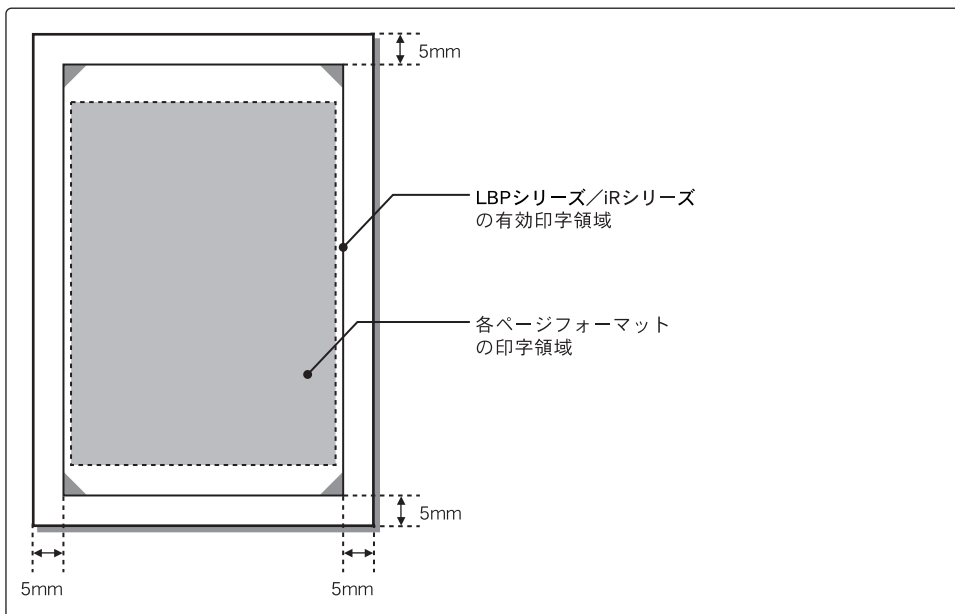
ページ フォーマット	PC-PR201/80A	N201エミュレーションモード	
		縦送り	横送り
10"→A4縦 (Fmode 3)	10×11インチ 	A4以上 	ポートレイト A4以上 
	PC-PR201/80Aに10×11インチの連続用紙をセットすることを想定している印字データをA4サイズに縮小してポートレイトで印字します。		
15"→A4横 (Fmode 4)	15×11インチ 	A4以上 	ランドスケープ A4以上 
	PC-PR201/80Aに15×11インチの連続用紙をセットすることを想定している印字データをA4サイズに縮小してランドスケープで印字します。		
15"→B4横 (Fmode 6)	15×11インチ 	ランドスケープ B4以上 	
	PC-PR201/80Aに15×11インチの連続用紙をセットすることを想定している印字データをB4サイズに縮小してランドスケープで印字します。		

- 連続用紙に対応するページフォーマットは、左端印字モードの印字動作をエミュレーションします。印字データは縮小して印字されます。
- 1ページに印字できる行数（改ページの位置）は、メニューの「行数」によって決まります。
「3.2.2 行桁固定グループ (3) 1ページの行数を設定する」《☞ P.3-22》
- 用紙の余白を有効に活用するワイド領域モードが使用できます。
「3.2.1 ページレイアウトグループ (5) 印字領域を設定する」《☞ P.3-16》

2.2.1 ページフォーマットの種類

本エミュレーションモードの7種類のページフォーマットについて説明します。それぞれのページフォーマットでは、PC-PR201/80Aプリンタと同等の印字結果を得られるように、印字データの縮小方法や、印字領域などが決められています。

なお、LBPシリーズ/iRシリーズの機械的な制限により、用紙の上下、左右5mmの範囲には印字できません。この余白を除いた印字可能な範囲を有効印字領域といいます。各ページフォーマットでは、この有効印字領域内に、PC-PR201/80A用に作成された印字データが収まるように、それぞれ印字領域が定められています（設定によって、実際の印字領域は有効印字領域内で変更可能です）。



図に示されている周囲の空きを示す値はLBP-730で本エミュレーションを使用した場合の参考値です。

尚、以降の図や文中に示されている値も同様です。



ページフォーマットはメニューの「ページフォーマット」で設定します。

「3.2.1 ページレイアウトグループ (1) ページフォーマットを設定する」 《P.3-7》

(1) 実寸で縦に印刷する【実寸縦：Fmode 1】

PC-PR201/80Aにカット紙を縦置きにセットして印字するときのデータを、実寸のサイズでポートレイト（縦置きと同じ印字結果になる）で印字します。

改行ピッチ、文字間隔は、PC-PR201/80Aと同一です。

用紙のセット位置のモードは、中央印字モード（カットシートフィーダ使用のとき）または左端印字モード（カットシートフィーダを使用しないとき）を選べます。

■用紙サイズ

A3、B4、A4、B5、A5、はがきの6種類のサイズの用紙を使用できます。

用紙サイズは、メニュー操作または制御命令で設定したサイズになります。

初期状態の用紙サイズは、LBPシリーズでは現在選択されている給紙元の用紙サイズ、iRシリーズでは共通メニューの「デフォルト用紙サイズ」で設定されている用紙サイズになります。

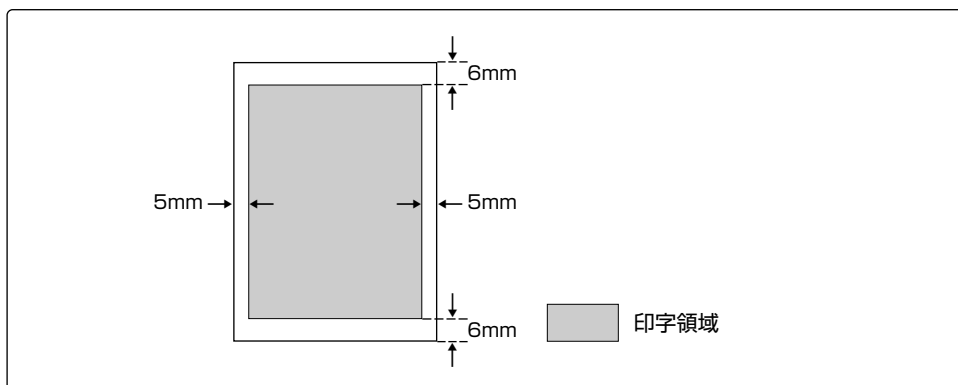
■文字の印字

ANK文字および漢字を10ポイントの文字フォントで印字します。ただし、メニューの「漢字サイズ」によって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります（ANK文字は10ポイントのままです）。

■イメージの印字

PC-PR201/80Aの解像度とLBPシリーズ/iRシリーズの解像度の違いにより、1ドットを1.875倍（パイカモード時）に拡大して印字します。

■印字領域



■第1文字目の印字位置

TOF行は用紙の上端から約6mmの位置になり、第1文字目の印字位置は、有効印字領域の左端とほぼ同じ位置になります。

■印字データの折り返し位置

メニューの「右マージン既定値」の設定によって、行の折り返しかたが変わります。初期状態は「136桁」に設定されています。

「3.2.1 ページレイアウトグループ (6) 右マージンの位置を設定する」《☞ P.3-17》

- 「136桁」 : 用紙サイズに関係なく印字領域の左端から13.6インチの位置で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が13.6インチより狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません
- 「右端」 : 印字する用紙サイズの有効印字領域の右端（用紙端から5mm内側）が折り返し位置になります。右端を越えた印字データは、次行の左端に折り返して印字します。

■ページ長

メニューの「単票用紙長機能」が「無効」（初期状態）に設定されているときは、現在の用紙サイズにしたがったページ長に決まります。このときのボトム位置は、PC-PR201/80Aのカットシートフィーダが用紙の終わりを検出する位置とほぼ同じ位置です。

「単票用紙長機能」を「有効」に設定すると、メニュー操作や制御命令によって設定したページ長が有効になります。

「3.2.6 VFCグループ (2) カット紙のページ長の設定方法を選択する」《☞ P.3-47》

(2) 実寸で横に印刷する【実寸横：Fmode 2】

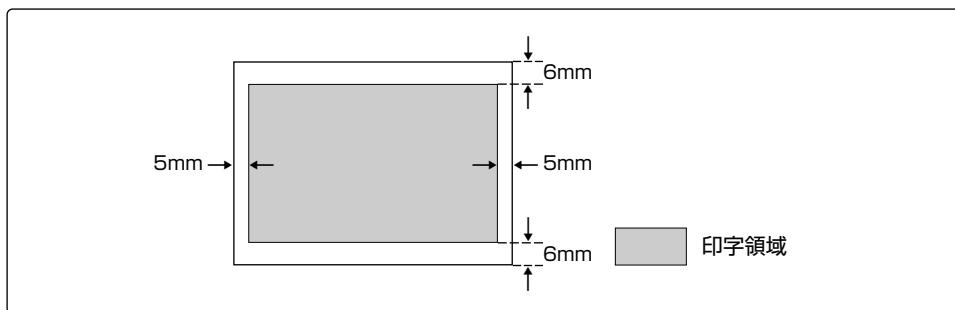
PC-PR201/80Aにカット紙を横置きにセットして印字するときのデータを、実寸のサイズでランドスケープ（横置きと同じ印字結果になる）で印字します。

改行ピッチ、文字間隔は、PC-PR201/80Aと同一です。

用紙のセット位置のモードは、中央印字モード（カットシートフィーダ使用のとき）または左端印字モード（カットシートフィーダを使用しないとき）を選べます。

用紙サイズ、文字の印字、イメージの印字、印字領域などについては、「実寸縦」（Fmode 1）と同じです。

■印字領域



B4、A3サイズの内紙を使用し、中央印字モードで印字する場合は、印字領域の左右に若干余白が空きます。

(3) 連続用紙 (10×11インチ) をA4縦に印刷する【10"→A4縦 : Fmode 3】

PC-PR201/80Aに10×11インチの連続用紙をセットして印字するときのデータを、縮小してA4サイズのカット紙(またはA4サイズ以上の用紙)にポートレイト(縦置きと同じ印字結果になる)で印字します。

印字データは、A4サイズのほぼ中央にレイアウトされます。

■縮小率

PC-PR201/80Aに10×11インチの連続用紙をセットしたときの印字範囲(横方向8インチ、縦方向11インチ)を、横方向、縦方向ともに292/300倍に縮小します。

■用紙サイズ

標準ではA4サイズを使用しますが、A3、B4サイズでも印字できます。

ただし、A3、B4サイズの用紙を使用しても、A4サイズのときと同じ縮小率で印字され、用紙のほぼ中央にレイアウトされます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■文字の印字

ANK文字および漢字を10ポイントの文字フォントで、文字間隔をつめて印字します。ただし、メニューの「漢字サイズ」によって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります(ANK文字は10ポイントのままです)。

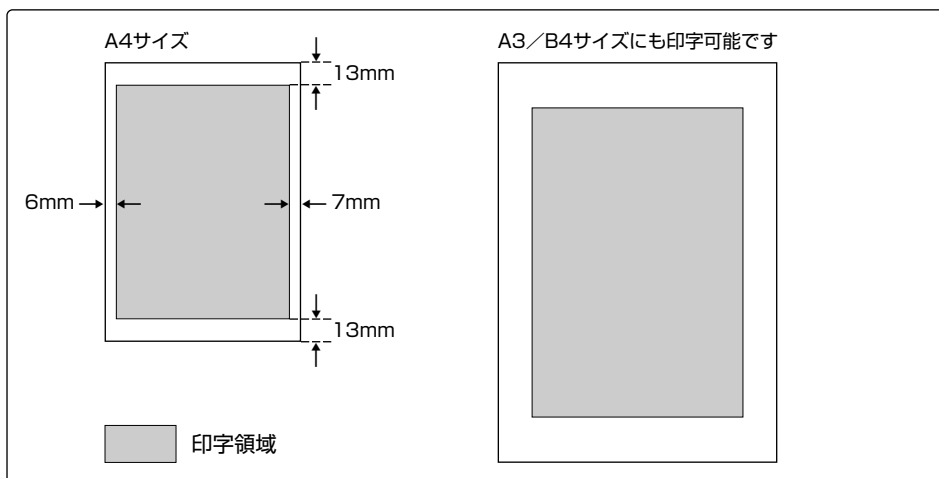
■イメージの印字

PC-PR201/80Aの解像度とLBPシリーズの解像度の違いにより、1ドットを約1.82倍(バイカモード時)に拡大して印字します。

■印字領域

■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、A4サイズ(標準)では縮小率の関係でLBPシリーズ/iRシリーズの通常の有効印字領域の左上端より、少し内側になります。A3、B4サイズの場合は、用紙のほぼ中央にレイアウトされるため、かなり内側となり、上下端および左端に大きな余白ができます。



■印字データの折り返し位置

用紙サイズに関係なく印字領域の左端から13.6インチの位置で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が13.6インチより狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません

「3.2.1 ページレイアウトグループ (6) 右マージンの位置を設定する」《P.3-17》

■ページ長

ページ長は、初期状態の印字開始位置から11インチ（1インチあたり6行のときに66行）になります。実際用の紙上では約10.7インチです。

ページ長は、メニュー操作または制御命令で設定できますが、11インチを越える設定を行うと、印字が次のページにまたがってしまいます。また、印字データが有効印字領域の下端を越えた場合は、改ページ動作を行います。

(4) 連続用紙 (15×11インチ) をA4横に印刷する【15"→A4横 : Fmode 4】

PC-PR201/80Aに15×11インチの連続用紙をセットして印字するときのデータを、縮小してA4サイズのカット紙 (またはA4サイズ以上の用紙) にランドスケープ (横置きと同じ印字結果になる) で印字します。

印字データは、A4サイズのほぼ中央にレイアウトされます。

■縮小率

PC-PR201/80Aに15×11インチの連続用紙をセットしたときの印字範囲 (横方向13.6インチ、縦方向11インチ) を、横方向を3/4倍、縦方向を2/3倍 (横方向10.2インチ、縦方向7.3インチ) に縮小します。

■用紙サイズ

標準ではA4サイズを使用しますが、A3、B4サイズでも印字できます。

ただし、A3、B4サイズの用紙を使用しても、A4サイズのとおり縮小率で印字され、用紙のほぼ中央にレイアウトされます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■文字の印字

ANK文字および漢字を8ポイントの文字フォントで、縦方向のみ約10%縮小して印字します。ただし、操作パネルによって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります (ANK文字は8ポイントのままです)。

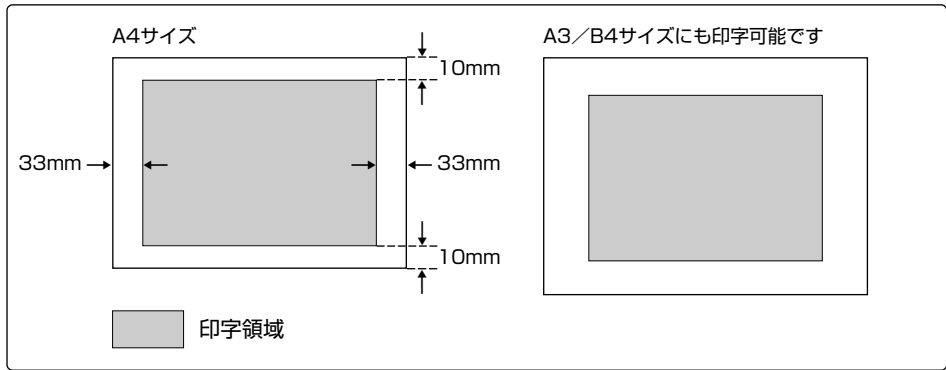
■イメージの印字

PC-PR201/80Aの1ドットを縦長に拡大して印字するため、イメージは少し縦長に印字されます。たとえば、真円は縦長の楕円になってしまいます。

■印字領域

■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、A4サイズ (標準) では縮小率の関係でLBPシリーズ/iRシリーズの通常の有効印字領域の左上端より、少し内側になります。A3、B4サイズの場合は、用紙のほぼ中央にレイアウトされるため、かなり内側となり、上下端および左右端に大きな余白ができます。



■印字データの折り返し位置

用紙サイズに関係なく印字領域の左端から13.6インチの位置で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が13.6インチより狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。

「3.2.1 ページレイアウトグループ (6) 右マージンの位置を設定する」《☞ P.3-17》

■ページ長

ページ長は、初期状態の印字開始位置から11インチ（1インチあたり6行のときに66行）になります。実際の用紙上では約8.3インチです。

ページ長は、メニュー操作または制御命令で設定できますが、11インチを越える設定を行うと、印字が次のページにまたがってしまいます。また、印字データが有効印字領域の下端を越えた場合は、改ページ動作を行います。

(5) 連続用紙 (15×11インチ) をB4横に印刷する【15"→B4横：Fmode 6】

PC-PR201/80Aに15×11インチの連続用紙をセットして印字するときのデータを、縮小してB4サイズのカット紙 (またはB4サイズ以上の用紙) にランドスケープ (横置きと同じ印字結果になる) で印字します。

印字データは、B4サイズのほぼ中央にレイアウトされます。

■縮小率

PC-PR201/80Aに15×11インチの連続用紙をセットしたときの印字範囲 (横方向13.6インチ、縦方向11インチ) を、縦方向のみ約259/300倍 (横方向13.6インチ、縦方向9.5インチ) に縮小します。

■用紙サイズ

標準ではB4サイズを使用しますが、A3サイズでも印字できます。

B4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■文字の印字

10ポイントの文字フォントを使用し、行ピッチのみ縮小して印字します (文字ピッチは実寸サイズになります)。

ただし、操作パネルによって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります (ANK文字は10ポイントのままです)。

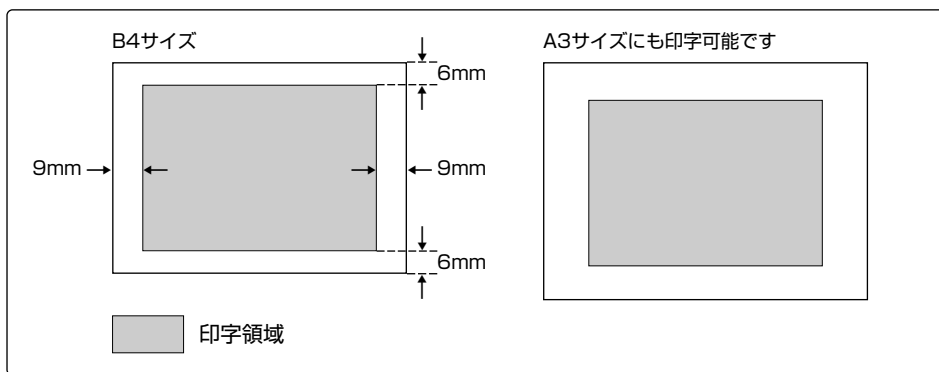
■イメージの印字

横方向が実寸サイズで、縦方向が約259/300倍に縮小されるため、横長のイメージになります。たとえば、真円は横長の楕円になってしまいます。

■印字領域

■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、B4サイズ (標準) では縮小率の関係でLBPシリーズ/iRシリーズの通常の有効印字領域の左上端より、少し内側になります。A3サイズの場合は、用紙のほぼ中央にレイアウトされるため、かなり内側となり、上下端および左端に大きな余白ができます。



■印字データの折り返し位置

用紙サイズに関係なく有効印字領域の左端から13.6インチの位置で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が13.6インチより狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。

「3.2.1 ページレイアウトグループ (6) 右マージンの位置を設定する」《 P.3-17》

■ページ長

ページ長は、初期状態の印字開始位置から11インチ（1インチあたり6行のときに66行）になります。実際用の紙上では約9.5インチです。

ページ長は、メニュー操作または制御命令で設定できますが、11インチを越える設定を行うと、印字が次のページにまたがってしまいます。また、印字データが有効印字領域の下端を越えた場合は、改ページ動作を行います。

(6) 2/3倍に縮小して縦に印刷する【2/3縦：Fmode 7】

PC-PR201/80Aにカット紙を縦置きにセットして印字するときのデータを、縮小してポートレイト（縦置きと同じ印字結果になる）で印字します。

用紙のセット位置のモードは、中央印字モード（カットシートフィーダ使用のとき）または左端印字モード（カットシートフィーダを使用しないとき）を選べますが、モードによって印字領域が異なりますのでご注意ください。

■縮小率

PC-PR201/80Aの印字範囲を、横方向、縦方向ともに2/3倍に縮小します。

■用紙サイズ

A3、B4、A4、B5、A5、はがきの6種類のサイズの用紙を使用できます。

ただし、中央印字モードでは、B4、A3サイズで印字すると左右端に余白ができます。

用紙サイズは、操作パネルまたは制御命令で設定したサイズになります。

初期状態の用紙サイズは、リセット処理を行ったときの給紙カセットの用紙サイズになります。

■文字の印字

ANK文字および漢字を8ポイントの文字フォントで、文字間隔および改行ピッチを2/3倍に縮小して印字します。

ただし、操作パネルによって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります（ANK文字は8ポイントのままです）。

■イメージの印字

PC-PR201/80Aの解像度とLBPシリーズ/iRシリーズの解像度の違いにより、1ドットを約1.25倍（パイカモード時）に拡大して印字します。

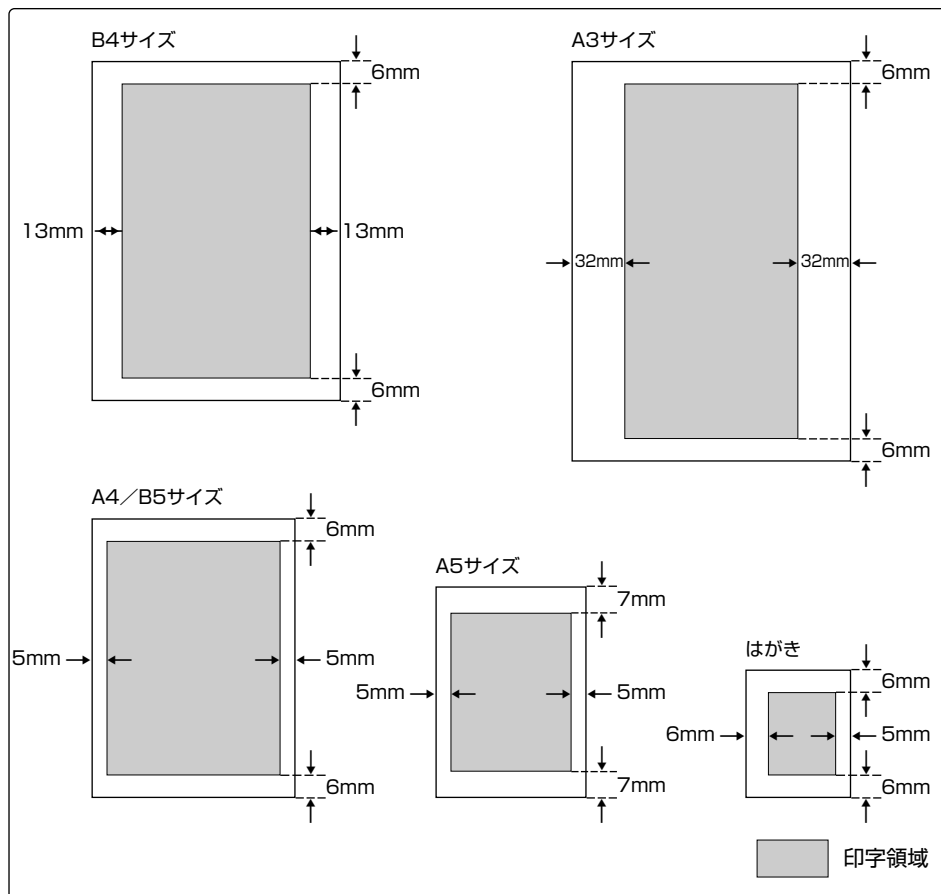
■印字領域

■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、有効印字領域の左上端とほぼ同じ位置になります。ただし、中央印字モードでA3、B4サイズ用の紙を使用する場合は、印字領域の左右に若干余白が空きます。

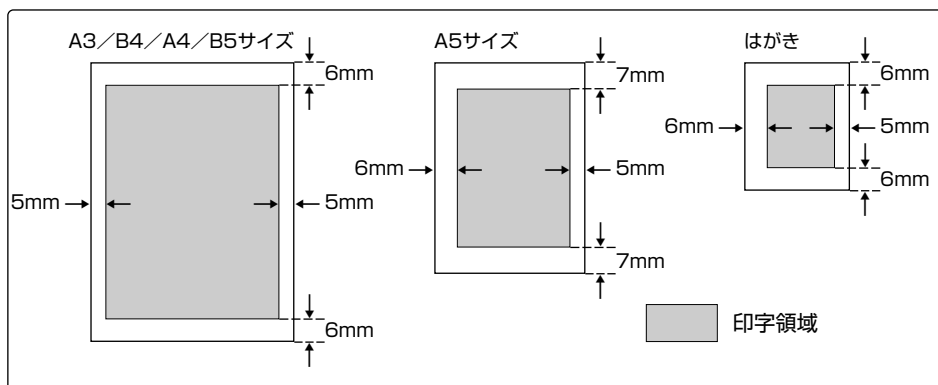
■中央印字モードの印字領域

PC-PR201/80AにA3サイズのカット紙を縦置きにセットしたときの印字範囲（横方向9.7インチ、縦方向13.9インチ）を2/3倍に縮小（横方向6.5インチ、縦方向9.3インチ）して、用紙の中央にポートレートで印字します。なお、印字できる文字数や行数は、「実寸縦」（Fmode 1）と同じです。



■左端印字モードの印字領域

PC-PR201/80Aの印字データを横方向、縦方向ともに2/3倍に縮小して、有効印字領域の左端から右端までを印字範囲としてポートレイトで印字します。



■印字データの折り返し位置

用紙サイズに関係なく有効印字領域の左端から13.6インチの位置で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が13.6インチより狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。

「3.2.1 ページレイアウトグループ (6) 右マージンの位置を設定する」《☞ P.3-17》

■ページ長

メニューの「単票用紙長機能」が「無効」（初期状態）に設定されているときは、現在の用紙サイズにしたがったページ長に決まります。このときのボトム位置は、PC-PR201/80Aのカットシートフィーダが用紙の終わりを検出する位置とほぼ同じ位置です。

「単票用紙長機能」を「有効」に設定すると、メニュー操作や制御命令によって設定したページ長が有効になります。

「3.2.6 VFCグループ (2) カット紙のページ長の設定方法を選択する」《☞ P.3-47》

(7) 2/3倍に縮小して横に印刷する【2/3横：Fmode 8】

PC-PR201/80Aにカット紙を横置きにセットして印字するときのデータを、縮小してランドスケープ（横置きと同じ印字結果になる）で印字します。

用紙のセット位置のモードは、中央印字モード（カットシートフィーダ使用のとき）または左端印字モード（カットシートフィーダを使用しないとき）を選べますが、モードによって印字領域が異なりますのでご注意ください。

■縮小率

PC-PR201/80Aの印字範囲を、横方向、縦方向ともに2/3倍に縮小します。

■用紙サイズ

A3、B4、A4、B5、A5、はがきの6種類のサイズの用紙を使用できます。

ただし、中央印字モードでは、A4、B4、A3サイズで印字すると左右端に余白ができます。

用紙サイズは、操作パネルまたは制御命令で設定したサイズになります。

初期状態の用紙サイズは、リセット処理を行ったときの給紙カセットの用紙サイズになります。

■文字の印字

ANK文字および漢字を8ポイントの文字フォントで、文字間隔および改行ピッチを2/3倍に縮小して印字します。

ただし、操作パネルによって漢字サイズが指定された場合は、そのサイズの漢字フォントになります（ANK文字は8ポイントのままです）。

■イメージの印字

PC-PR201/80Aの解像度とLBPシリーズ/iRシリーズの解像度の違いにより、1ドットを約1.25倍（パイカモード時）に拡大して印字します。

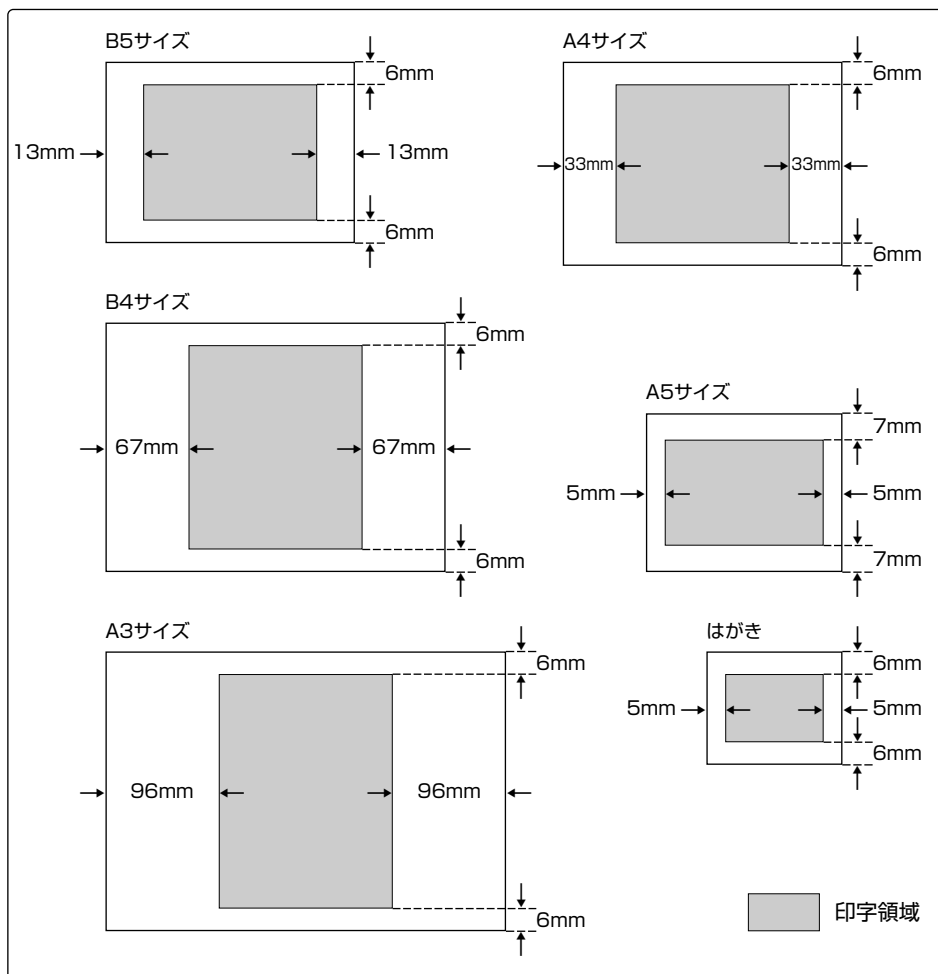
■印字領域

■第1文字目の印字位置

第1文字目の印字位置は、有効印字領域の左上端とほぼ同じ位置になります。ただし、A4サイズ以上の用紙を使用し、中央印字モードで印字する場合は、印字領域の左右に余白が空きます。

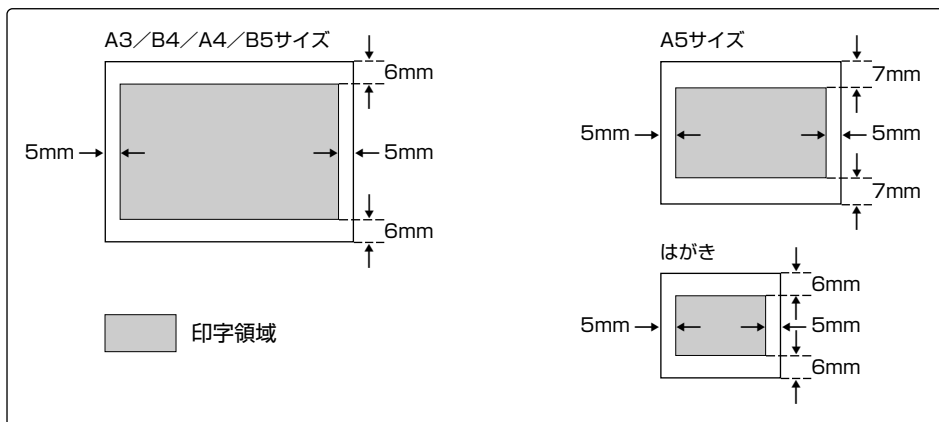
■中央印字モードの印字領域

PC-PR201/80AにB4サイズのカット紙を横置きにセットしたときの印字範囲（横方向13.9インチ、縦方向9.7インチ）を2/3倍に縮小（横方向9.3インチ、縦方向6.5インチ）して、用紙の中央にランドスケープで印字します。なお、印字できる文字数や行数は、「実寸縦」（Fmode 1）と同じです。



■左端印字モードの印字領域

PC-PR201/80Aの印字 データを横方向、縦方向ともに2/3倍に縮小し、有効印字領域の左端から右端までを印字範囲としてランドスケープで印字します。



■印字データの折り返し位置

用紙サイズに関係なく有効印字領域の左端から13.6インチの位置で行が折り返されます。ただし、実際にセットした用紙の有効印字領域の幅が13.6インチより狭い場合は、有効印字領域内の印字データだけが印字され、有効印字領域の右端を越えたデータは印字されません。

「3.2.1 ページレイアウトグループ (6) 右マージンの位置を設定する」 《☞ P.3-17》

■ページ長

メニューの「単票用紙長機能」が「無効」（初期状態）に設定されているときは、現在の用紙サイズにしたがったページ長に決まります。このときのボトム位置は、PC-PR201/80Aの カットシートフィーダが用紙の終わりを検出する位置とほぼ同じ位置です。

「単票用紙長機能」を「有効」に設定すると、メニュー操作や制御命令によって設定したページ長が有効になります。

「3.2.6 VFCグループ (2) カット紙のページ長の設定方法を選択する」 《☞ P.3-47》

2.2.2 1ページの文字数と行数

それぞれのページフォーマットで1ページに印字できる文字数（10cpiのとき）と行数（6lpiのとき）を用紙サイズごとに示します。

ページフォーマット		A3	B4	A4	B5	A5	はがき	
実寸縦 (Fmode 1)	文字数	112	97	78	67	54	35	
	行数	96	83	67	57	45	31	
実寸横 (Fmode 2)	文字数	136	136	112	97	78	54	
	行数	67	57	46	39	32	20	
10"→A4縦 (Fmode 3)	文字数	98	90	80	×	×	×	
	行数	66	66	66	×	×	×	
15"→A4横 (Fmode 4)	文字数	136	136	136	×	×	×	
	行数	66	66	66	×	×	×	
15"→B4縦 (Fmode 6)	文字数	136	136	×	×	×	×	
	行数	66	66	×	×	×	×	
2/3縦 (Fmode 7)	中央印字 モード	文字数	136	136	118	100	81	52
		行数	144	124	100	86	68	47
	左端印字 モード	文字数	169	145	118	101	81	53
		行数	144	124	100	86	68	47
2/3横 (Fmode 8)	中央印字 モード	文字数	136	136	136	136	118	80
		行数	100	86	69	59	48	30
	左端印字 モード	文字数	242	209	169	145	118	81
		行数	100	86	69	59	48	30



- 「×」印になっているページフォーマットと用紙サイズの組み合わせでは、印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
- 上表の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値が初期状態の場合です。



「cpi」は、文字ピッチを表す単位です。1インチあたりの文字数で表します。

10cpiは1インチの幅にANK文字（1バイトコード文字）が10文字印字できることを意味します。

「lpi」は、行ピッチを表す単位です。1インチあたりの行数で表します。

6lpiは1インチの高さに6行印字できることを意味します。

2.3 ワイド領域に印刷する

連続用紙に印字することを想定している印字データを縮小するページフォーマット (Fmode 3、4、6) では、用紙のサイズによって上下、左右に大きな余白ができてしまいます。

連続用紙で印刷するときと同じレイアウトにする必要がなければ、ページフォーマットの印字領域を、ほぼ用紙の有効印字領域いっぱいまで広げて印字することができます。

ページフォーマットの印字領域にしたがって印字するモードを標準領域モードというのに対し、ページフォーマットの印字領域を広げて印字するモードを、ワイド領域モードといいます。

2.3.1 ワイド領域モードのページフォーマット

ワイド領域のページフォーマットFmode 3、4、6の内容を詳しく説明します。

(1) 連続用紙 (10×11インチ) をA4縦いっぱいに印刷する

【10"→A4縦 : Fmode 3 : ワイド領域】

10×11インチの連続用紙を想定した印字データを縮小し、A4サイズ以上のカット紙のほぼ有効印字領域いっぱいにポートレイト (縦置きと同じ印字結果になる) で印字します。



縮小率および文字やイメージの印字については、標準領域モードのページフォーマット 10"→A4縦 (Fmode 3) と同じです。《☞ P.2-13》

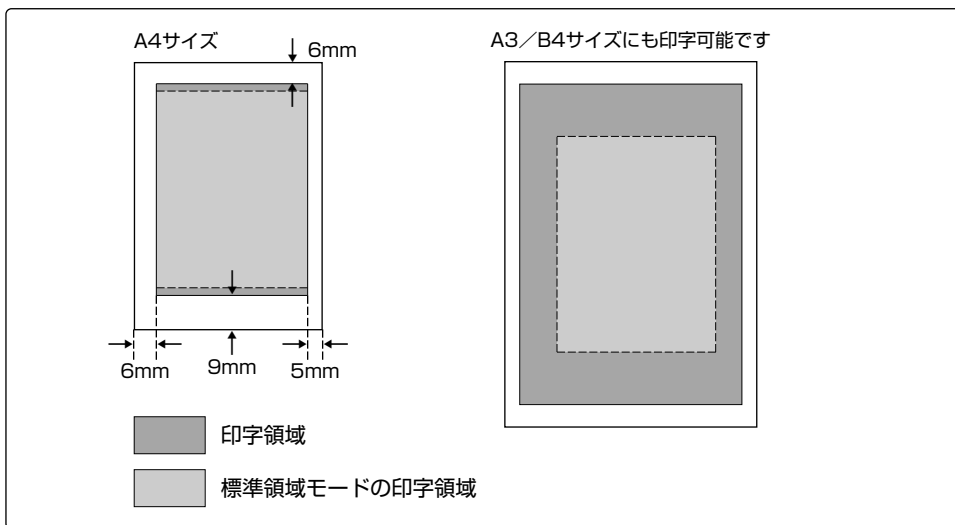
■用紙サイズ

A3、B4、A4の3種類のサイズの用紙を使用できます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■印字領域

A4サイズでは、標準領域モードでページフォーマットの印字領域と用紙の有効印字領域にあまり差がないため、ワイド領域モードにしてもあまり効果がありません。



■第1文字目の印字位置

第1文字目は、用紙サイズにかかわらず用紙の上端から約6mm、左端から約6mmの余白をとって印字されます。

■印字データの折り返し位置

LBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域の右端とほぼ同じ位置まで印字できます。印字領域の右端を越えた印字データは自動的に折り返されて、次の行の左端から印字されます。

■ボトム位置

LBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域の下端とほぼ同じ位置まで印字できます。

(2) 連続用紙（15×11インチ）をA4横いっぱい印刷する

【15"→A4横：Fmode 4：ワイド領域】

15×11インチの連続用紙を想定した印字データを縮小し、A4サイズ以上のカット紙のほぼ有効印字領域いっぱいにランドスケープ（横置きと同じ印字結果になる）で印字します。



縮小率および文字やイメージの印字については、標準領域モードのページフォーマット 15"→A4横（Fmode 4）と同じです。《☞ P.2-15》

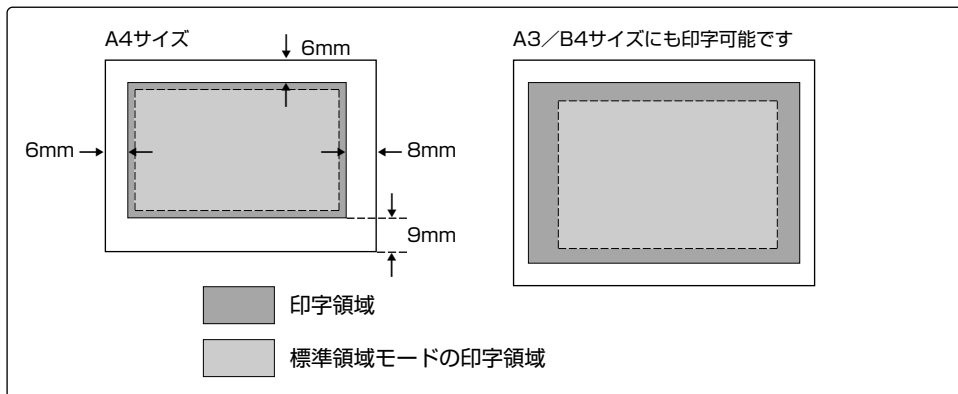
■用紙サイズ

A3、B4、A4の3種類のサイズの内紙を使用できます。

A4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■印字領域

15"→A4横（Fmode 4）は縮小率が大きいので、上下左右に大きな余白が空きます。このため、ワイド領域モードをもっとも有効に使用できます。



第1文字目の印字位置、印字データの折り返し位置、ボトム位置については、ワイド領域モードの10"→A4縦（Fmode 3）と同じです。《☞ P.2-26》

(3) 連続用紙（15×11インチ）をB4横いっぱい印刷する

【15"→B4横：Fmode 6：ワイド領域】

15×11インチの連続用紙を想定した印字データを縮小し、B4サイズ以上のカット紙のほぼ有効印字領域いっぱいにランドスケープ（横置きと同じ印字結果になる）で印字します。



縮小率および文字やイメージの印字については、標準領域モードのページフォーマット 15"→A4横（Fmode 4）と同じです。《☞ P.2-15》

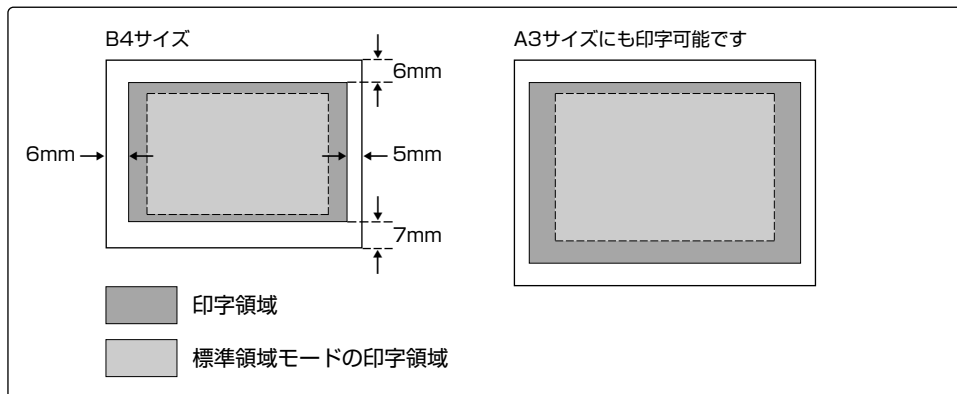
■用紙サイズ

A3、B4の2種類のサイズの内紙を使用できます。

B4サイズより小さい用紙を使用した場合の印字結果は保証しません。

■印字領域

B4サイズでは、標準領域モードでページフォーマットの印字領域と用紙の有効印字領域にあまり差がないため、ワイド領域モードにしてもあまり効果がありません。



第1文字目の印字位置、印字データの折り返し位置、ボトム位置については、ワイド領域モードの10"→A4縦（Fmode 3）と同じです。《☞ P.2-26》

2.3.2 ワイド領域での1ページの文字数と行数

それぞれのページフォーマットでワイド領域モードにしたときに1ページに印字できる文字数（10cpiのとき）と行数（6lpiのとき）を、用紙サイズごとに示します。

ページフォーマット (ワイド領域)		A3	B4	A4	B5	A5	はがき
10"→A4縦 (Fmode 3)	文字数	116	100	80	×	×	×
	行数	98	85	68	×	×	×
15"→A4横 (Fmode 4)	文字数	242	209	169	×	×	×
	行数	99	85	69	×	×	×
15"→B4横 (Fmode 6)	文字数	161	139	×	×	×	×
	行数	77	66	×	×	×	×



- 「×」印になっているページフォーマットと用紙サイズの組み合わせでは、印字不可能または印字データが欠落する場合があります。
- 上表の文字数／行数は、上余白、用紙位置微調整、右マージン既定値が初期状態の場合です。



「cpi」は、文字ピッチを表す単位です。1インチあたりの文字数で表します。

10cpiは1インチの幅にANK文字（1バイトコード文字）が10文字印字できることを意味します。

「lpi」は、行ピッチを表す単位です。1インチあたりの行数で表します。

6lpiは1インチの高さに6行印字できることを意味します。

2.4 ページフォーマットと用紙サイズの関係

それぞれのページフォーマットで使用できる用紙サイズは次のとおりです。

用紙サイズ		カセット給紙					トレイ給紙						
		A3	B4	A4	B5	A5	はがき	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
ページフォーマット													
実寸縦 (Fmode 1)		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
実寸横 (Fmode 2)		○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
10"→A4縦 (Fmode 3)		△	△	○	×	×	×	△	△	○	×	×	×
15"→A4横 (Fmode 4)		△	△	○	×	×	×	△	△	○	×	×	×
15"→B4横 (Fmode 6)		△	○	×	×	×	×	△	○	×	×	×	×
2/3縦 (Fmode 7)	中央印字 モード	△	△	○	○	○	×	△	△	○	○	○	○
	左端印字 モード	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○
2/3横 (Fmode 8)	中央印字 モード	△	△	○	○	○	×	△	△	○	○	○	○
	左端印字 モード	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○

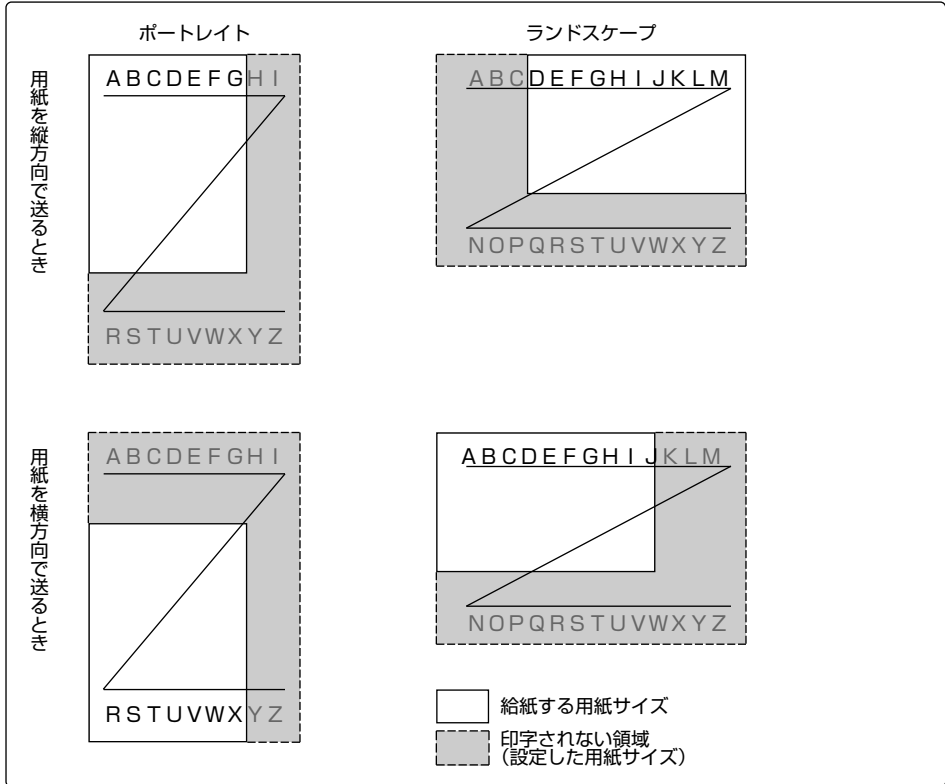
○	印字可能。用紙にちょうどよく納まります
△	印字可能ですが余白があきます
×	印字不可能。または、印字データが欠落するなどの不具合を生じることがあります



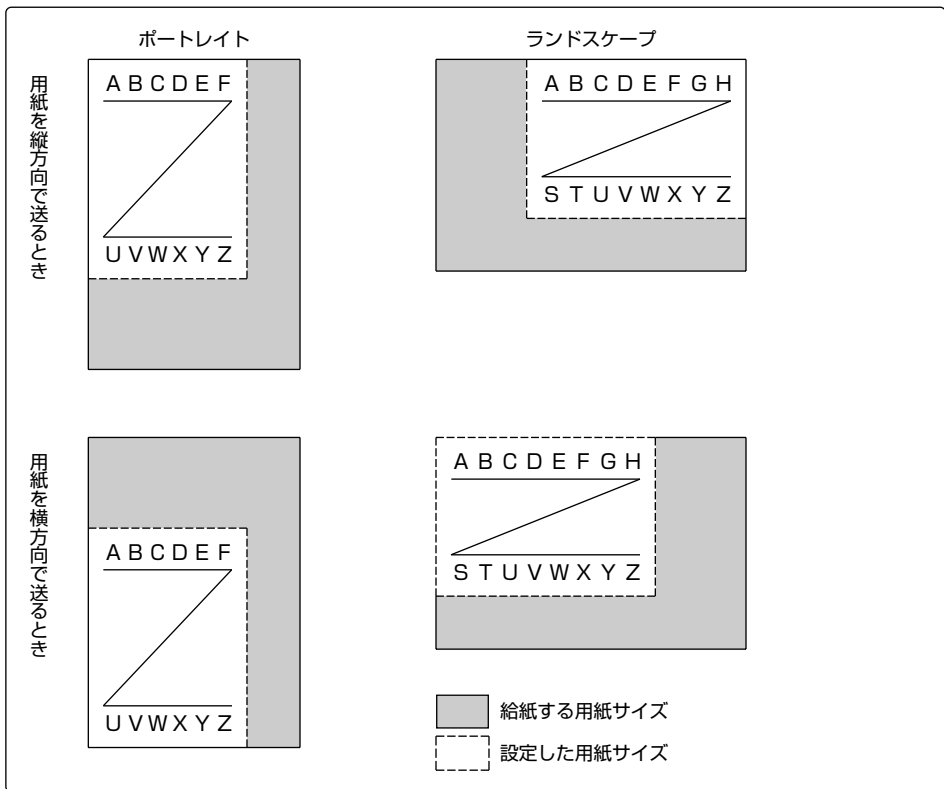
異なるサイズ of 用紙に強制的に印刷すると (LBPシリーズの場合)

メニューの「用紙サイズ」で設定した用紙サイズ (またはページフォーマットで決まる用紙サイズ) と異なるサイズ of 用紙に印字すると、用紙の大きさによって印字結果は次のようになります。

■設定した用紙サイズより給紙カセットの用紙サイズの方が小さいとき



■設定した用紙サイズより給紙カセットの用紙サイズの方が大きいとき



2.5 印字領域と印字動作

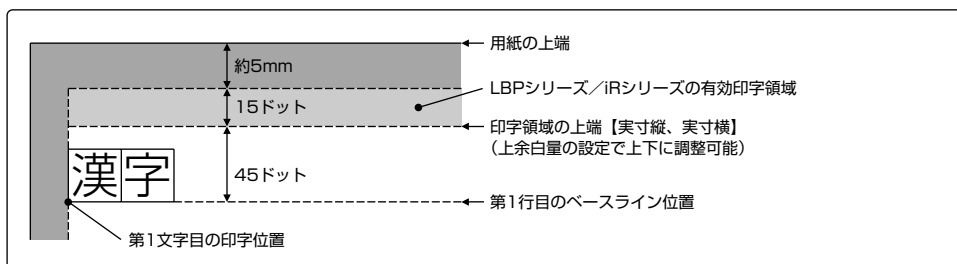
本エミュレーションモードの印字領域の上端、下端および左端、右端付近での印字動作について説明します。

2.5.1 印字領域の上端での印字動作

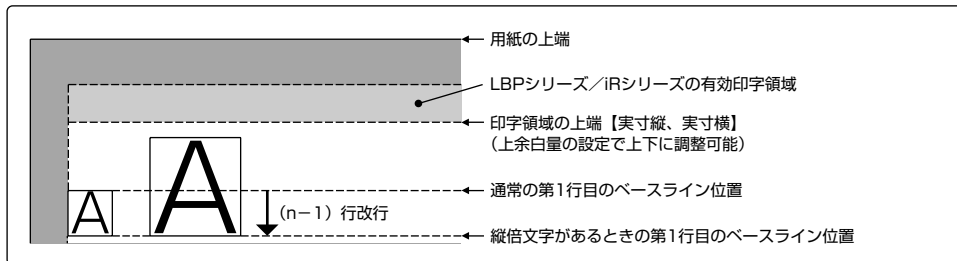
■実寸で印字するページフォーマット

実寸縦 (Fmode 1)、および実寸横 (Fmode 2) では、初期状態 (電源をオンにしたときや、LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理が行われた状態) のときの印字領域は、用紙の上端から約6mm (有効印字領域の上端から約1mm) の位置になります。

先頭行 (TOF行) の文字の上端は、この位置から15ドット (300dpi) 下がった位置になり、文字のベースライン位置は、さらに文字フォントの縦方向のドット数 (45ドット) 下がった位置になります。このベースライン位置が実際の第1行目の印字位置となります。



先頭行に n 倍の縦倍文字がある場合は、 $(n-1)$ 行改行してから印字されます。



■縮小をとまなうページフォーマット

ページフォーマットFmode 3, 4, 6, 7, 8では、初期状態のときの先頭行（TOF行）の印字位置は、ページフォーマットおよび用紙サイズによって異なります。それぞれのページフォーマットでの印字領域の上端は、LBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域の上端から次の量だけオフセットした位置になります。

ページフォーマット	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
10"→A4縦 (Fmode 3)	818	490	91	15	15	15
15"→A4横 (Fmode 4)	593	357	80	15	15	15
15"→B4横 (Fmode 6)	263	15	15	15	15	15
2/3縦 (Fmode 7)	15	15	15	15	15	15
2/3横 (Fmode 8)	15	15	15	15	15	15
ワイド領域モードの場合	15	15	15	15	15	15

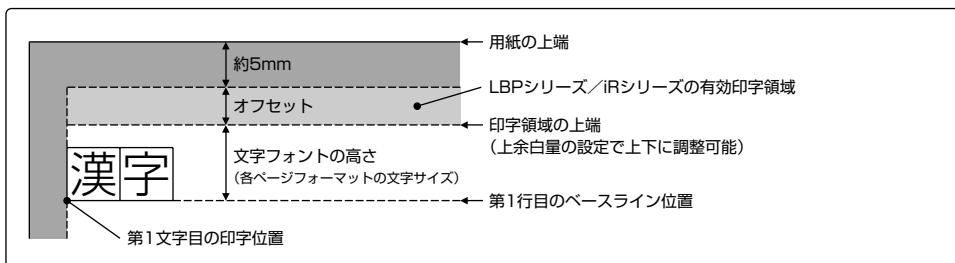
単 位：1/300インチ

- ・表の値は「上余白」が初期値「+000」の場合です。
- ・2/3縦 (Fmode 7)、2/3横 (Fmode 8) は左端印字モード時の値です。

Fmode 3, 4, 7, 8でA3、B4、A4サイズの内紙を使用するときや、Fmode 6でA3、B4サイズの内紙を使用するときは、印字が内紙の中央にレイアウトされるように、先頭行の文字の上端を有効印字領域の上端からのオフセット量で調整しています。

そのほかの組み合わせでは、15ドットのオフセット量で調整しています。

先頭行（TOF行）の文字のベースライン位置は、上の表で決まる印字領域の上端の位置から文字フォントの高さだけ下がった位置になります。このベースライン位置が実際の第1行目の印字位置となります。

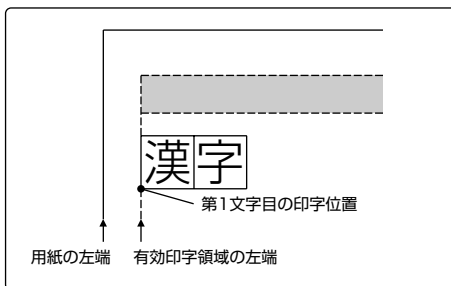


2.5.2 印字領域の左端での印字動作

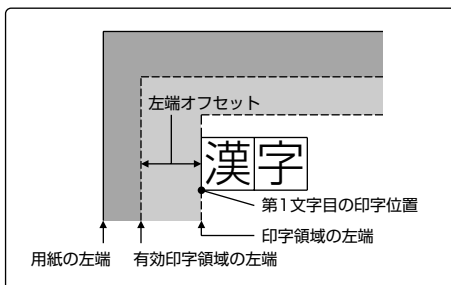
■実寸で印字するページフォーマット

実寸縦 (Fmode 1)、および実寸横 (Fmode 2) では、初期状態 (電源をオンにしたときや、LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理が行われた状態) のときの第1文字目の印字位置は、左端印字モードと中央印字モードとで異なります。

左端印字モードのときは、第1文字目の印字位置は、有効印字領域の左端 (用紙の左端から5mm内側) になります。



中央印字モードのときは、印字領域全体を用紙の中央にレイアウトするために、次の量だけ有効印字領域の左端からオフセットした位置に、第1文字目を印字します。



ページフォーマット		A3	B4	A4	B5	A5	はがき
実寸縦 (Fmode 1)	左端オフセット	185	311	459	547	652	805
	印 字 幅	1806	1554	1258	1082	871	565
実寸横 (Fmode 2)	左端オフセット	-203	-28	185	311	459	652
	印 字 幅	2582	2232	1806	1554	1258	871

単 位：1/160インチ

- ・印字幅は印字領域の左端から右端までのドット数です。
- ・左端オフセット量は「用紙位置微調整」が初期値「+000」の場合です。



用紙位置の微調整 → 「3.2.1 ページレイアウトグループ

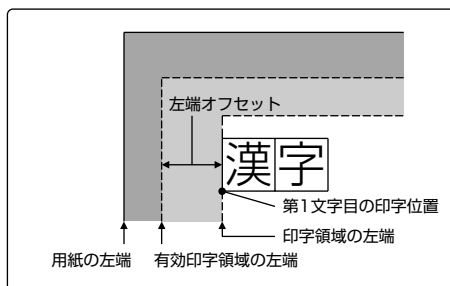
(4) 用紙位置を左右に微調整する」 《 P.3-13》

■縮小をともなうページフォーマット

ページフォーマットFmode 7, 8の中央印字モードでは、実際に印字する用紙サイズの1.5倍の用紙サイズを想定したときのFmode 1, 2の印字位置と同じになります。

ページフォーマットFmode 7, 8の左端印字モードでは、初期状態のときの第1文字目の印字位置は、ページフォーマットおよび用紙サイズによって異なります。

LBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域の左端から次の量だけオフセットした位置に、第1文字目を印字します。



ページフォーマット	A3	B4	A4	B5	A5	はがき
10"→A4縦 (Fmode 3)	533	297	15	0	0	0
15"→A4横 (Fmode 4)	1061	750	345	0	0	0
15"→B4横 (Fmode 6)	381	52	0	0	0	0
2/3縦 (Fmode 7)	0	0	0	0	0	0
2/3横 (Fmode 8)	0	0	0	0	0	0

単 位：1/300インチ

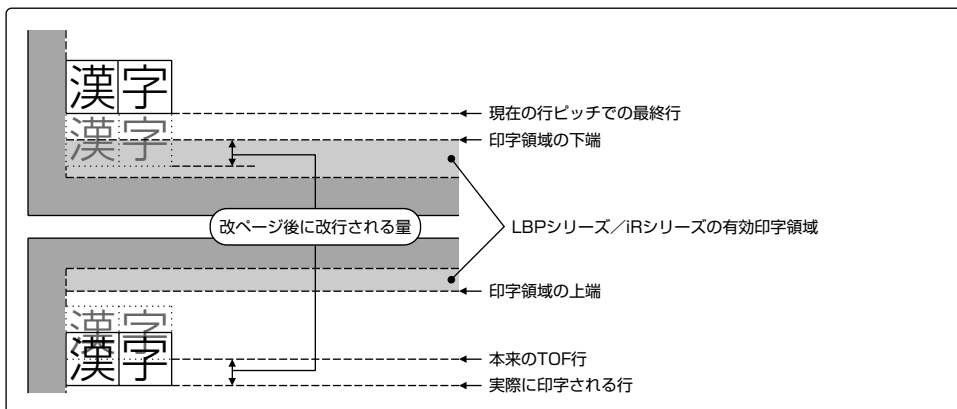
- ・左端オフセット量は「用紙位置微調整」が初期値「+000」の場合です。
- ・2/3縦 (Fmode 7)、2/3横 (Fmode 8) は左端印字モード時の値です。

ページフォーマットFmode 3, 4でA3、B4、A4サイズ of 用紙を使用するとき、Fmode 6でA3、B4サイズ of 用紙を使用するときや、Fmode 7, 8でA3、B4、A4、A5サイズ of 用紙を使用するときは、1ページ分の印字データが用紙の中央にレイアウトされるように第1文字目の印字位置をオフセット量で調整しています。そのほかの組み合わせでは、LBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域のほぼ左端が第1文字目の印字位置になります。

2.5.3 印字領域の下端での印字動作

N201エミュレーションモードでは、PC-PR201/80Aとほぼ同じ印字動作を行うために、PC-PR201/80Aの用紙エンド（用紙の下端）に相当する位置が用紙サイズごとに決められています。

この用紙エンドによって印字の下限となる印字位置（印字下限位置）は、先頭行（初期状態）からの最小改行ピッチ（1/120インチ）で設定されていますが、この位置が実際の印字の改行ピッチによる最終行（次行が用紙エンドを越える行）と一致しないと、次ページの先頭行の位置がずれてしまいます。これは、印字時の最終行で改行が行われると、その位置から用紙エンド位置までを改行量の一部とし、改ページしたあとで、その残りの改行が行われるためです。



複数のページにわたる印字データを、改ページ後に正しい先頭行の位置から印字させるには、次のいずれかを行う必要があります。

- 用紙エンドの検出位置より前で改ページ命令を送る
- カット紙対応のページフォーマットでメニューの「用紙長」で1ページの行数を用紙エンドの検出位置より前に設定し、「単票用紙長機能」を有効に設定する



標準領域モードでの印字行数 → 「2.2.2 1ページの文字数と行数」 《 P.2-25》

ワイド領域モードでの印字行数 → 「2.3.2 ワイド領域での1ページの文字数と行数」

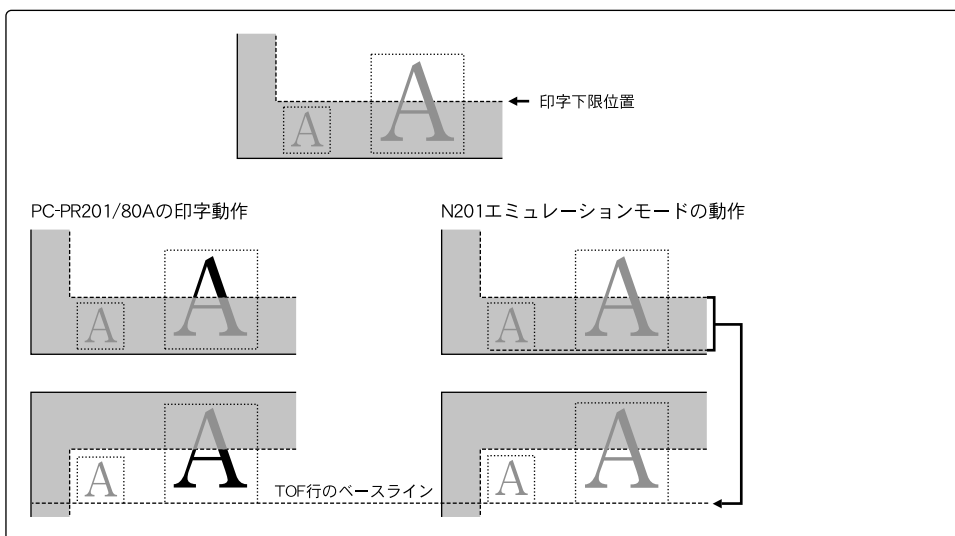
《 P.2-30》



最終行にn倍の縦倍文字がある場合、PC-PR201／80Aのカットシートフィーダ使用時は縦倍文字の上部を用紙内に印字し、下部を次の用紙のTOF行に印字します。カットシートフィーダを使用しないときはミシン目にまたがるように印字します。

本エミュレーションモードでは、ページフォーマットに関わらず、縦倍文字が有効印字領域内に入っている場合は印字し、有効印字領域をはみ出す場合は、そのページに印字しません。

次の例では、文字の印字位置が縦倍文字のための改行によって印字下限位置を越えるため、途中で改ページされます。次ページでは、TOF行から残りの改行（印字下限位置を越えた部分）が行われて印字されます。

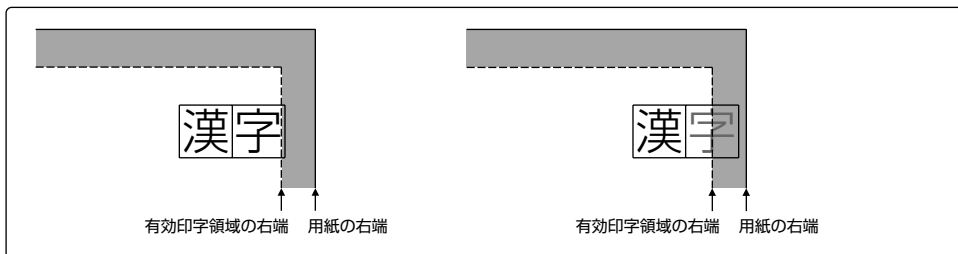


なお、改ページ後に残りの改行が行われた場合、印字データが有効印字領域の上端を越えると印字は行われません。

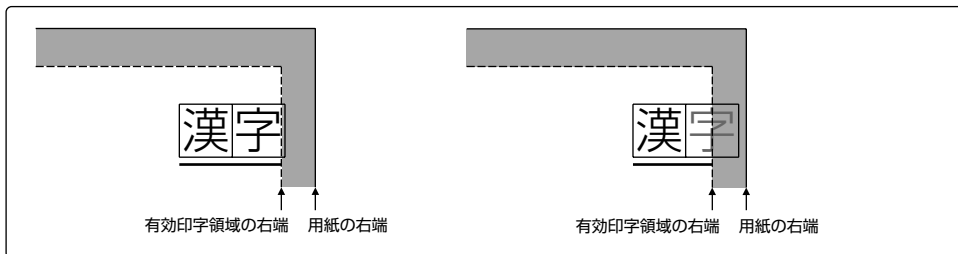
2.5.4 印字領域の右端での印字動作

PC-PR201/80Aでカットシートフィーダを使用している場合は、用紙の右端のチェックが行われません。

本エミュレーションモードでは、文字フォントの実際の文字幅が有効印字領域の右端を越えなければ、その文字を印字します。



文字にアンダーラインを引いている場合、同様に文字幅が有効印字領域を越えなければ、文字およびアンダーラインを印字しますが、文字幅が有効印字領域を越える場合は、文字を印字せずに有効印字領域内のアンダーラインだけを印字します。

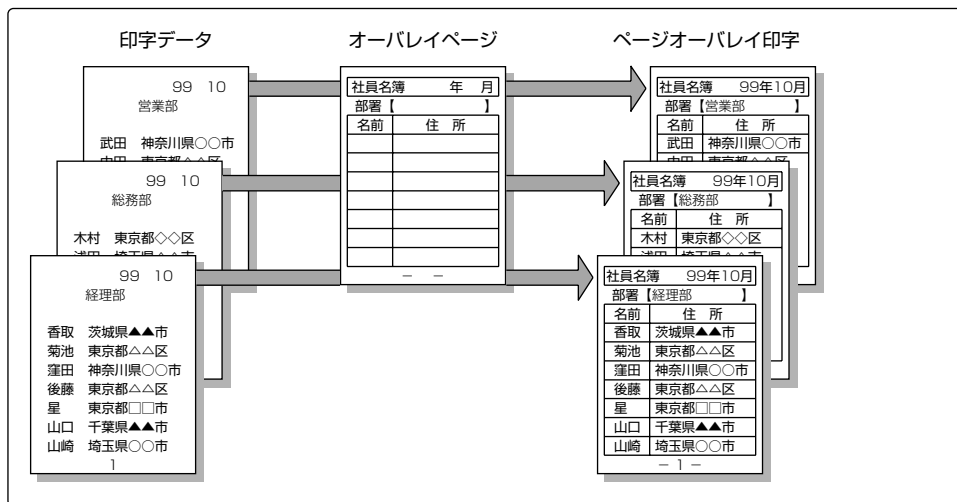


2.6 N201モードの拡張機能

N201エミュレーションモードが持っている拡張機能について説明します。

2.6.1 ページオーバレイ機能

帳票などを印字するとき、それぞれのページの内容を枠取りしたり、罫線や網を掛けたい場合があります。この罫線や網などをそれぞれのページで作成するのではなく、LBPシリーズ/iRシリーズのオーバレイページにあらかじめ登録しておいて、ホストコンピュータから送られる印字データに重ねて印字することができます。この機能をページオーバレイといいます。このページオーバレイ機能を使うと、表の罫線や文字、網掛けなどのデータをページごとに送る必要がないのでデータ量を減らすことができ、データ作成を効率よく行うことができます。

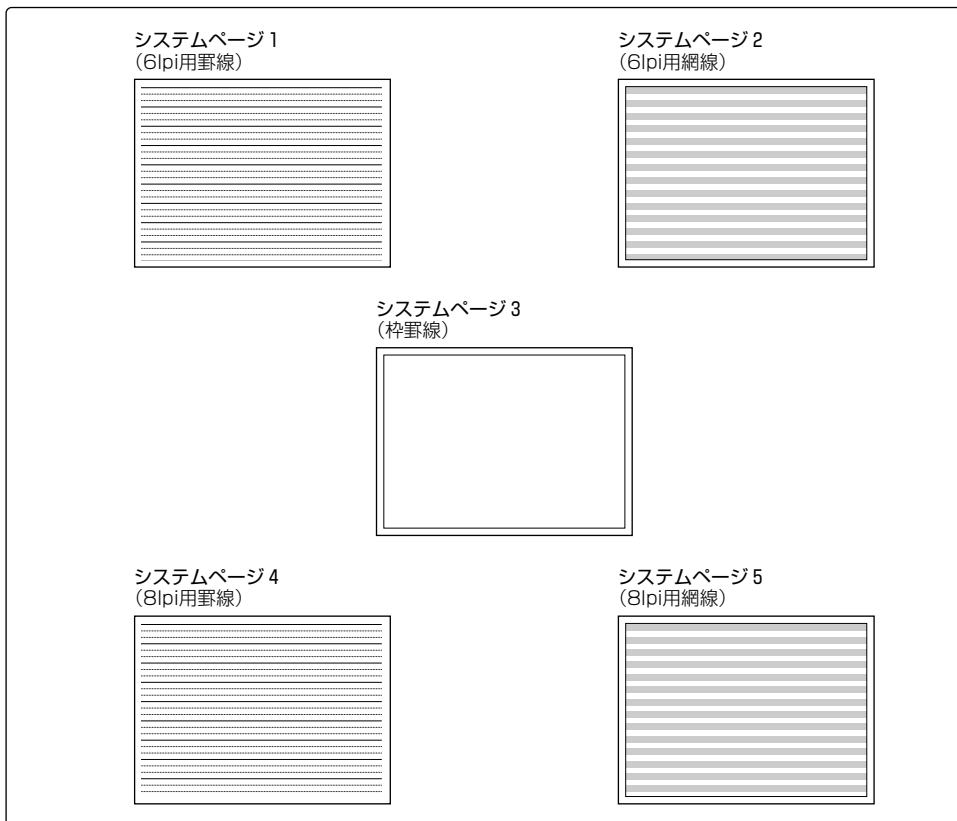


LBPシリーズ/iRシリーズには、横罫線、枠取り、行網掛けなど、汎用的な定型フォームが5種類ほど登録されています。あらかじめ保有しているこのオーバレイページをシステムページといいます。

ユーザが独自にフォームを作成して登録できるオーバレイページを、システムページに対してユーザページといいます。

(1) システムページ

システムページには、LBPシリーズ/iRシリーズが保有している次の5種類の定型フォームが登録されています。



システムページの印字サンプル→「付録4. 内蔵フォームの印字サンプル」

《 P.app.20 》

■システムページのオーバーレイ印字

システムページのオーバーレイ印字は、メニューの「システムオーバーレイ」でシステムページ番号を設定して開始します。

「3.2.4 印字機能グループ (4) システムページのオーバーレイ印字を設定する」

《☞ P.3-37》

ただし、システムページを指定した時点で、オーバーレイ印字が開始されるわけではなく、通常の印字データによってページが排出されるときに、そのページに対してオーバーレイ印字が行われます。

なお、システムページのオーバーレイ印字の開始を指定すると、パラメータリセット処理が行われます。

システムページのオーバーレイ印字を終了するときは、メニューの「システムオーバーレイ」でシステムページ番号を指定せずに「オフ」を指定します（iRシリーズはメニューの「システムオーバーレイ設定」で「しない」を指定します）。



システムページをオーバーレイ印字に設定し、さらにユーザページに登録されているフォームを重ねてオーバーレイ印字することもできます。

(2) ユーザページ

ユーザページは、ユーザが独自にフォームを作成して登録できるオーバーレイページです。ユーザページは2ページ（ユーザページ1およびユーザページ2と呼びます）まで登録できます。

■ユーザページの登録

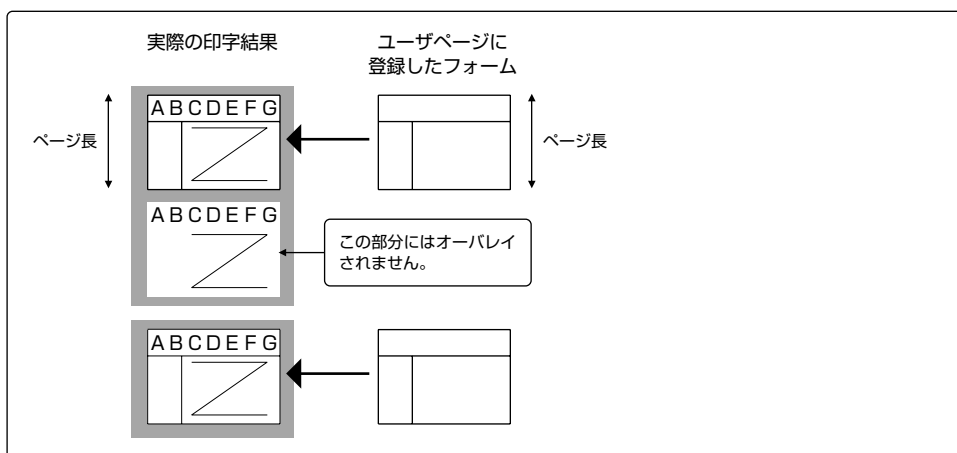
ユーザページのフォームの登録は、N201エミュレーションモードで追加されたLBPシリーズ/iRシリーズ独自の制御命令（LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令）によって開始します。

■「ユーザページの登録[ESC] ? h」 《☞ P.4-63》

登録を開始すると、以降ホストコンピュータから送られてくるフォームデータが、指定されたユーザページ（1または2）に登録されます。なお、登録開始時にはパラメータリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメータが初期状態に戻ります。ただし、メニューで設定した印字パラメータはそのまま残ります。また、LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令によってユーザページの登録を終了したときにも、パラメータリセット処理が行われます。



ひとつのユーザページに登録できるフォームデータは、用紙1ページ分です。したがって、ページ長を短く設定して1枚の用紙に複数のページを確保した場合は、フォームは用紙単位でしかオーバーレイされません。



ユーザページの登録中は、以下の命令が無視されます。

- ユーザページの登録開始 [ESC] ? h
- LIPSの制御命令によるユーザページの登録 [ESC] ? '
- LIPSの制御命令によるユーザページの登録終了 [ESC] ? .
- 複写ページの登録 [ESC] ?? h
- 複写用紙のオーバーレイ印字開始 [ESC] ?? p
- 複写用紙のオーバーレイ印字終了 [ESC] ?? z
- 複写ページの消去 [ESC] ?? r

ユーザページの登録は、次のLBPシリーズ/iRシリーズ専用命令を受信すると終了します。

- 「ユーザページの登録終了」 [ESC] ? e (☞ P.4-64)

このほか、次のような場合にもユーザページの登録は終了します。

- 排紙をとまなう制御命令を受信したとき
- パラメータリセットをとまなう制御命令を受信したとき
- 制御命令によって、ソフトリセット処理が行われたとき
- 垂直移動をとまなう制御命令によって用紙エンド位置を越えたとき

(この制御命令には、改行[LF]、改ページ[FF] ([ESC] a、[ESC] b)、垂直タブ位置への移動[VT]などがあります。)

- 制御命令のVFUのセット開始[GS]が実行されたとき
- ユーザページに登録するデータがメモリサイズを超えたとき

「23 ダウンロードメモリフル」(iRシリーズは「23 ダウンロードフル」というエラーメッセージが表示されます。

このとき、「エラースキップ」をすると、これ以前のデータを登録し、以降のデータは読み飛ばします。

なお、ユーザページに登録したフォームのデータは、メニューの「登録レベル」の設定によって消去する時期を選択できます。

- 「一時」に設定したとき：印字を開始し、1連の印刷処理(ジョブ)すべてのページの印字が終了した時点で登録内容が消去されます。
- 「永久」に設定したとき：LBPシリーズ/iRシリーズの電源をオフにするか同等のリセット処理を行うまで登録した内容を保持します。



すでに登録されているユーザページに新しいフォームを登録すると、登録済みのフォームは消去されます。また、ユーザページに登録したフォームのデータ量が多いと、普通のページの印字が遅くなることがあります。



LIPSモードでユーザページを登録する→「4.4.1 フォーム作成の制御命令 (3) LIPSの制御命令によるユーザページの登録／(4) LIPSの制御命令によるユーザページの登録終了」《☞ P.4-65／P.4-67》

■ユーザページのオーバーレイ印字

ユーザページのオーバーレイ印字は、メニューの「ユーザページ1」または「ユーザページ2」を「オン」に設定して開始します（iRシリーズは、メニューの「ユーザオーバーレイ1設定」または「ユーザオーバーレイ2設定」を「する」に設定して開始します）。両方を「オン」に設定すれば両方のフォームを重ねてオーバーレイ印字することができます。

ただし、ユーザページを設定した時点で、オーバーレイ印字が開始されるわけではなく、通常の印字データによってページが排出されるときに、そのページに対してオーバーレイ印字が行われます。

なお、ユーザページのオーバーレイ印字の開始を指定すると、パラメタリセット処理が行われます。



「3.2.4 印字機能グループ (6) ユーザページ1のオーバーレイ印字を設定する／(7) ユーザページ1のオーバーレイ印字を設定する」《☞ P.3-40／P.3-41》

ユーザページのオーバーレイ印字を終了するときは、メニューの「ユーザページ1」または「ユーザページ2」を「オフ」に設定することによって終了します（iRシリーズは、メニューの「ユーザオーバーレイ1設定」または「ユーザオーバーレイ2設定」を「しない」に設定することによって終了します）。



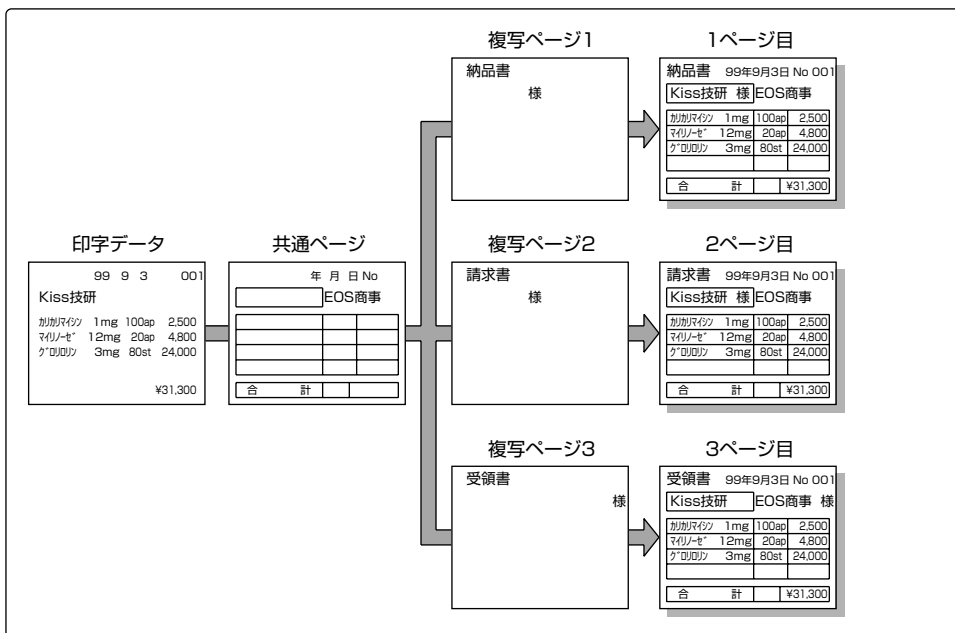
ユーザページのフォームをシステムページの定型フォームと重ねて印字することもできます。システムページのオーバーレイ印字を終了するときは、メニューの「システムオーバーレイ」でシステムページ番号を指定せずに「オフ」を指定します（iRシリーズは、メニューの「システムオーバーレイ設定」で「しない」を指定します）。

2.6.2 複写用紙機能

バックカーボン付きの複写用紙のように、1ページの印字データを作成するだけで、そのページの内容を最高5枚まで複写して印字できます。この機能を複写用紙機能といいます。複写するそれぞれのページに枠取りや罫囲みなどをオーバーレイ印字することもできます。全部の用紙にオーバーレイ印字するフォームは、共通ページという複写用紙機能専用のオーバーレイページに登録できるほか、ページオーバーレイ印字機能のシステムページやユーザページに登録されているフォームも利用できます。

また、複写式伝票のように、枠取りや罫囲みが共通でも伝票タイトル部分などがページによって異なるものがあります。複写用紙機能では、複写するそれぞれのページに対応する複写ページ（1～5）というオーバーレイページが用意されており、各ページの伝票タイトルなどを登録しておくことができます。

この複写ページを印字データにオーバーレイ印字すると、複写されたページそれぞれに、異なる伝票タイトルがオーバーレイされます。



■共通ページと複写ページを登録する

共通ページと複写ページは、ユーザが独自にフォームを作成して登録できる複写用紙機能専用のオーバーレイページです。

登録できるページ数は、共通ページが1ページ、複写ページは複写する枚数に順番に対応する1～5ページとなります。

共通ページは複写用紙すべてに毎回オーバーレイ印字され、それぞれの複写ページは、対応する複写用紙のページだけにオーバーレイ印字されます。

共通ページや複写ページの登録は、LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令で開始します。

■「複写ページの登録」 [ESC] ??h 《 P.4-68》

この制御命令のパラメータで「K」を指定すると共通ページ、「1～5」を指定すると複写用紙の各ページに対応する複写ページを登録できます。登録を開始すると、以降ホストコンピュータから送られてくるフォームデータが、指定された共通/複写ページに登録されます。



共通ページのかわりに、ページオーバーレイ機能のシステムページやユーザページのフォームを使用することができます。その場合は共通ページを登録する必要はありません。

共通/複写ページの登録を開始すると、パラメータリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメータが初期状態に戻ります。ただし、操作パネルで設定した印字パラメータはそのまま残ります。

また、LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令によって共通/複写ページの登録を終了すると、パラメータリセット処理が行われます。



ひとつの共通/複写ページに登録できるフォームデータは、用紙1ページ分です。したがって、ページ長を短く設定し、1枚の用紙に複数のページを確保しても、フォームは用紙単位でしかオーバーレイされません。



共通／複写ページの登録中に無視される制御命令

ユーザページの登録中は、次の制御命令が無視されます。

- ユーザページの登録 [ESC] ? h
- 複写ページの登録 [ESC] ?? h
- 複写用紙のオーバーレイ印字開始 [ESC] ?? p
- 複写用紙のオーバーレイ印字終了 [ESC] ?? z

共通／複写ページの登録は、次のLBPシリーズ／iRシリーズ専用命令を受信すると終了します。

- 「ユーザページの登録終了」[ESC] ? e 《☞ P.4-64》

このほか、次のような場合にも共通／複写ページの登録は終了します。

- 排紙をとまなう制御命令を受信したとき
- パラメタリセットをとまなう制御命令を受信したとき
- 制御命令によって、ソフトリセット処理が行われたとき
- 垂直移動をとまなう制御命令によって用紙エンド位置を越えたとき

(この制御命令には、改行[LF]、改ページ[FF] ([ESC] a、[ESC] b)、垂直タブ位置への移動[VT]などがあります。)

- 制御命令のVFUのセット開始[GS]が実行されたとき

- 共通／複写ページに登録するデータがメモリサイズを超えたとき

「23 ダウンロードメモリアル」(iRシリーズは「23 ダウンロードフル」というエラーメッセージが表示されます。

このとき、「エラースキップ」をすると、これ以前のデータを登録し、以降のデータは読み飛ばします。

なお、共通／複写ページに登録したフォームのデータは、メニューの「登録レベル」の設定によって消去する時期を選択できます。

- 「一時」に設定したとき：印字を開始し、1連の印刷処理（ジョブ）すべてのページの印字が終了した時点で登録内容が消去されます。
- 「永久」に設定したとき：LBPシリーズ／iRシリーズの電源をオフにするか同等のリセット処理を行うまで登録した内容を保持します。

登録した共通／複写ページのフォームを消去するときは、次のLBPシリーズ／iRシリーズ専用命令を使用します。

- 「複写ページの消去」 **[ESC]** ?? r 《☞ P.4-69》



すでに登録されている共通／複写ページに新しいフォームを登録すると、登録済みのフォームは消去されます。また、共通／複写ページに登録したフォームのデータ量が多いと、普通のページの印字が遅くなることがあります。

■複写用紙機能の印字

複写用紙機能を使用した印字は、LBPシリーズ／iRシリーズ専用命令によって開始します。

- 「複写用紙のオーバーレイ印字開始」 **[ESC]** ?? p 《☞ P.4-69》

複写用紙全ページにオーバーレイするフォームとしては、複写用紙機能専用に登録した共通ページのフォーム、ページオーバーレイ印字機能のシステムページのフォーム、ユーザページのフォームが選択できます。

なお、複写用紙機能のオーバーレイ印字は、通常の印字データによってページが排出されるときに、そのページに対して行われます。

複写用紙機能を終了するときは、LBPシリーズ／iRシリーズ専用命令を使用します。

- 「複写用紙のオーバーレイ印字終了」 **[ESC]** ?? z 《☞ P.4-70》

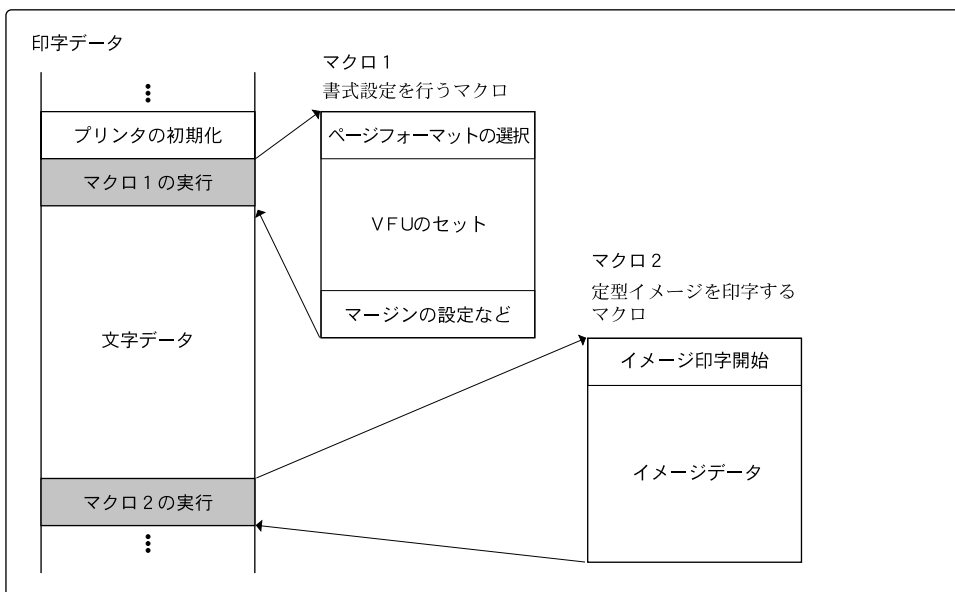


実際に印字する用紙サイズと使用するフォームの用紙サイズ、用紙の向き、解像度が異なると、複写用紙機能は行われません。また、ページオーバーレイ機能と複写用紙機能を同時に実行することはできません。

2.6.3 マクロ機能

定型的な処理を行うための一連の制御命令や、文字・イメージを印字する手順などをあらかじめ登録し、必要なときに呼び出して実行することができます。この定型化された手順をマクロといいます。

たとえば、ページの書式（ページ長やマージンなど）を決める一連の制御命令をマクロに登録しておけば、そのマクロを呼び出すだけで、いつも同じ書式で印字を行うことができます。また、同じイメージを印字する場合などは、その印字データをマクロに登録しておけば、印字のたびにイメージデータを送る必要がなくなります。



このように、マクロを使用すると、データ量を削減することができるので、印字処理を効率よく行うことができます。

■マクロの登録

マクロの登録や削除は、LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令によって行うことができます。

マクロには、マクロ番号（000～255）をつけて登録します。

なお、いったん登録したマクロに、データを追加させることもできます。

- マクロの登録 **[ESC]** ? = 《☞ P.4-74》
- マクロの削除 **[ESC]** ?] 《☞ P.4-75》
- マクロの追加登録 **[ESC]** ? & 《☞ P.4-76》

マクロの登録は、次の場合に中止されます。

- 操作パネルでハードリセット処理を行ったとき（iRシリーズは、プリンタ初期化を行ったとき）
- 操作パネルでソフトリセット処理を行ったとき（iRシリーズは、プリント中止を行ったとき）
- インプットブライム信号を受信したとき（LBPシリーズのみ）
- 登録するマクロデータがメモリサイズを超えたとき
（このとき、残りのマクロデータは読み飛ばされます。）

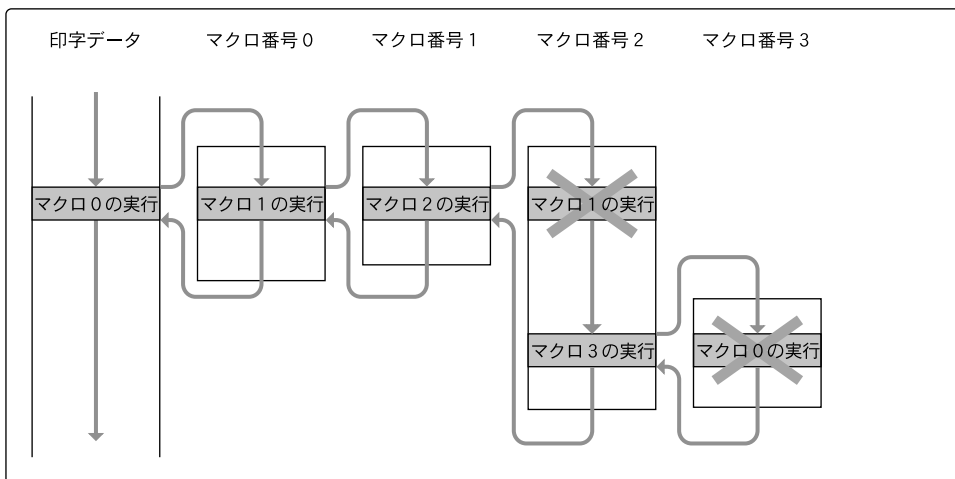
■マクロの実行

登録したマクロは、LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令によって実行することができます。

- マクロの実行 **[ESC]** ? [《☞ P.4-75》

マクロを実行するときは、登録時につけたマクロ番号を指定します。

マクロの中でさらに別のマクロを実行することもできますが、このとき、すでに実行中のマクロを実行しようとする、そのマクロ実行命令は無視されます。また、実行中のマクロと同じマクロ番号を指定しても実行されません。



マクロの実行は次の場合に中止されます。

- 操作パネルでハードリセット処理を行ったとき（iRシリーズは、プリンタ初期化を行ったとき）
- 操作パネルでソフトリセット処理を行ったとき（iRシリーズは、プリント中止を行ったとき）
- インプットプライム信号を受信したとき（LBPシリーズのみ）



マクロの実行時、次の制御命令は無視されます。

- マクロの登録 [ESC] ? = 《 P.4-74》
- マクロの削除 [ESC] ?] 《 P.4-75》
- マクロの追加登録 [ESC] ? & 《 P.4-76》

また、マクロの実行中、次のLBPシリーズ/iRシリーズ専用命令は、文字データとして扱われます。

- ヘキサ形式データの設定 @@ C ?
- LIPS-ヘキサ形式モードの開始 @@ L ?

■マクロの自動実行

リセット処理を行った場合に、指定のマクロを自動的に実行することができます。このマクロをスタートアップマクロといいます。

スタートアップマクロのマクロ番号は、メニューの「スタートアップマクロ」で指定します。

「3.2.4 印字機能 (5) マクロ機能を設定する」《☞ P.3-39》

指定したスタートアップマクロは、PC-PR201/80Aの制御命令「LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理[ESC] c 1」を受信すると、リセット処理を行った後、自動的に実行されます。



制御命令以外でリセット処理が行われても、スタートアップマクロは実行されません。

また、メニューの「登録レベル」が「一時」に設定されているとき、リセット処理の種類によっては登録したマクロ本体が消去され、スタートアップマクロ機能が動作しない場合があります。

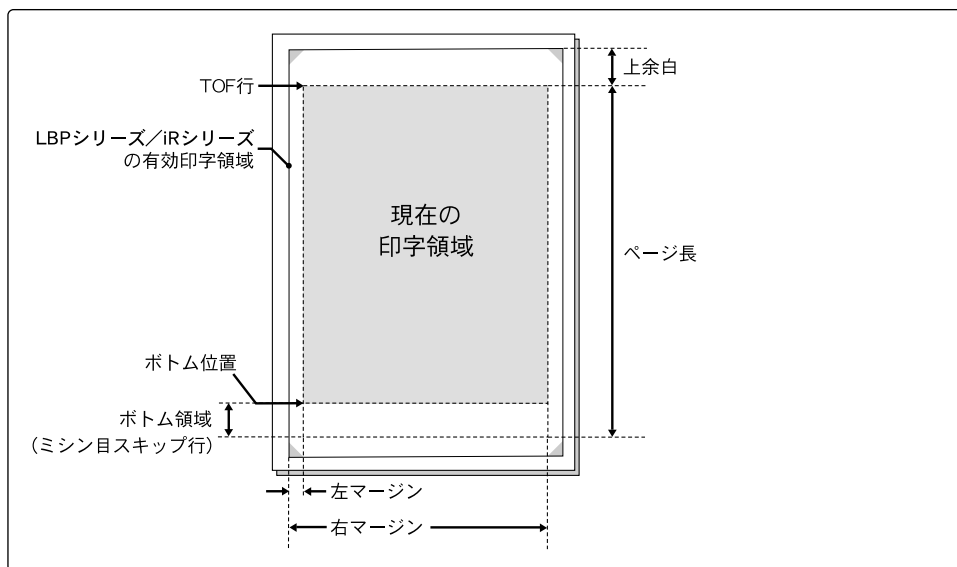
2.6.4 行桁固定機能

印字したい行数や文字数を指定するだけで、現在の印字領域にその行数や文字数で印字できるように、改行ピッチおよび文字ピッチを自動的に設定することができます。この機能を行桁固定機能といいます。

行桁固定機能を使用すると、制御命令で現在設定されている改行ピッチや文字ピッチの調整量などが無効になり、行桁固定機能で計算された改行ピッチおよび文字ピッチが有効になります。

ここでの文字ピッチとは、パイカ（10cpi）などの文字固有のピッチではなく、文字と文字の印字間隔を指します。したがって、実際には文字ピッチ調整量が自動的に設定されることになります。

現在の印字領域とは、メニューや制御命令で設定されているページフォーマット、上余白、ボトム位置（ページ長/ミシン目スキップ）、および左/右マージンで設定されている領域のことです。



アプリケーションソフトウェアを使用する場合は、行桁固定機能を無効にしてください。行桁固定機能を有効にして印字すると、アプリケーションソフトウェア側で設定した改行ピッチや文字ピッチなどがすべて無効になります。

■行数／文字数（漢字比率）の設定

文字ピッチや改行ピッチを決定するための文字数や行数を、メニューの「桁固定」の各項目で設定します。

■行数

行数は、印字領域のTOF位置からボトム位置までに印字する行数を、メニューの「行数」で設定します（10行～400行）。

指定した行数が印字できるように改行ピッチが計算されます。改行ピッチは、1バイトコード文字／2バイトコード文字に関係なく一定です。

ただし、改行ピッチは先頭行（TOF行）からボトム位置までを指定された行数で除算して余りを切り捨てるため、誤差が出る場合があります。

最大誤差
＝構成された改行ピッチ - 最小垂直位置移動単位（1／120インチ）



「3.2.2 桁固定グループ（3）1ページの行数を設定する」《☞ P.3-22》

■文字数

文字数は、印字領域の右端から左端までに印字する1バイトコード文字（ANK文字）の文字数を、メニューの「桁数」で設定します（10文字～400文字）。

文字ピッチはANK文字が基準となり、指定した文字数が印字できるように文字ピッチが計算されます。漢字の文字ピッチは漢字比率の指定によって決定されます。

文字ピッチ（文字ピッチ調整量）の計算は、左マージン位置から右マージン位置までを指定の文字数で除算して余りを切り捨てるため、改行ピッチ同様に誤差が出る場合があります。

最大誤差
＝構成された文字ピッチ - 最小水平位置移動単位（1／160インチ）



「3.2.2 桁固定グループ（4）1行の文字数を設定する」《☞ P.3-23》

■漢字比率

1バイトコード文字（ANK文字）の文字ピッチに対する2バイトコード文字（漢字）の文字ピッチの比率を漢字比率といいます。

2バイトコード文字（漢字）の文字ピッチを、1バイトコード文字（ANK文字）の何倍にするかをメニューの「漢字ピッチ」で指定できます。倍率は、等倍、2倍、3/2倍、4/3倍、5/4倍の中から選択します。

なお、漢字を横縮小した場合の文字ピッチは、通常のときの1/2倍になります。



「3.2.2 行桁固定グループ（5）漢字の文字ピッチを設定する」《☞ P.3-24》

■行桁固定機能の実行

メニューで設定した行数、文字数、漢字比率をもとに、文字ピッチや改行ピッチを自動設定して印字する場合は、行桁固定機能の切り換えを「有効」にする必要があります。改行ピッチの自動設定と文字ピッチの自動設定はそれぞれ独立して「有効」にすることができます。

■改行ピッチの自動設定（行固定機能）

メニューの「行固定機能」を「有効」に設定すると、「行数」で設定した行数をもとに改行ピッチ調整量が自動設定されます。このとき、印字データがある場合は印字と排紙が行われます。

以後、「行固定機能」が「無効」に設定されるまで、改行ピッチを変更する制御命令はすべて無効になります。

なお、「行固定機能」を「無効」に切り換えるとパラメータリセット処理が行われます。



「3.2.2 行桁固定グループ（1）改行ピッチを自動的に設定する」《☞ P.3-20》

■文字ピッチの自動設定（桁固定機能）

メニューの「桁固定機能」を「有効」に設定すると、「桁数」で設定した文字数と「漢字ピッチ」で設定した漢字比率をもとに、文字ピッチ調整量が自動設定されます。このとき、印字データがある場合は印字と排紙が行われます。

以後、「桁固定機能」が「無効」に設定されるまで、文字ピッチを変更する制御命令はすべて無効になります。ただし、OCRフォントを使用して印字する場合は、文字ピッチ10cpiで印字されます。

なお、「桁固定機能」を「無効」に切り換えるとパラメータリセット処理が行われます。



「3.2.2 行桁固定グループ「(2) 文字ピッチを自動的に設定する」《☞ P.3-21》



行固定機能および桁固定機能が有効に設定されているときにメニューまたは制御命令によって次の設定が行われた場合、その設定による新しい印字領域での改行ピッチおよび文字ピッチが計算されます。

- ページフォーマットの設定
- 上余白の設定
- 用紙位置の設定（中央／左端印字モード）
- 用紙位置の微調整
- 印字領域の設定（標準／ワイド領域モード）
- 行桁固定機能の行数／文字数／漢字比率の設定
- 右マージン位置の初期値の設定
- 用紙サイズの設定
- ページ長の設定
- ミシン目スキップ行数の設定
- 左／右マージンの設定（制御命令）
- リセット処理によって、上記の設定が変更（初期状態）された場合

■無効になる制御命令

行固定機能および桁固定機能が有効に設定されているときは、次のPC-PR201/80Aの制御命令が無効になります。

制御命令による設定項目		行固定機能 有効時	桁固定機能 有効時
改行ピッチの設定 (1/6インチ)	[ESC] A	無効	有効
改行ピッチの設定 (1/8インチ)	[ESC] B	無効	有効
改行ピッチの設定 (n/120インチ)	[ESC] T	無効	有効
パイカモードの指定	[ESC] N、 [ESC] H	有効	無効
エリートモードの指定	[ESC] E	有効	無効
コンデンスモードの指定	[ESC] Q	有効	無効
プロポーショナルモードの指定	[ESC] P	有効	無効
漢字の文字ピッチの指定 (3/20インチ)	[FS] A	有効	無効
漢字の文字ピッチの指定 (1/5インチ)	[FS] B	有効	無効
漢字の文字ピッチの指定 (1/6インチ)	[FS] C	有効	無効
漢字の文字ピッチの指定 (2/15インチ)	[FS] D	有効	無効
漢字の文字ピッチの指定 (1/10インチ)	[FS] F	有効	無効
漢字の文字ピッチの指定 (1/6インチ)	[FS] G	有効	無効
漢字の文字ピッチの指定	[FS] p	有効	無効
文字ピッチの調整	[FS] w	有効	無効

同様に、次のLBPシリーズ/iRシリーズ専用命令も無効になります。

制御命令による設定項目		行固定機能 有効時	桁固定機能 有効時
漢字の文字ピッチの指定	[ESC] ? H	有効	無効
ANK文字サイズの指定	[ESC] ? `	有効	無効

2.6.5 2ページ印刷機能

2ページ分の印字データを1枚の用紙に見開きで印字することができます。

2ページ印刷機能は、A3サイズまたはB4サイズの用紙がセットされているときに使用でき、A3サイズの用紙にはA4サイズに収まる印字データ、B4サイズにはB5サイズに収まる印字データを2ページ分印字できます。

印字データの用紙サイズ（A4やB5）がポートレイトのときは、左右に2ページ印刷され、ランドスケープのときは、上下に2ページ印字されます。

左右のページ順は、用紙を袋とじにしたときに左開きになるように印字するか、右開きになるように印字するかを設定できます。

2ページ印刷機能は、メニューの「2ページ印刷設定」で「左」（左開き）または「右」（右開き）に設定することによって開始します。



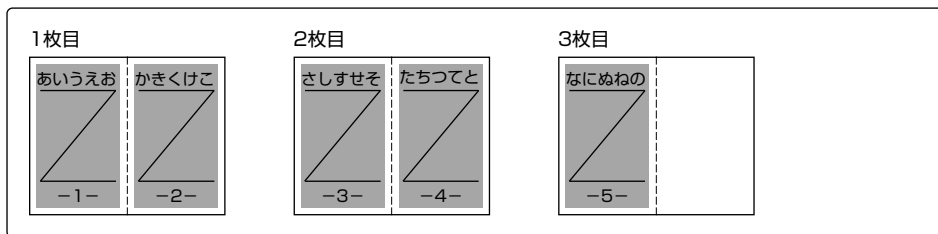
「3.2.1 ページレイアウトグループ「(8) 2ページ分のデータを1ページに印刷する」

《 P.3-19》

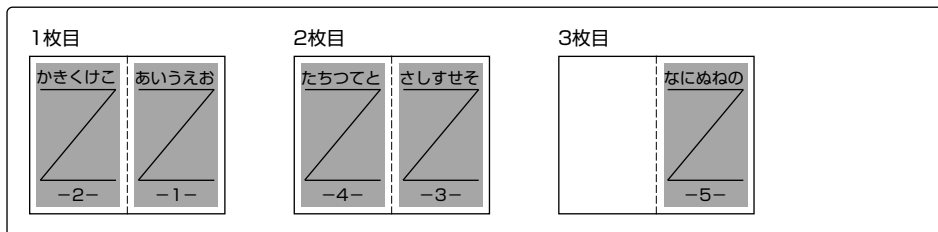
■ポートレイトのときの印字

たとえば、5ページ分の印字データは、次のように印字されます。

■左開き



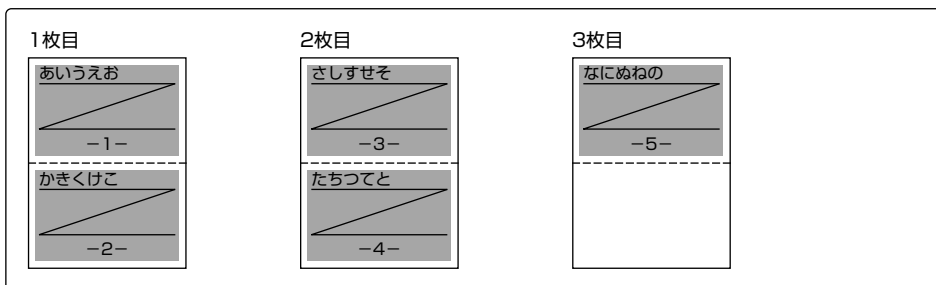
■右開き



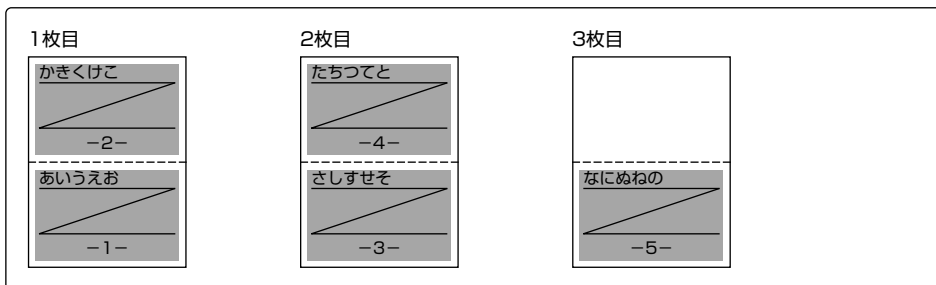
■ランドスケープのときの印字

たとえば、5ページ分の印字データは、次のように印字されます。

■左開き



■右開き



■用紙サイズの表示

2ページ印刷機能使用中にパネルに表示される用紙サイズは、印字に使用する用紙のサイズではなく、印字データの用紙サイズ（A4やB5）です。

■ページオーバレイ機能と2ページ印刷機能

ページオーバレイ機能を使用した場合、印字データの用紙サイズ（A4やB5）のフォーム（システムページ/ユーザページ）が、見開きページ（左右または上下）両方にオーバレイ印字されます。

■複写用紙機能と2ページ印刷機能

2ページ印刷機能を使用しているときは、複写用紙機能は使用できません。

また、複写用紙機能を使用しているときに、2ページ印刷機能を使用する設定（左または右を指定）にすると、複写用紙機能は終了します。

3

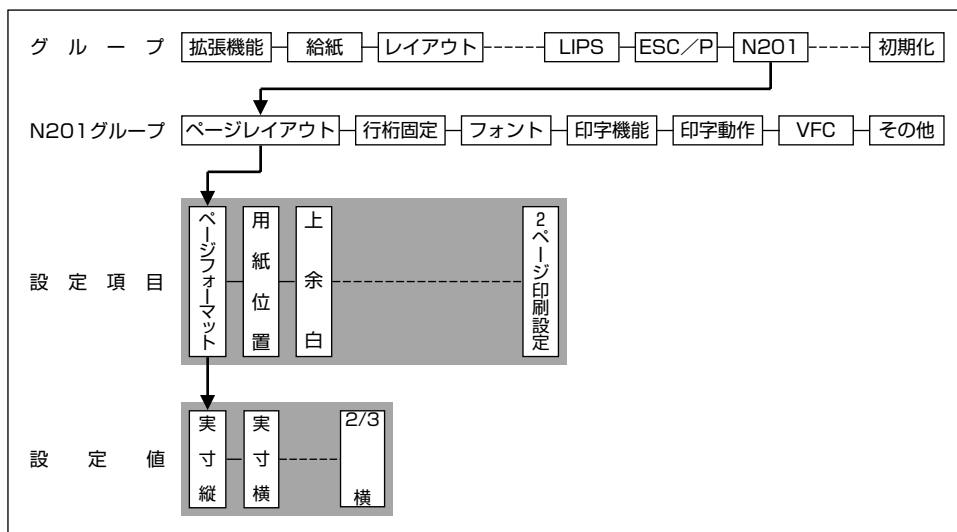
N201モードの設定

PC-PR201/80AとLBPシリーズ/iRシリーズの違いを補うための印字環境（ページフォーマット、印字位置の調整、印字状態など）は、セットアップメニュー（iRシリーズはN201設定メニュー）で設定できます。

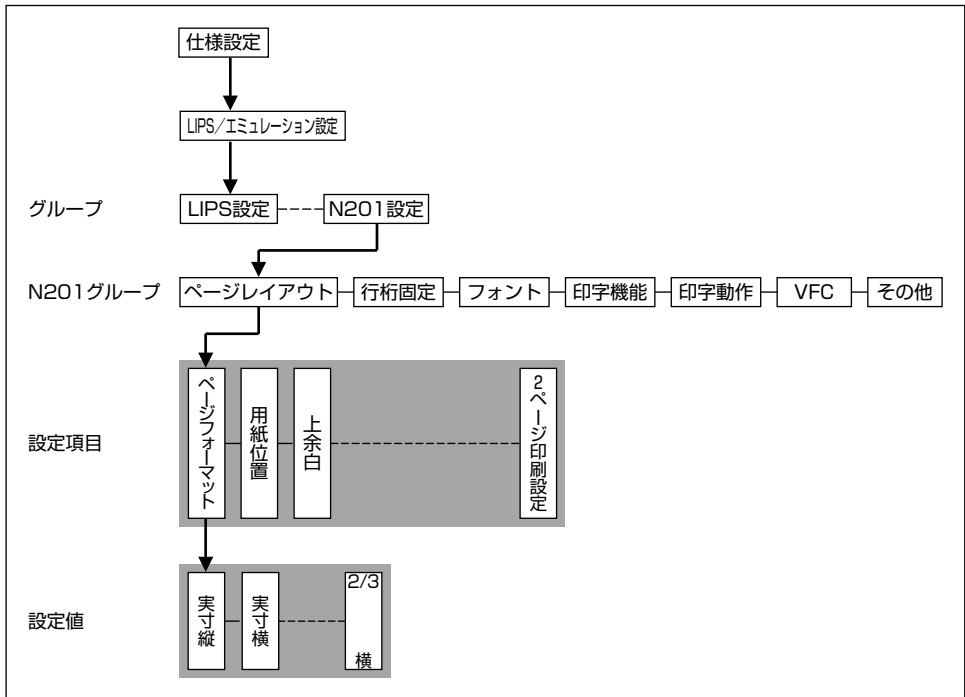
セットアップメニュー（iRシリーズはN201設定メニュー）には、すべての動作モード共通のプリント環境と、エミュレーションなどの動作モードごとに設定できる専用のプリント環境がそれぞれグループ化されて並んでいます。

N201エミュレーションモードの印字環境の設定項目や設定値は、この中のN201グループに含まれています。「N201」（iRシリーズは「N201設定」）というグループ階層を選択すると、N201エミュレーションモード専用の7種類のメニューグループが表示されます。

■LBPシリーズ



■iRシリーズ



3

N201モードの設定

3.1 N201モードの設定項目の種類

N201エミュレーションモードの設定項目は、次の7種類のグループに分かれています。

- ページレイアウトグループ
- 行桁固定グループ
- フォントグループ
- 印字機能グループ
- 印字動作グループ
- VFCグループ
- その他

それぞれのグループに含まれる設定項目は次のとおりです。太字で示されている設定値は、工場出荷時の値です。

■ ページレイアウトグループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
ページフォーマット	ジッスンタテ , ジッスンヨコ, 10"→A4タテ, 15"→A4ヨコ, 15"→B4ヨコ, 2/3タテ, 2/3ヨコ	実寸縦 , 実寸横, 10" →A4縦, 15" →A4横, 15" →B4横, 2/3縦, 2/3横
用紙位置	チュウオウ , ヒダリ	中央 , 左
上余白	-127~+000~+127	-127~0~+127
用紙位置微調整	-127~+000~+127	-127~0~+127
領域	ヒョウジュン , ワイド	標準 , ワイド
右マージン既定値	136ケタ , ミギハシ	136桁 , 右端
用紙サイズ	カレントヨウシ , A3, B4, A4, B5, A5, ハガキ	カレント用紙 , A3, B4, A4, B5, A5, ハガキ
2ページ印刷設定	シナイ , ヒダリ, ミギ	しない , 左, 右

■行桁固定グループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
行固定機能	ムコウ, ヌウコウ	無効, 有効
桁固定機能	ムコウ, ヌウコウ	無効, 有効
行数	10ギョウ~ 66ギョウ ~400ギョウ	10行~ 66行 ~400行
桁数	10ケタ~ 136ケタ ~400ケタ	10桁~ 136桁 ~400桁
漢字ピッチ	2/1, 3/2, 4/3, 5/4, 1/1	2/1, 3/2, 4/3, 5/4, 1/1

■フォントグループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
漢字書体	ミンチョウ, ゴシック, マルゴシック, ID	明朝, ゴシック, 丸ゴシック, ID
フォントID*	001, 002 ~999	1, 2 ~999
漢字サイズ	システム , 8ポイント, 10ポイント, 12ポイント	システム , 8ポイント, 10ポイント, 12ポイント
OCR文字 (iRシリーズ: OCRフォント)	シヨウセズ , OCR-B, OCR-A, OCR-B/OCR-カナ, OCR-A/OCR-カナ	使用せず , OCR-B, OCR-A, OCR-B/OCR-カナ, OCR-A/OCR-カナ
ゼロ書体	0 , ∅	斜線無しゼロ , 斜線付きゼロ
国別文字	ニホン , USA, UK, ドイツ, スウェーデン	日本 , USA, UK, ドイツ, スウェーデン
漢字グラフィックセット	JIS78 , JIS90	JIS78 , JIS90

*: 「漢字書体」で「ID」を選択した時のみ設定できます。

■印字機能グループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
イメージの補正	シナイ, スル	する, しない
外字サイズ	10.8ポイント, 10ポイント	10.8ポイント, 10ポイント
グラフィック	ネイティブ, コピー	ネイティブ, コピー
システムオーバーレイ	オフ, 1, 2, 3, 4, 5	システムオーバーレイ設定: する, しない オーバーレイ番号: 1, 2, 3, 4, 5
スタートアップマクロ	0~255	0~255
ユーザオーバーレイ1 (iRシリーズ: ユーザオーバーレイ1設定)	オフ, オン	する, しない
ユーザオーバーレイ2 (iRシリーズ: ユーザオーバーレイ2設定)	オフ, オン	する, しない

■印字動作グループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
HEXモード後の[LF] (iRシリーズ: HEX後の改行設定)	ムシスル, ムシシナイ	無視する, 無視しない
[CR]機能	フッキノミ, フッキ/カイギョウ	復帰のみ, 復帰/改行
印字指令	CRノミ, CRナド	CRのみ, CRなど
バッファフル	フッキ/カイギョウ, フッキノミ	復帰/改行, 復帰のみ

■VFCグループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
改行幅	6LPI, 4LPI, 3LPI, 8LPI	6 lpi, 4 lpi, 3 lpi, 8 lpi,
単票用紙長機能	ムコウ, ユウコウ	無効, 有効
用紙長機能	ムコウ, ユウコウ	無効, 有効
用紙長設定	0ギョウ~ 66ギョウ ~199ギョウ	0行~ 66行 ~199行
ミシン目スキップ	0ギョウ ~197ギョウ	0行 ~199行

■その他グループ

設定項目	設定値	
	LBPシリーズ	iRシリーズ
登録レベル	イチジ, エイキュウ	一時, 永久
HEX/LIPS機能	ムコウ, ユウコウ	無効, 有効
LIPSフォーム	LIPS2, LIPS4	LIPS2, LIPS4



LBPシリーズ/iRシリーズには、不揮発性メモリ（設定値を書き込んだり登録したりできるメモリで、電源をオフにしても内容は消えません）が組み込まれており、N201エミュレーションモードの設定値は自動的に登録されます。したがって、いったん値を設定しておけば、他の動作モードに切り替えても、再びN201エミュレーションモードに戻ったときに前回の設定値で印字することができます。

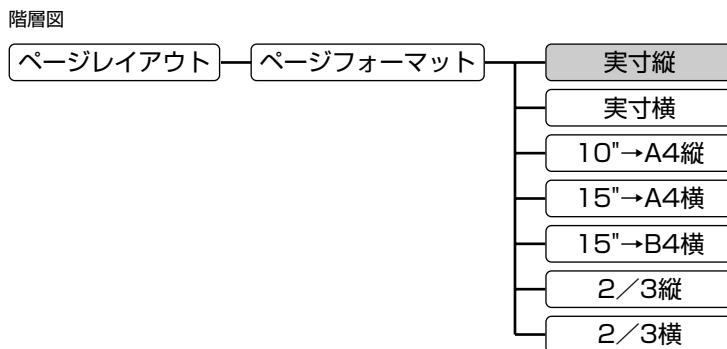
3.2 N201モードの設定

N201エミュレーションモードの設定項目の内容について説明します。

3.2.1 ページレイアウトグループ

ページレイアウトグループでは、PC-PR201／80AとLBPシリーズ／iRシリーズの間での用紙サイズと用紙の向き、印字位置の調整などを行うことができます。

(1) ページフォーマットを設定する (ページフォーマット)



(で示した設定値は工場出荷時の値です。)

PC-PR201／80Aの印字に対応する本エミュレーションモードのページフォーマットを次の7種類から選択します。

■実寸縦 (Fmode 1)

A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズ用の紙をPC-PR201／80Aに縦置きでセットした場合と同じ印字結果になります。

ページレイアウトグループの「用紙サイズ」では、PC-PR201／80Aと同じ用紙サイズを設定します。

■実寸横 (Fmode 2)

A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズ用の紙をPC-PR201/80Aに横置きでセットした場合と同じ印字結果になります。

ページレイアウトグループの「用紙サイズ」では、PC-PR201/80Aと同じ用紙サイズを設定します。

■10"→A4縦 (Fmode 3)

PC-PR201/80Aで10×11インチの連続用紙に印字するデータ(80文字×66行)をA4サイズに入るように縮小してポートレイトで印字します。

ページレイアウトグループの「用紙サイズ」では、A4サイズ以上の用紙を設定します。

■15"→A4横 (Fmode 4)

PC-PR201/80Aで15×11インチの連続用紙に印字するデータ(136文字×66行)をA4サイズに入るように縮小してランドスケープで印字します。

ページレイアウトグループの「用紙サイズ」では、A4サイズ以上の用紙を設定します。

■15"→B4横 (Fmode 6)

PC-PR201/80Aで15×11インチの連続用紙に印字するデータ(136文字×66行)をB4サイズに入るように縮小してランドスケープで印字します。

ページレイアウトグループの「用紙サイズ」では、B4サイズ以上の用紙を設定します。

■2/3縦 (Fmode 7)

A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズ用の紙をPC-PR201/80Aに縦置きでセットして印字するデータを2/3の大きさに縮小してポートレイトで印字します。

ページレイアウトグループの「用紙サイズ」では、縮小率を考慮して、縮小した印字データが印字できるサイズの用紙を設定します。なお、アプリケーション側の用紙サイズの設定は、実際に印字する用紙サイズの1.5倍のサイズを設定してください。

■2/3横 (Fmode 8)

A3、B4、A4、B5、A5、はがきサイズの内紙をPC-PR201/80Aに横置きでセットして印字するデータを2/3の大きさに縮小してランドスケープで印字します。

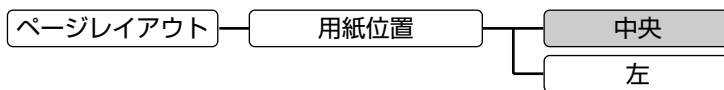
ページレイアウトグループの「用紙サイズ」では、縮小率を考慮して、縮小した印字データが印字できるサイズの用紙を設定します。なお、アプリケーション側の用紙サイズの設定は、実際に印字する用紙サイズの1.5倍のサイズを設定してください。



「2.2 ページフォーマット」《☞ P.2-5》

(2) 用紙位置を設定する（用紙位置）

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

PC-PR201/80Aにカットシートフィーダをセットしたときの用紙位置で印字するか、カットシートフィーダを使用しないときの用紙位置で印字するかを選択します。

■中央

PC-PR201/80Aでの用紙セットの位置を中央合わせにしたときと同じ印字結果になります。

■左

PC-PR201/80Aでの用紙セットの位置を左端合わせにしたときと同じ印字結果になります。



用紙位置の選択は、PC-PR201/80Aにカット紙をセットするときのエミュレーションを行うページフォーマット（Fmode 1, 2, 7, 8）のみで有効です。



PC-PR201/80Aは用紙による印字領域の制限はありませんが、LBPシリーズ/iRシリーズの有効印字領域は用紙の各端から5mm内側となります。このため、「左」に設定した場合、印字結果がずれたり、欠けたりする場合があります。

なお、左右の印字位置は、ページレイアウトグループの「用紙位置微調整」で調整することができます。




「2.1用紙のセット」 [《 P.2-2 》](#)

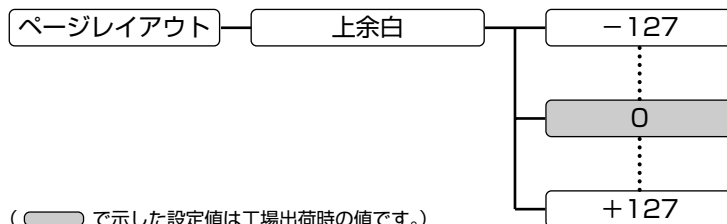
(3) 上余白を設定する (上余白)


LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

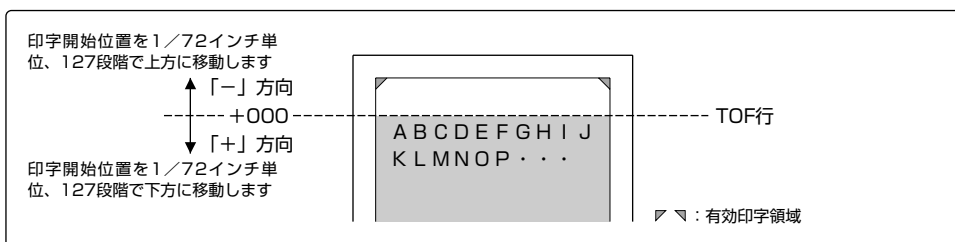
それぞれのページフォーマットで設定されているTOF行の上端を基準として、印字開始位置を上下方向にずらす量を255段階で指定します。

印字開始位置を下方にずらす場合はプラス (+) 方向、上方にずらす場合はマイナス (-) 方向になります。

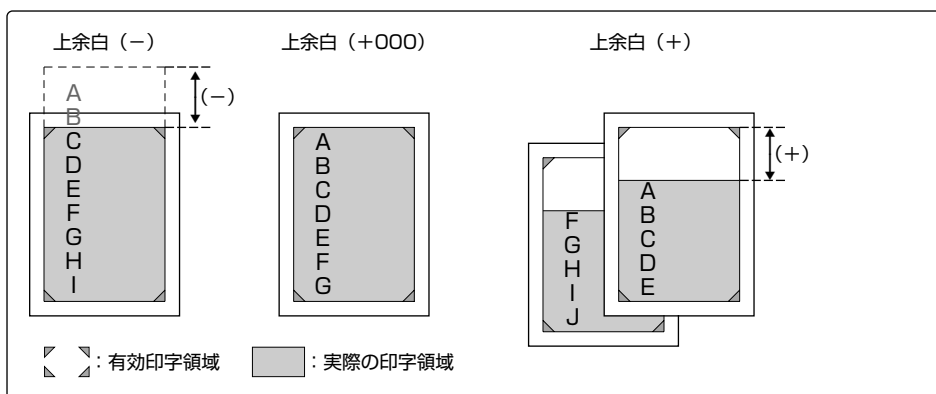
【単位】 1/72インチ (約0.35mm)

【範囲】 -127~+000~+127 (iRシリーズ: -127~0~+127)

上余白の指定量は、用紙位置 (中央/左端印字モード) の設定には影響しません。



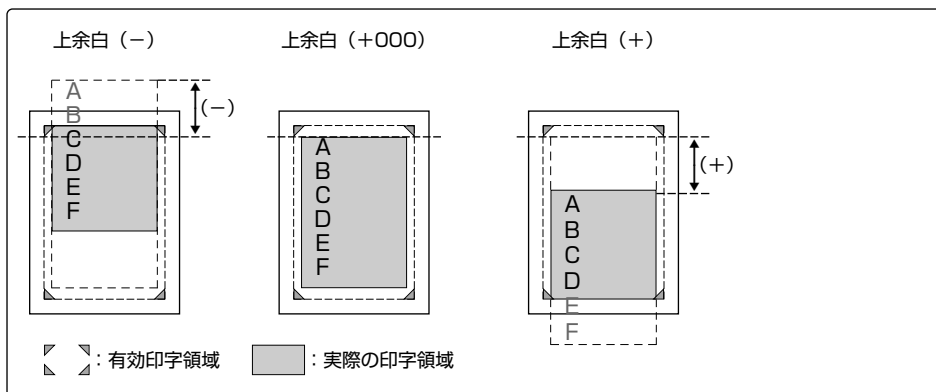
■カット紙のページフォーマット (Fmode 1, 2, 7, 8) での印字動作



上余白を増やした場合、有効印字領域の下端を越えた印字データは、次ページのTOF行から印字されます。

上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を越えた部分の印字データは印字されません。

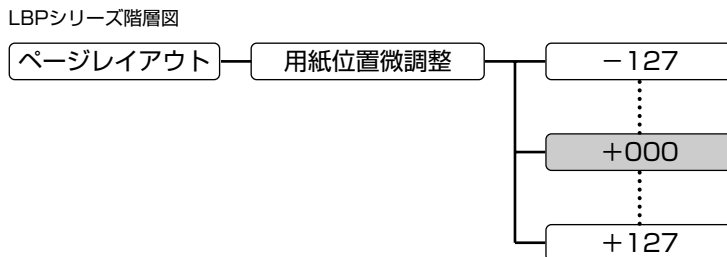
■連続用紙のページフォーマット (Fmode 3, 4, 6) での印字動作



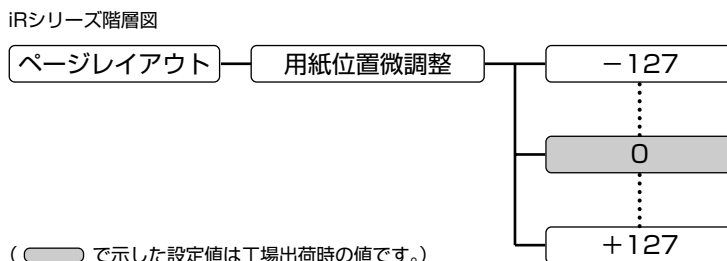
上余白を増やした場合、印字データが有効印字領域の下端を越えると、ボトム位置からページ長（初期状態のTOF行からボトム位置までの範囲）までのデータは印字されません。


上余白を減らした場合、有効印字領域の上端を越えた部分の印字データは印字されません。

(4) 用紙位置を左右に微調整する (用紙位置微調整)



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)



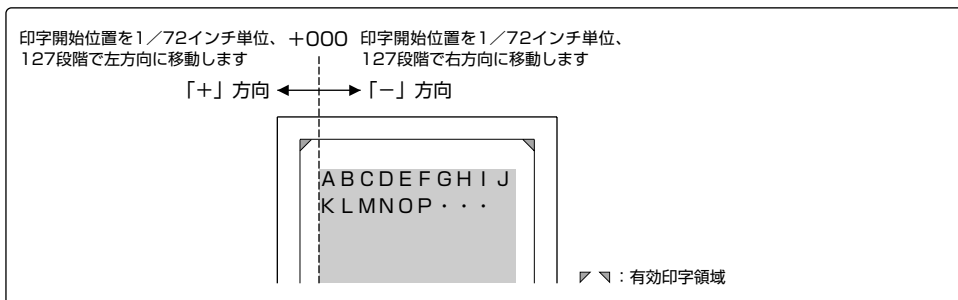
( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

用紙の左端を基準として、印字位置を左右方向にずらす量を255段階で指定します。
 印字開始位置を左にずらす場合はプラス (+) 方向、右にずらす場合はマイナス (-) 方向になります。

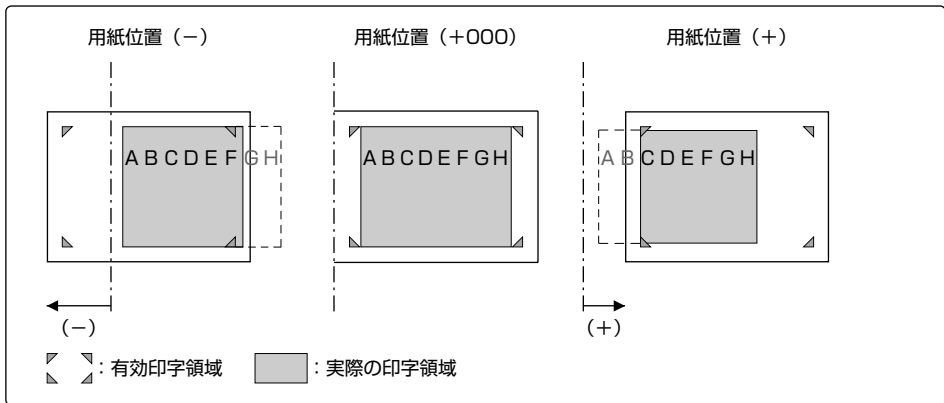
【単 位】 1/72インチ (約0.35mm)

【範 囲】 -127~+000~+127 (iRシリーズ: -127~0~+127)

用紙位置を微調整したときの印字位置は、用紙位置 (中央/左端印字モード) の設定および印字領域 (標準/ワイド領域モード) の設定によって次のようになります。

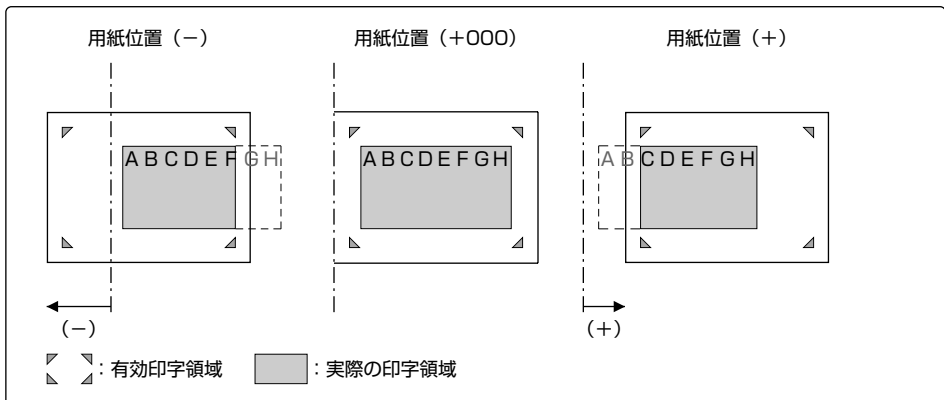


左端印字モード（印字幅が136桁より大きい場合）

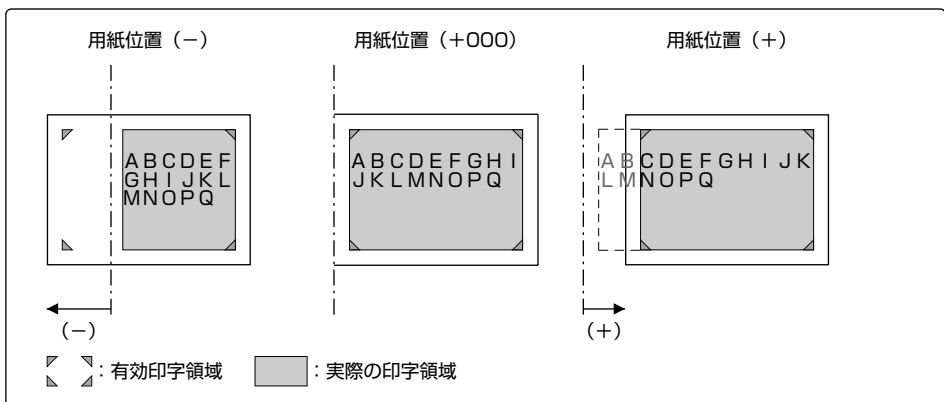


■連続用紙のページフォーマット（Fmode 3, 4, 6）での印字動作

標準領域モード

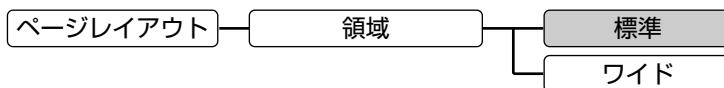


ワイド領域モード



(5) 印字領域を設定する（領域）

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

連続用紙のページフォーマット（Fmode 3, 4, 6）を使用するとき、ページフォーマットに従ったレイアウトで印字するか、有効印字領域ほぼいっばいに印字するかを設定します。

■標準（標準領域モード）

ページフォーマットにしたがった印字領域で印字を行います。したがって、PC-PR201／80Aと同じレイアウトで印字できます。

■ワイド（ワイド領域モード）


印字データの縮小率のみページフォーマットにしたがって、印字領域をセットされている用紙の有効印字領域とほぼ同じ範囲まで広げます。PC-PR201／80Aの印字結果のレイアウトと異なりますが、ページフォーマットの印字領域の制限がなくなるため、用紙の紙面を有効に使って印字することができます。



現在のページフォーマットに関係なく設定を行えますが、実際に設定が有効になるのは、連続用紙のページフォーマット（Fmode 3, 4, 6）が指定された場合に限られます。

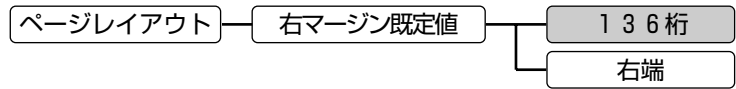



「2.3 ワイド領域に印刷する」《  P.2-26》

「2.5 印字領域と印字動作」《  P.2-36》

(6) 右マージンの位置を設定する（右マージン既定値）

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

初期状態の右マージンの位置を指定します。

■136桁


右マージン位置を136桁目（パイカ）に設定します。

■右端

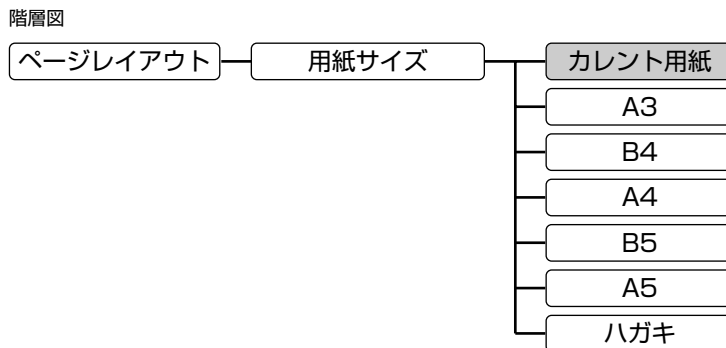
右マージン位置を現在の用紙サイズの有効印字領域の右端に設定します。

この設定は、実寸で印字するページフォーマット（Fmode 1, 2）が指定され、かつ用紙位置が左端印字モード（「用紙位置」で「左」を設定）の場合のみ有効です。



「2.2 ページフォーマット」《  P.2-5》

(7) 用紙サイズを設定する（用紙サイズ）



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

印字する用紙のサイズを設定します。

■カレント用紙

LBPシリーズでは現在セットされている用紙サイズが設定されます。

給紙元に指定されているカセットの用紙サイズが設定されます。

ただし、給紙選択メニューの給紙元が「トレイ」に設定されている場合は、トレイ用紙サイズで設定されている用紙となります。給紙選択メニューで「自動」を選び、セットアップメニューの給紙グループ（共通メニュー）の「トレイ優先」を「する」に設定したときも同様です。

iRシリーズでは、「デフォルト用紙サイズ」で設定した用紙サイズが設定されます。


■A3、B4、A4、B5、A5、ハガキ

それぞれの定形サイズの用紙を設定します。

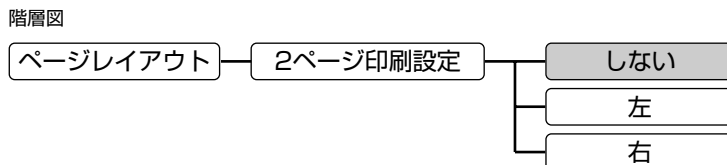



設定した用紙サイズが、現在指定されている給紙元にセットされている用紙サイズと合わない場合は、正しいサイズの用紙をセットするようにメッセージが表示されます。



「2.2 ページフォーマット」《  P.2-5》

(8) 2ページ分のデータを1ページに印刷する (2ページ印刷設定)



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

A4サイズまたはB5サイズで作成された印字データを、A3サイズまたはB4サイズの用紙に見開きで2ページ分ずつ並べて印字するかどうかを設定します。

■しない

2ページ印刷を行いません。

■左 (左開き印刷)

2ページ分の印字データを左開きでとじられるようにページの向きを調節して見開きで印字します。ポートレイトの場合は、左側が1ページ目、右側が2ページ目になり、ランドスケープの場合は、上側が1ページ目、下側が2ページ目になります。

■右 (右開き印刷)

2ページ分の印字データを右開きでとじられるようにページの向きを調節して見開きで印字します。ポートレイトの場合は、右側が1ページ目、左側が2ページ目になり、ランドスケープの場合は、下側が1ページ目、上側が2ページ目になります。



アプリケーションソフトウェアを利用している場合、ソフトウェア側でページごとに用紙サイズを指示していることがあります。このときは、2ページ印刷できないことがあります。



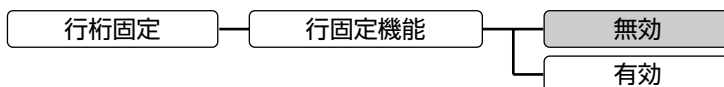
「2.6.5 2ページ印刷機能」《  P.2-60 》


3.2.2 行桁固定グループ

行桁固定グループでは、ページ内に印字する行数または桁数を決めるだけで、改行ピッチや文字間隔を自動的に設定することができます。

(1) 改行ピッチを自動的に設定する（行固定機能）

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

TOF行からページのボトム位置までの領域に印字する行数が決まっている場合、行固定機能を使用すると、その行数を指定するだけで改行ピッチを自動的に計算して設定することができます。ここでは、行固定機能を使用するかどうかを設定します。

■無効

行固定機能を使用せず、制御命令などで設定されている現在の改行ピッチで印字を行います。


■有効

行固定機能を使用し、設定した行数で印字できるように改行ピッチを自動的に設定して印字を行います。したがって、制御命令などで設定されている改行ピッチの設定は無効になります。



行固定機能を使用しているときに、操作パネルや制御命令によって印字領域に関する設定内容が変更された場合は、新しい印字領域で改行ピッチが設定し直されます。



「2.6.4 行桁固定機能」  P.2-55

(2) 文字ピッチを自動的に設定する（桁固定機能）



左右マージンの幅に印字する桁数が決まっている場合、桁固定機能を使用すると、その桁数を指定するだけで文字ピッチを自動的に計算して設定することができます。ここでは、桁固定機能を使用するかどうかを設定します。

■無効

桁固定機能を使用せず、制御命令などで設定されている現在の文字ピッチで印字を行います。

■有効

桁固定機能を使用し、設定した桁数で印字できるように文字ピッチを自動的に設定して印字を行います。したがって、制御命令などで設定されている文字ピッチの設定は無効になります。

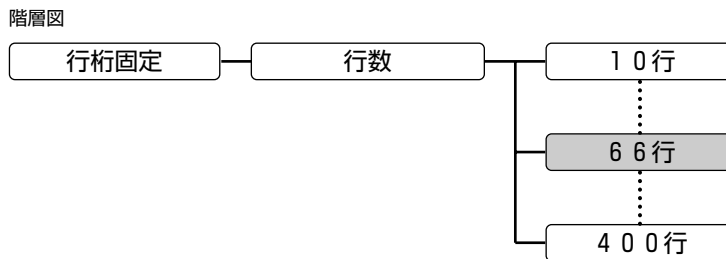


桁固定機能を使用しているときに、操作パネルや制御命令によって印字領域に関する設定内容が変更された場合は、新しい印字領域で文字ピッチ（および漢字ピッチ）が設定しなおされます。



「2.6.4 行桁固定機能」《[P.2-55](#)》

(3) 1ページの行数を設定する（行数）



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

1ページに印字する行数を設定します。


行固定機能を使用する場合、現在の印字領域にここで設定した行数を印字できるように、改行ピッチが計算されます。

【範囲】 10～400行



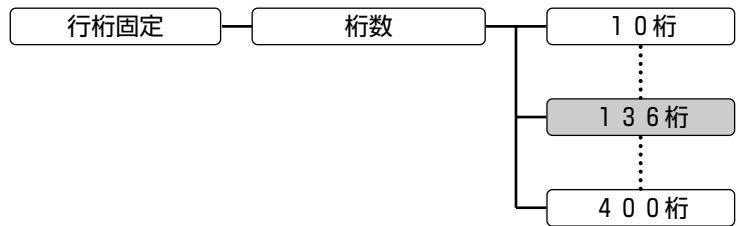
設定した行数は、行固定機能が有効の場合のみ使用されます。




「2.6.4 行桁固定機能」《  P.2-55 》

(4) 1行の文字数を設定する（桁数）

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

1行に印字する文字数を1バイトコード文字（ANK文字）の桁数で設定します。
桁固定機能を使用する場合、現在の印字領域にここで設定した桁数を印字できるように、文字ピッチが計算されます。


【範囲】 10～400桁




設定した桁数は、桁固定機能が有効の場合のみ使用されます。

1行の文字数はANK文字が基準であり、1行に漢字を何文字印字するかは漢字ピッチ（1バイトコード文字の文字ピッチに対する比率）で設定します。

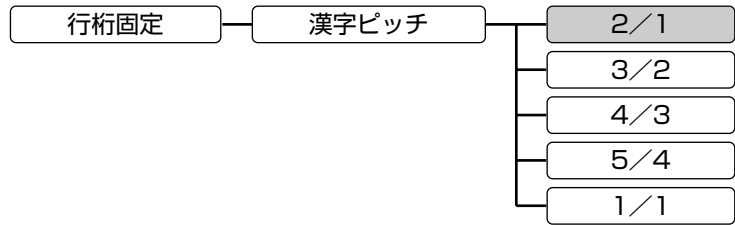



「2.6.4 行桁固定機能」《  P.2-55》

「(5) 漢字の文字ピッチを設定する」《  P.3-24》

(5) 漢字の文字ピッチを設定する（漢字ピッチ）

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

2バイトコード文字（漢字）の文字ピッチを1バイトコード文字（ANK文字）の文字ピッチの何倍にするかを設定します。


桁固定機能を使用する場合、現在の印字領域にここで設定した文字ピッチの比率で2バイトコード文字が印字されます。

【範 囲】 2/1, 3/2, 4/3, 5/4, 1/1（倍）



設定した文字ピッチの比率は、桁固定機能が有効の場合のみ使用されます。

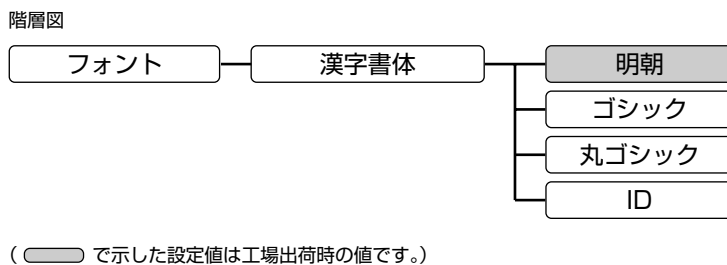


「2.6.4 桁固定機能」《  P.2-55》

3.2.3 フォントグループ

フォントグループでは、漢字の書体やサイズ、1バイトコード表などフォントに関する設定を行うことができます。

(1) 漢字の書体を設定する（漢字書体）



2バイトコード文字（漢字）の書体を設定します。

■明朝（明朝体）

明朝体で印字します。

■ゴシック（ゴシック体）

ゴシック体で印字します。

■丸ゴシック（丸ゴシック体）

丸ゴシック体で印字します。

■ID（フォントID）

フォントIDで設定したオプションの書体で印字します。



「(2) オプションの漢字書体を設定する」 《  P.3-26 》

(2) オプションの漢字書体を設定する（フォントID）

LBPシリーズ階層図



（ で示した設定値は工場出荷時の値です。）

iRシリーズ階層図



（ で示した設定値は工場出荷時の値です。）

漢字書体で「ID」を設定した場合、印字するオプションの漢字書体の番号を設定します。

【範 囲】 001～999（iRシリーズ：1～999）



この設定項目は、フォントグループの「漢字書体」が「ID」に設定されている場合のみ設定することができます。

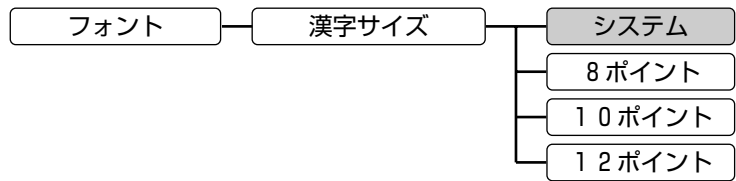
また、N201エミュレーションモードでは使用できない書体を指定した場合は、明朝体になります。




「(1) 漢字の書体を設定する」《 P.3-25》

(3) 漢字サイズを設定する（漢字サイズ）

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

2バイトコード文字（漢字）の文字サイズを設定します。

■システム

現在のページフォーマットに従った漢字サイズによって印字を行います。

■8ポイント

8ポイントで印字します。


■10ポイント

10ポイントで印字します。

■12ポイント

12ポイントで印字します。



「2.2 ページフォーマット」《  P.2-5》

(4) OCR文字を設定する (LBPシリーズ：OCR文字、iRシリーズ：OCRフォント)

LBPシリーズ階層図

(で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図

(で示した設定値は工場出荷時の値です。)

印字方式がパイカモードのとき、1バイトコード文字（ANK文字）をOCRフォント（N201エミュレーションモードの拡張フォント）を使用して印字するかどうかを設定します。

■使用せず

OCR文字を使用しません。従って、英数字、カタカナはパイカフォントで印字されません。

■OCR-B

英数字（コード20h～7Fh）はOCR-Bフォント、カタカナ（コードA0h～FFh）はパイカフォントで印字します。

■OCR-A

英数字（コード20h～7Fh）はOCR-Aフォント、カタカナ（コードA0h～FFh）はパイカフォントで印字します。

■OCR-B／OCR-カナ

英数字（コード20h～7Fh）はOCR-Bフォント、カタカナ（コードA0h～FFh）はOCR-カナフォントで印字します。

■OCR-A／OCR-カナ

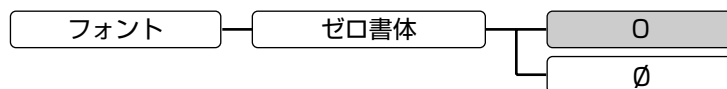
英数字（コード20h～7Fh）はOCR-Aフォント、カタカナ（コードA0h～FFh）はOCR-カナフォントで印字します。




OCRフォントの使用は10ポイント（実寸サイズ）の文字で印字を行うページフォーマット（Fmode 1, 2, 3, 6）で有効になります。縮小サイズの8ポイントで印字するページフォーマット（Fmode 4, 7, 8）では、設定に関わらずパイカフォントで印字されます。なお、制御命令「ANK文字サイズを選択[ESC] ? `」で実寸サイズが設定されている場合は、ページフォーマットの種類に関わらずOCRフォントを使用できます。

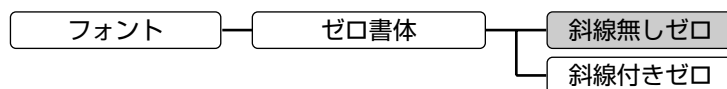
(5) ゼロの書体を設定する（ゼロ書体）


LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

1バイトコード文字（ANK文字）のゼロの書体を設定します。

■ 「0」（iRシリーズ：斜線無しゼロ）

斜線なしのゼロを使用します。

■ 「Ø」（iRシリーズ：斜線付きゼロ）

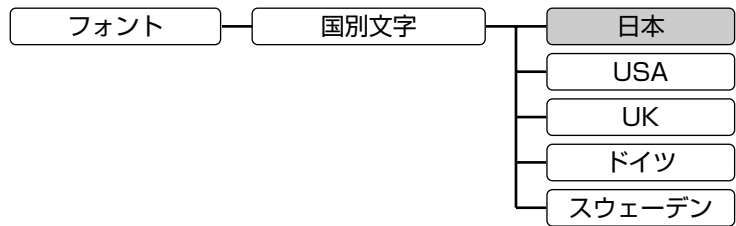
斜線ありのゼロを使用します。



2バイトコード文字（漢字）のゼロの書体には影響しません。

(6) 国別文字を設定する（国別文字）

階層図



(で示した設定値は工場出荷時の値です。)

1バイトコード表の国別文字対応の部分に割り当てる文字セットを選びます。

- 日本
- USA（アメリカ）
- UK（イギリス）
- スウェーデン
- ドイツ

指定の国の文字セットが使用されます。

(7) JISコードの種類を切り替える（漢字グラフィックセット）



JISコードで使用する漢字グラフィックセットを設定します。

■JIS78（旧JIS）

旧JISの漢字グラフィックセットを使用します。

■JIS90（新JIS）

新JISの漢字グラフィックセットを使用します。

新JISコードは、旧JISコードに特殊記号、罫線、漢字などを追加・変更したものです。




グラフィックセットとは、コンピュータから送られてくるコードに対して、どの文字を割り当てて取り決めたもので、それを表にしたものがコード表です。漢字コードは、1978年版の旧JIS（JIS78）と、1990年版の新JIS（JIS90）に準拠しています。新JISでは、新しい特殊記号39文字と罫線32文字が追加されているほか、約300種類の漢字のフォントが変更されています。



N201エミュレーションモードでは、JISでパターンを定めていない部分のコードにPC-PR201/80Aの制御命令で登録した文字などを割り当てています。

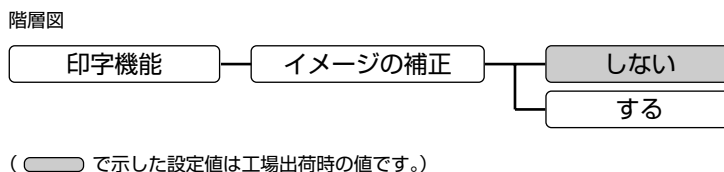


「付録5. コード表」《 P.app.25》

3.2.4 印字機能グループ

印字機能グループでは、イメージデータの補正や登録文字、ページオーバーレイなどに関する設定を行うことができます。

(1) イメージデータの補正を設定する（イメージの補正）



イメージデータを印字するとき、PC-PR201／80AとLBPシリーズ／iRシリーズとの解像度の違いから、イメージデータを拡大します。このとき、イメージの拡大にともなってイメージを補正するかどうかを設定します。

■しない

イメージデータを単純に拡大し、イメージの補正は行いません。

■する

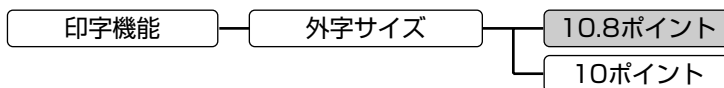
イメージデータを拡大するとき、イメージがきれいに見えるように補正処理を行います。



縦方向と横方向の倍率の異なるページフォーマット（Fmode 6）では、印字したイメージが横長または縦長に見えることがあります。

(2) 登録文字のサイズを設定する（外字サイズ）

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

PC-PR201/80Aの制御命令によって登録する文字は、PC-PR201/80AとLBPシリーズ/iRシリーズとの解像度の違いから文字パターンを拡大して印字します。このときの文字の展開方法によって文字のサイズが変化します。ここでは、登録文字の文字サイズを設定します。

■10.8ポイント

登録文字をドット列イメージと同じ展開方法で拡大し、印字します。この方法で登録した文字の大きさは、10.8ポイントになります。

■10ポイント

登録文字を文字パターンと同じ10ポイントの大きさに単純に拡大して登録します。



PC-PR201/80Aの制御命令で16×16ドット構成や24×24ドット構成の2バイトコード文字（漢字）を登録する場合、本設定の展開方法に従って文字パターンが拡大され、8ポイント（24ドット構成）、10ポイント（32ドット構成）、12ポイント（40ドット構成）の本エミュレーションモードが持つすべてのサイズに対応した文字フォントが登録されます。1バイトコード文字（ANK文字）も同様の方法で拡大され、登録が行われま



本設定によって登録文字のサイズを設定しても、実際に文字サイズが変わるのは以下の場合に限られます。

- Fmode 1, 2, 3, 6のページフォーマットが選ばれ、フォントグループの「漢字サイズ」が「システム」に設定されている場合
- フォントグループの「漢字サイズ」が「10ポイント」に設定されている場合

なお、文字の大きさが変わらない場合でも、登録文字の展開方法は設定どおりに行われています。



「1バイトコード文字の登録（プロポーションアルモード時）**[ESC]** 1」 《☞ P.4-25》

「1バイトコード文字の登録（HDパイカ／エリート／コンデンスモード時）**[ESC]** 1」

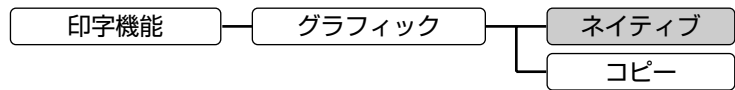
《☞ P.4-26》


「文字の登録（16×16ドット構成）**[ESC]** *」 《☞ P.4-23》

「文字の登録（24×24ドット構成）**[ESC]** +」 《☞ P.4-24》

(3) グラフィックのドット列ピッチを設定する（グラフィック）

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

グラフィックを印字するときの基本となるドット列ピッチ（ドットとドットの間隔）を設定します。

■ネイティブ（ネイティブモード）

グラフィックの横方向の標準のドット列ピッチを1/160インチ（160dpi）に設定します。

■コピー（コピーモード）

ホストコンピュータの画面コピーを正しい比率で印字できる1/80インチのドット列ピッチで8ビット・ドット列イメージを印字します。コピーモードでは、同じドットが縦方向に2ドット連続して印字されます。



コピーモード時に、PC-PR201/80Aで次の改行ピッチが設定されている場合は、改行ピッチが自動的に変換されます。

- 4/120インチ改行のとき→4/160インチ改行
- 8/120インチ改行のとき→8/160インチ改行
- 16/120インチ改行のとき→16/160インチ改行

本エミュレーションモードでは、ネイティブモード、コピーモードともに8ビット・ドット列のドットの合間を埋めて印字します。

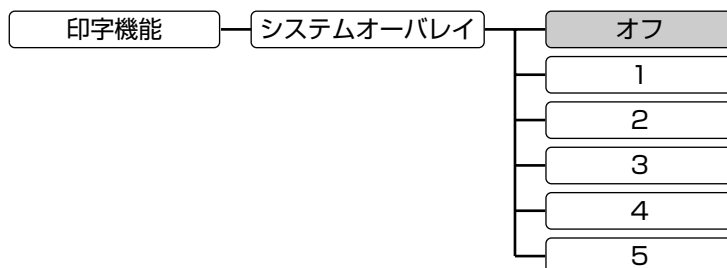
なお、文字データは、この設定に関わらず、つねにネイティブモードで印字されます。



16ビット以上のドット列イメージを印字する場合は、必ずネイティブモードに設定して印字してください。

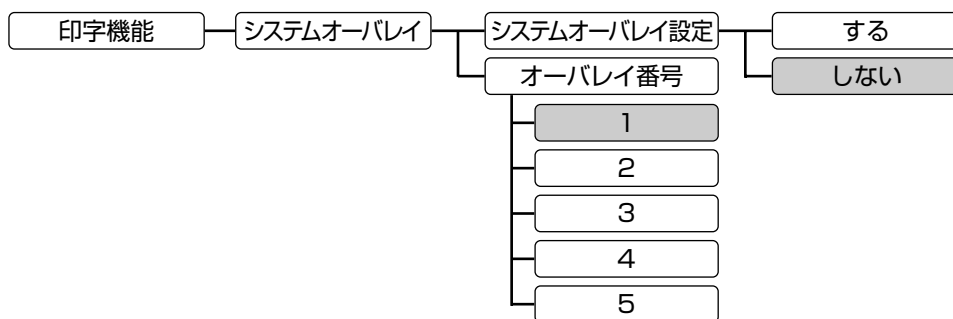
(4) システムページのオーバーレイ印字を設定する（システムオーバーレイ）

LBPシリーズ階層図



（ で示した設定値は工場出荷時の値です。）

iRシリーズ階層図



（ で示した設定値は工場出荷時の値です。）

オーバーレイ印字は、印刷する各ページに共通なデザイン書式などをフォームとしてあらかじめオーバーレイ領域に登録し、印字データと重ねて印刷する機能です。オーバーレイ印字を行うと、各ページに共通の印字データをページごとに送る必要がなくなり効率よく印刷できます。

LBPシリーズ/iRシリーズには、5種類の定型フォームがあらかじめ登録されています。ここでは、LBPシリーズ/iRシリーズが保有しているオーバーレイフォームを使用して、オーバーレイ印字を行うかどうかを設定します。

■オフ（iRシリーズ：「システムオーバーレイ設定」を「しない」に設定）

システム保有のフォームによるページオーバーレイ印字を行いません。

■1~5 (iRシリーズ: 「システムオーバーレイ設定」を「する」に設定し、「オーバーレイ番号」でページを指定)

指定したシステム保有ページの定型フォームをオーバーレイ印字します。

設定値	フォームの内容
1 (ページ1)	1/3インチ間隔で横罫線を引いた6lpi用のフォーム。(船種は破線で、1インチごとに実線)
2 (ページ2)	1/3インチ幅の網かけを1行おきに入れ、ページ全体を枠取りした6lpi用のフォーム。
3 (ページ3)	ページ全体を枠取りした6lpi用のフォーム。
4 (ページ4)	ページ1のフォームを1/4インチ間隔に変形させた8lpi用のフォーム。
5 (ページ5)	ページ2のフォームを1/4インチ間隔に変形させた8lpi用のフォーム。

*線の太さは、300dpiで1ドット、600dpiで2ドットになります。

システム保有ページのオーバーレイ印字の開始時または終了時には、パラメータリセット処理が行われます。

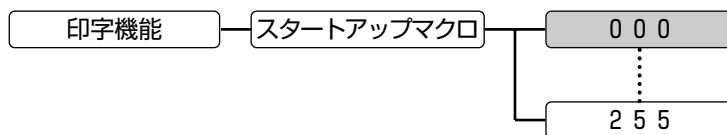



「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《☞ P.2-41》

「付録4. 内蔵フォームの印字サンプル」《☞ P.app.20》

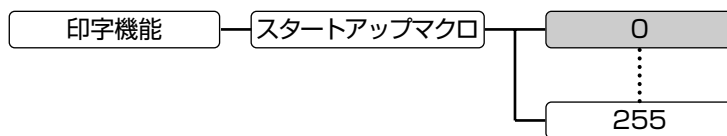
(5) マクロ機能を設定する（スタートアップマクロ）


LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

マクロ機能は、あらかじめ作成したN201エミュレーションモードの印字制御のプログラムをLBPシリーズ/iRシリーズのメモリに登録し、制御命令などで実行できるようにする機能です。LBPシリーズ/iRシリーズには、000～255番までの最大256種類のマクロに登録することができます。マクロの登録は、制御命令によって行います。登録されているマクロの中で、特定のマクロを選び、LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理が行われた後で自動的に実行させることができます。このマクロをスタートアップマクロといいます。ここでは、PC-PR201/80Aの制御命令「LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理[ESC] c 1」を受信した場合に、自動的に実行するマクロの番号を指定します。

【範 囲】 000～255（マクロ番号）



LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理の制御命令を受信すると、制御命令で設定されたすべての印字パラメータおよび操作パネルで設定されたメニュー項目の一部が初期化された後、スタートアップマクロに指定したマクロが自動的に実行されます。



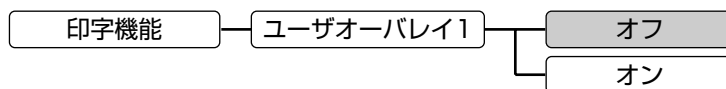
スタートアップマクロは、制御命令によってリセット処理が行われた場合のみ実行されます。また、その他グループのメニューの「登録レベル」が「一時」に設定されているとき、リセット処理の種類によっては登録したマクロ本体が消去され、スタートアップマクロ機能が動作しない場合があります。




「2.6.3 マクロ機能」《 P.2-51 》

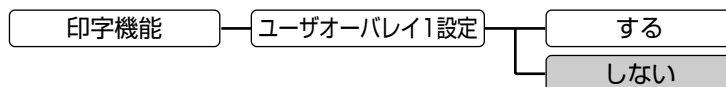
(6) ユーザページ1のオーバーレイ印字を設定する (LBPシリーズ：ユーザオーバーレイ1、iRシリーズ：ユーザオーバーレイ1設定)


LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

オーバーレイ印字は、印刷する各ページに共通な罫線書式などをフォームとしてあらかじめLBPシリーズ/iRシリーズに登録しておき、印字データと重ねて印刷する機能です。オーバーレイ印字するフォームは、LBPシリーズ/iRシリーズに内蔵されているシステム保有ページのものを利用できるほか、ユーザ独自に作成したフォームを2ページ分登録して使用できます。ここでは、ユーザ独自のフォームの登録されたユーザページ1のオーバーレイ印字の開始と終了を設定します。

■オフ (iRシリーズ：しない)

ユーザページ1のオーバーレイ印字を終了します。

■オン (iRシリーズ：する)

ユーザページ1のフォームのオーバーレイ印字を開始します。



ユーザページへのフォームの登録は、フォーム作成ツール「FormCraft」などのアプリケーションソフトウェアをご利用ください。

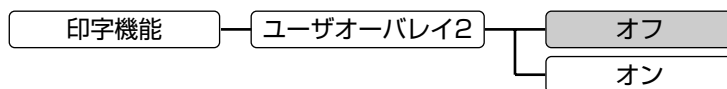
なお、ユーザページ1にフォームが登録されていない場合は、オーバーレイ印字をオンにしてもオーバーレイは行われません。




「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《  P.2-41 》

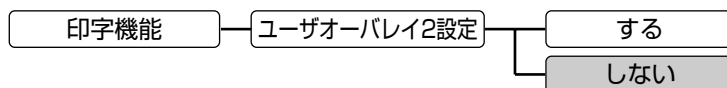
(7) ユーザページ2のオーバーレイ印字を設定する (LBPシリーズ：ユーザオーバーレイ2、iRシリーズ：ユーザオーバーレイ2設定)


LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

ユーザ独自のフォームが登録されたユーザページ2のオーバーレイ印字の開始と終了を設定します。

■オフ (iRシリーズ：しない)

ユーザページ2のオーバーレイ印字を終了します。

■オン (iRシリーズ：する)


ユーザページ2のフォームのオーバーレイ印字を開始します。



ユーザページ1とユーザページ2のフォームを重ねてオーバーレイ印字することもできます。それぞれのユーザページにフォームデータを登録し、両方のオーバーレイ印字の設定をオンにしてください。

なお、ユーザページにフォームが登録されていない場合は、オーバーレイ印字をオンにしてもオーバーレイは行われません。



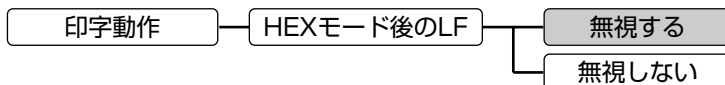
「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《  P.2-41 》

3.2.5 印字動作グループ

印字動作グループでは、**[CR]**などの制御命令の扱いや改行動作などに関する設定を行うことができます。

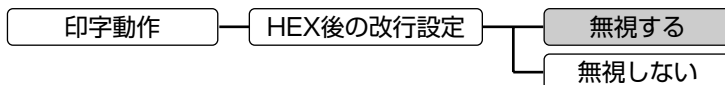
(1) ヘキサ形式モード後の改行無視の設定（LBPシリーズ：HEXモード後のLF、iRシリーズ：HEX後の改行設定）

LBPシリーズ階層図



(で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



(で示した設定値は工場出荷時の値です。)

ヘキサ形式モードからバイナリ形式モードに戻ったとき、ホストコンピュータから送られてくる**[LF]**コード（改行）を無視するかどうかを設定します。

■無視する

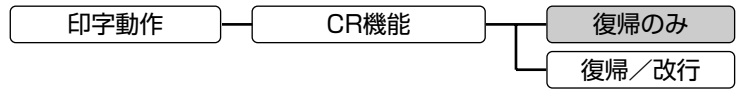
[LF]コード（改行）を1回無視します。


■無視しない

[LF]コード（改行）によって改行動作を行います。

(2) 復帰コード受信時の動作を設定する (CR機能)

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

ホストコンピュータから **[CR]** コードを受信した場合の印字位置の移動のしかたを設定します。

■復帰のみ

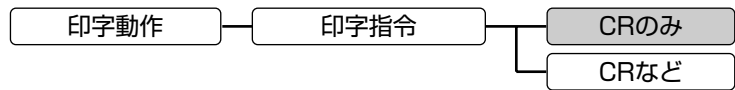
[CR] コードを受信すると、復帰動作のみを行い、印字位置をその行の先頭に移動します。


■復帰/改行

[CR] コードを受信すると、復帰/改行動作を行い、印字位置を次の行の先頭に移動します。

(3) 印字開始命令を設定する (印字指令)

階層図










( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

印字開始命令として扱う制御コードを設定します。

■CRのみ (のみ)

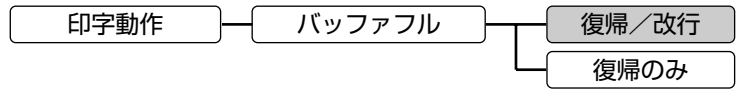
CRコードだけを印字開始命令とします。


■CRなど (など)

、、、、、 a、 bコードを印字開始命令とします。

(4) バッファフル時の動作を設定する (バッファフル)

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

印字データが右マージン位置を越えた場合の印字位置の移動のしかたを設定します。

■復帰/改行

印字データが右マージン位置を越えた場合は、次の行の先頭へ印字位置を移動します。

■復帰のみ

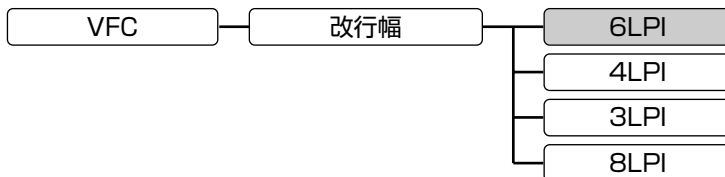
印字データが右マージン位置を越えた場合は、その行の先頭へ印字位置を移動します。

3.2.6 VFCグループ

VFCグループでは、連続用紙やカット紙のページ長に関する設定を行うことができます。

(1) 改行ピッチの設定（改行幅）

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

改行ピッチを設定します。改行ピッチは、1インチ幅に印字する行数（lpi）で設定します。



本メニューのほかに、PC-PR201/80Aの次の制御命令によって、改行ピッチを設定できます。

- 改行ピッチの設定（1/6インチ） **[ESC]** A
- 改行ピッチの設定（1/8インチ） **[ESC]** B
- 改行ピッチの設定（n/120インチ） **[ESC]** T

(2) カット紙のページ長の設定方法を選択する（単票用紙長機能）



カット紙のページフォーマット（Fmode 1, 2, 7, 8）のページ長の設定を操作パネルで設定したメニューの設定値または制御命令（VFU）によって設定されたページ長にするか、用紙サイズに従ったページフォーマットの設定にするかを選択します。

■無効

操作パネルまたは制御命令のページ長の設定を無効にします。

ページ長は、用紙サイズにしたがった各ページフォーマットの設定になります（用紙サイズにしたがって改ページ動作が行われます）。

■有効

操作パネルのメニューまたは制御命令で設定したページ長を有効にします（設定されたページ長にしたがって改ページ動作が行われます）。



この設定はカット紙に印字するページフォーマット（Fmode 1, 2, 7, 8）でのみ有効です。

ページ長の設定は、VFCグループの「用紙長設定」および「ミシン目スキップ」または制御命令によって設定してください。



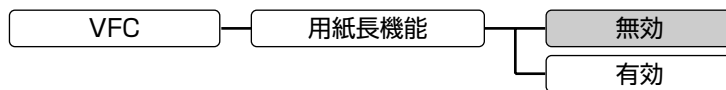
「(3) 初期状態で有効になるページ長を設定する」《☞ P.3-48》

「(4) ページ長を設定する」《☞ P.3-49》

「(5) ミシン目スキップ行数を設定する」《☞ P.3-51》

(3) 初期状態で有効になるページ長を設定する（用紙長機能）

階層図



（ で示した設定値は工場出荷時の値です。）

電源をオンにしたときや、リセット処理（パネル操作によるハードリセット／ソフトリセット処理（iRシリーズは、プリンタ初期化／プリント中止）、制御命令によるソフトリセット処理、パラメータリセット処理）を行ったときに操作パネルのメニューで設定したページ長を有効にするかどうかどうかを選択します。

■無効

リセット処理後、操作パネルまたは制御命令のページ長の設定を無効にします。したがって、ページ長は、用紙サイズ、印字領域のモードにしたがった各ページフォーマットの設定になります。

■有効

リセット処理後、操作パネルのメニューまたは制御命令で設定したページ長を有効にします。



この設定は、カット紙および連続用紙のページフォーマットどちらの場合も有効です。カット紙の場合は、VFUグループの「単票用紙長機能」が「有効」に設定されていないと、本設定に関わらず、そのページ長での改ページ動作を行いません。

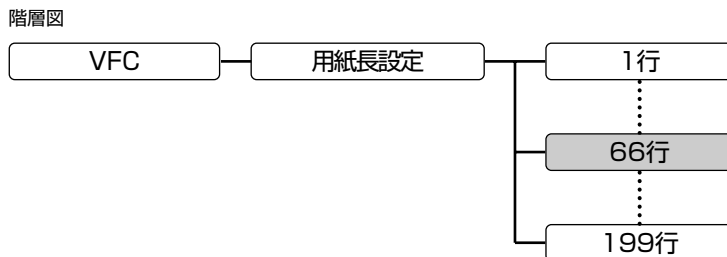


「(2) カット紙のページ長の設定方法を選択する」《☞ P.3-47》

「(4) ページ長を設定する」《☞ P.3-49》

「(5) ミシン目スキップ行数を設定する」《☞ P.3-51》

(4) ページ長を設定する（用紙長設定）



(で示した設定値は工場出荷時の値です。)

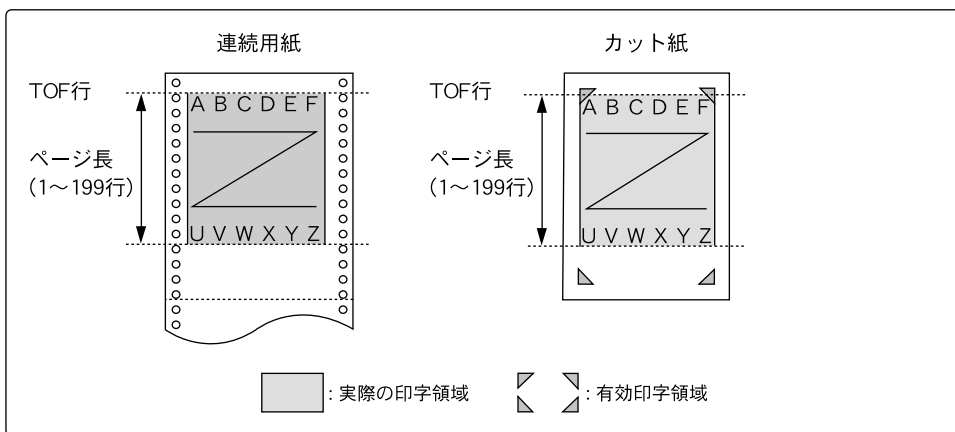
カット紙および連続用紙のページ長を設定します。

【単位】 1/6インチ（約4.2mm）

【範囲】 1～199行



行間は1インチあたり6行（6lpi）になります。



この設定は、VFCグループの「用紙長機能」が「有効」に設定されている場合のみメニューに追加表示されます。

それぞれのページフォーマットで決められている印字可能行数を越えるページ長を設定した場合は、この設定に関わらず、印字可能行数で改ページが行われます。なお、VFCグループの「ミシン目スキップ」でミシン目スキップ行数が設定されている場合は、実際の改ページ位置が変わります。

本メニューのほかにも、次の制御命令によってページ長を設定できます。

●VFUのセット開始[GS]



「2.2 ページフォーマット」《☞ P.2-5》

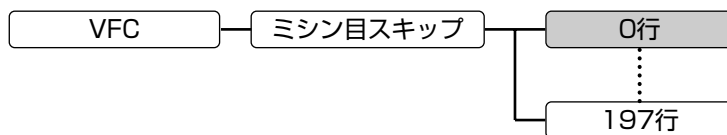
「(2) カット紙のページ長の設定方法を選択する」《☞ P.3-47》


「(3) 初期状態で有効になるページ長を設定する」《☞ P.3-48》

「(5) ミシン目スキップ行数を設定する」《☞ P.3-51》

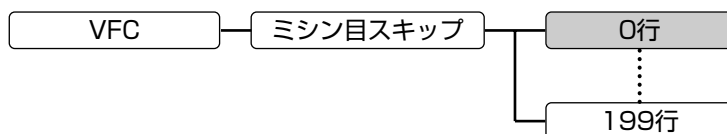
(5) ミシン目スキップ行数を設定する（ミシン目スキップ）


LBPシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

iRシリーズ階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

ページ長の最終行から何行分かを印字しない行として設定します。

ミシン目スキップ行数の設定は、本来は連続用紙のミシン目に印字がかからないようにするための機能ですが、本エミュレーションモードではカット紙および連続用紙に関係なく、すべてのページフォーマットで有効です。

【単 位】 1/6インチ (約4.2mm)

【範 囲】 0～197行 (iRシリーズ：0～199行) (6lpi)




行間は1インチあたり6行 (6lpi) になります。


本メニューのほかにも、次の制御命令によってミシン目スキップ行数を設定できます。


●VFUのセット開始 **[GS]**



「2.2 ページフォーマット」《  P.2-5》

「(2) カット紙のページ長の設定方法を選択する」《  P.3-47》

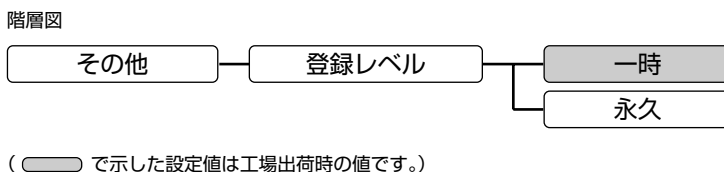
「(3) 初期状態で有効になるページ長を設定する」《  P.3-48》

「(4) ページ長を設定する」《  P.3-49》

3.2.7 その他のグループ

その他のグループでは、登録文字の登録方法、ヘキサ形式モードに関する設定を行うことができます。

(1) 登録データの削除方法を設定する（登録レベル）



制御命令で登録した文字（1バイトコードおよび2バイトコードの登録文字）、オーバーレイ印字のためのユーザページまたは複写用紙機能のフォームデータ、マクロデータなどの登録の方法を設定します。

■一時

登録文字、フォームデータ、マクロデータをジョブの間だけ登録しておきます。ジョブが終了すると登録内容は削除されます。

■永久

登録文字、フォームデータ、マクロデータをLBPシリーズ/iRシリーズの電源をオフにするまで（または同等のリセット処理が行われるまで）残しておきます。



印字を開始してから、すべてのページの印字が終了するまでの一連の処理をジョブといいます。

(2) ヘキサ形式モードを設定する (HEX/LIPS機能)

階層図



(で示した設定値は工場出荷時の値です。)

LBPシリーズ/iRシリーズにヘキサ形式で印字データを送るかどうかを選択します。
この設定により、次の機能を無効にするか、有効にするかが決まります。

- LIPSモードによるヘキサ形式モード
- 本エミュレーションモードのヘキサ形式モード
- LIPSの制御命令によるユーザページのフォーム登録

■無効

ヘキサ形式モードを無効にします。
したがって、上記の機能は使用できません。

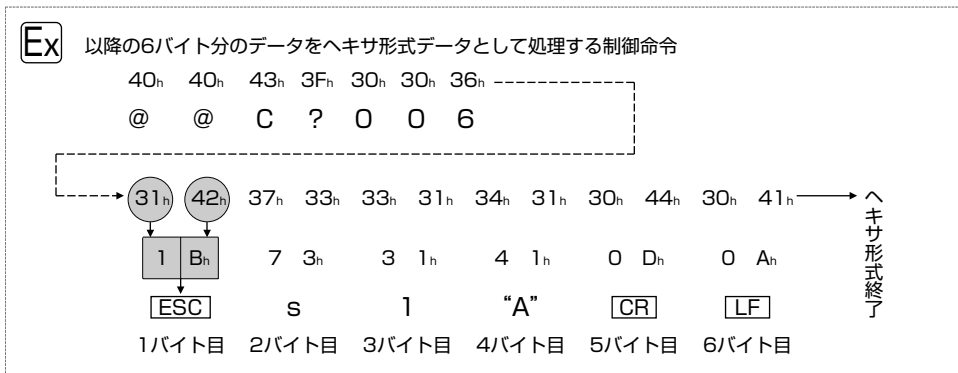
■有効

ヘキサ形式モードを有効にします。
したがって、LIPSモードによるヘキサ形式モード、本エミュレーションモードのヘキサ形式モード、およびLIPSの制御命令によるユーザページのフォーム登録を行うことができます。



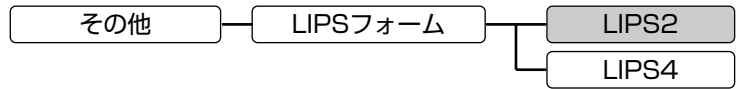
ヘキサ形式とは、1バイト (8ビット) のデータを示すコード (16進数のバイナリ形式データ) を、上位と下位に分けて2バイト分の文字形式 (アスキーコードの0~9およびA~F) で表します。


たとえば、PC-PR201/80Aの制御命令を使用して、スーパースクリプト文字で「A」と印字して復帰改行する場合、次のようなヘキサ形式のデータとなります。



(3) フォーム登録時のLIPSモードを設定する (LIPSフォーム)

階層図



( で示した設定値は工場出荷時の値です。)

LIPSモードの制御命令によってユーザページにフォームデータを登録する場合、使用しているコントロールコマンドをLIPS II+またはLIPS IVから選択します。

■LIPS2

LIPS II+の制御命令によるフォームデータとして処理します。

■LIPS4

LIPS IVの制御命令によるフォームデータとして処理します。



LIPSは上位互換であり、LIPS II+とLIPS IVでは基本的な機能は共通しますが、LIPS II+でしか使用できない機能（たとえばシリアルプリンタでの動作をエミュレートしたイメージ描画など）を使用するときにLIPSのモードを切り替えてください。

この設定項目は、その他のグループの「HEX/LIPS機能」が「有効」に設定されている場合のみ設定することができます。

3

N201モードの設定

4

制御命令

独自のプログラミングにより、N201エミュレーションモードを制御するための制御コードについて説明します。必要に応じてお読みください。

文字やイメージをLBPシリーズ/iRシリーズで印字する際は、制御命令によって印字の細かい指示が行われています。この制御命令は文字コードの組み合わせで構成され、ホストコンピュータから送られたときに、文字として印字されずに印字動作や書式などの制御が行われます。

アプリケーションソフトウェアを使用して印字するときは、アプリケーションソフトウェア側で自動的にこの制御命令を送り出しています。独自に作成したプログラムで印字する場合は、本章の説明をご覧ください。

4.1 制御命令の種類

N201エミュレーションモードの制御命令は、次の3種類に分けられます。

基本制御命令	改行や改ページなど、1バイトでプリンタの基本的な制御を行うことのできる制御命令です。 例：[FF] 改ページ
拡張制御命令	文字の修飾や書式指定など、[ESC]や[FS]に続くコードと併せて、2バイト以上でプリンタの制御を行うことのできる制御命令です。 例：[ESC] \$ カタカナモードの指定 [FS] A 漢字の文字ピッチの指定 (3/20インチ)
LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令	PC-PR201/80Aにはなく、本エミュレーションで追加されたLBPシリーズ/iRシリーズ独自の機能を使用するための制御命令です。 例：[ESC] ? h ユーザページの登録開始

それぞれの制御命令は、文字（JIS）による書式と、16進数による書式を掲載します。パラメータをとまなう制御命令では、パラメータの指定のしかたを次の2種類のカッコで区別しています。

- < > : 数値を指定するパラメータ
- [] : 番号などを選択するパラメータ

なお、パラメータのデータ量は、パラメータ名の（ ）内に示されているバイト数で指定してください。

Ex

左マージンの設定 [ESC] L <左マージン幅 (3バイト)>
任意の数値を3バイトで指定します

ラインの設定 [ESC] _ [ライン種別 (1バイト)]
いくつかの候補から番号を1バイトで指定します

PC-PR201／80Aの制御命令およびLBPシリーズ／iRシリーズ専用命令のパラメータは、文字（JIS）形式で指定します。



上端の余白を設定する制御命令 **[ESC] ? H 2** [文字ピッチ（1バイト）] のパラメータは、次のように指定します。
「2」の10cpiを設定する場合

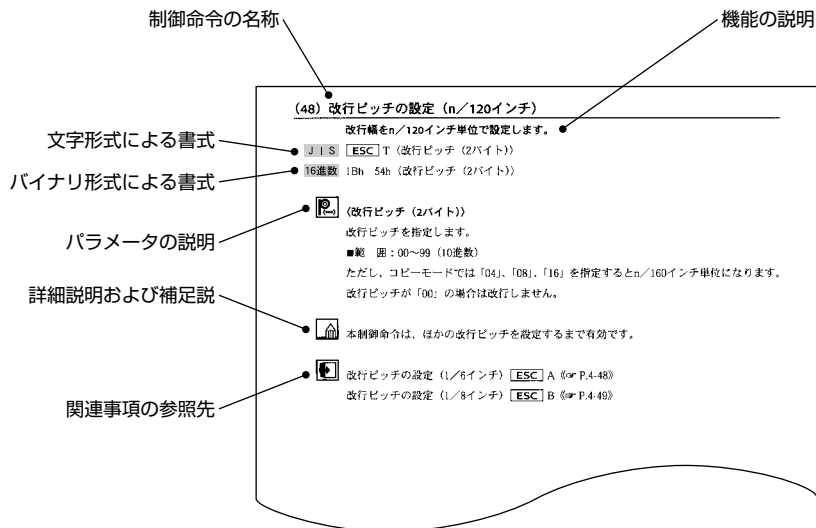
[ESC] ? H 2
 1Bh 3Fh 48h 32h
 制御コード 「2」の16進数コード



16進数の表記について

16進数は数字の後ろに「h」をつけて「48h」のように表します。
たとえば、48hは10進数で表すと72です。

制御命令の説明の読み方



(1) PC-PR201／80Aの基本制御命令

機 能	書 式		参照
水平タブ位置への移動	[HT]	09h	4-9
改行	[LF]	0Ah	4-9
垂直タブ位置への移動	[VT]	0Bh	4-10
改ページ	[FF]	0Ch	4-10
復帰	[CR]	0Dh	4-11
文字の横幅拡大指定	[SO]	0Eh	4-11
文字の横幅拡大解除	[SI]	0Fh	4-12
データ削除	[CAN]	18h	4-12
拡張制御命令 ([ESC]シーケンス)	[ESC]	1Bh	4-16
拡張制御命令 ([FS]シーケンス)	[FS]	1Ch	4-54
VFUのセット開始	[GS]	1Dh	4-12
VFUのセット終了	[RS]	1Eh	4-14
VFUの実行	[US]	1Fh	4-15

(2) PC-PR201／80Aの拡張制御命令

機 能	書 式		参照
VFUの簡易セット	[ESC] v	1Bh 76h	4-16
パイカモードの指定	[ESC] N	1Bh 4Eh	4-17
パイカモードの指定	[ESC] H	1Bh 48h	4-17
コンデンスモードの指定	[ESC] Q	1Bh 51h	4-18
エリートモードの指定	[ESC] E	1Bh 45h	4-18
プロポーショナルモードの指定	[ESC] P	1Bh 50h	4-18
漢字横印字モードの指定	[ESC] K	1Bh 4Bh	4-19
漢字縦印字モードの指定	[ESC] t	1Bh 74h	4-19
カタカナモードの指定	[ESC] \$	1Bh 24h	4-20
ひらがなモードの指定	[ESC] &	1Bh 26h	4-20
スーパースクリプト文字の指定	[ESC] s 1	1Bh 73h 31h	4-21

機 能	書 式	参照
サブスクリプト文字の指定機能	<code>[ESC] s 2</code>	1Bh 73h 32h 4-22
スクリプト文字の解除	<code>[ESC] s 0</code>	1Bh 73h 30h 4-22
文字の登録 (16×16ドット構成)	<code>[ESC] *</code>	1Bh 2Ah 4-23
文字の登録 (24×24ドット構成)	<code>[ESC] +</code>	1Bh 2Bh 4-24
1バイトコード文字の登録 (プロポーショナルモード時)	<code>[ESC] ℓ</code>	1Bh 6Ch 4-25
1バイトコード文字の登録 (HDパイカ/エリート/コンデンスモード時)	<code>[ESC] ℓ</code>	1Bh 6Ch 4-26
登録文字の印字	<code>[ESC] ℓ +</code>	1Bh 6Ch 2Bh 4-28
プリンタ内文字の印字	<code>[ESC] ℓ -</code>	1Bh 6Ch 2Dh 4-28
登録文字の全消去	<code>[ESC] ℓ 0</code>	1Bh 6Ch 30h 4-28
文字の拡大指定	<code>[ESC] e</code>	1Bh 65h 4-29
文字の繰り返し印字	<code>[ESC] R</code>	1Bh 52h 4-30
強調印字の指定	<code>[ESC] !</code>	1Bh 21h 4-31
強調印字の解除	<code>[ESC] "</code>	1Bh 22h 4-31
ライン印字モードの指定	<code>[ESC] X</code>	1Bh 58h 4-32
ライン印字モードの解除	<code>[ESC] Y</code>	1Bh 59h 4-32
ラインの設定	<code>[ESC] _</code>	1Bh 2Bh 4-33
ドットスペース量の指定	<code>[ESC] 00h~08h</code>	1Bh 00h~08h 4-33
8ビット・ドット列イメージの印字	<code>[ESC] S</code>	1Bh 53h 4-34
16ビット・ドット列イメージの印字	<code>[ESC] I</code>	1Bh 49h 4-35
24ビット・ドット列イメージの印字	<code>[ESC] J</code>	1Bh 4Ah 4-36
8ビット・ドット列イメージの繰り返し印字	<code>[ESC] V</code>	1Bh 56h 4-37
16ビット・ドット列イメージの繰り返し印字	<code>[ESC] W</code>	1Bh 57h 4-38
24ビット・ドット列イメージの繰り返し印字	<code>[ESC] U</code>	1Bh 55h 4-39
ドットアドレッシング	<code>[ESC] F</code>	1Bh 46h 4-40
コピーモードの指定	<code>[ESC] D</code>	1Bh 44h 4-41
ネイティブモードの指定	<code>[ESC] M</code>	1Bh 4Dh 4-42
水平タブの設定	<code>[ESC] (</code>	1Bh 28h 4-43
水平タブの部分解除	<code>[ESC])</code>	1Bh 29h 4-44
水平タブの全解除	<code>[ESC] 2</code>	1Bh 32h 4-44
左マージンの設定	<code>[ESC] L</code>	1Bh 4Ch 4-45
右マージンの設定	<code>[ESC] /</code>	1Bh 2Fh 4-46
半角漢字の縦印字モードの指定	<code>[ESC] h 1</code>	1Bh 68h 31h 4-47
半角漢字の縦印字モードの解除	<code>[ESC] h 0</code>	1Bh 68h 30h 4-47
半角漢字の2文字構成縦印字モードの指定	<code>[ESC] q</code>	1Bh 71h 4-48
改行ピッチの設定 (1/6インチ)	<code>[ESC] A</code>	1Bh 41h 4-48

機能	書式		参照
改行ピッチの設定 (1/8インチ)	[ESC] B	1Bh 42h	4-49
改行ピッチの設定 (n/120インチ)	[ESC] T	1Bh 54h	4-49
順方向改行モードの設定	[ESC] f	1Bh 66h	4-50
逆方向改行モードの設定	[ESC] r	1Bh 72h	4-50
カラー印字の指定	[ESC] C	1Bh 43h	4-52
改ページ	[ESC] a	1Bh 61h	4-52
改ページ	[ESC] b	1Bh 62h	4-53
LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理	[ESC] c 1	1Bh 63h 31h	4-53
漢字の文字ピッチの指定 (3/20インチ)	[FS] A	1Ch 41h	4-54
漢字の文字ピッチの指定 (1/5インチ)	[FS] B	1Ch 42h	4-54
漢字の文字ピッチの指定 (1/6インチ)	[FS] C	1Ch 43h	4-55
漢字の文字ピッチの指定 (2/15インチ)	[FS] D	1Ch 44h	4-55
漢字の文字ピッチの指定 (1/10インチ)	[FS] F	1Ch 46h	4-55
漢字の文字ピッチの指定 (1/6インチ)	[FS] G	1Ch 47h	4-56
縦縮小文字の2文字縦構成の印字モードの指定	[FS] P	1Ch 50h	4-56
文字修飾の指定	[FS] c , ,	1Ch 63h 2Ch 2Ch	4-57
文字の拡大/縮小指定	[FS] m	1Ch 6Dh	4-58
漢字の文字ピッチの指定	[FS] p	1Ch 70h	4-59
文字ピッチの調整	[FS] w	1Ch 77h	4-60
アンダー/アッパーラインの太さの指定	[FS] O 4 L	1Ch 30h 34h 4Ch	4-61
漢字文字サイズの指定	[FS] O 4 S	1Ch 30h 34h 53h	4-62

(3) LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令

機 能	書 式	参 照
ユーザページの登録開始	[ESC] ? h	1 Bh 3Fh 68h 4-63
ユーザページの登録終了	[ESC] ? e	1 Bh 3Fh 65h 4-64
LIPSの制御命令によるユーザページの登録	[ESC] ? `	1 Bh 3Fh 27h 4-65
LIPSの制御命令によるユーザページの登録終了	[ESC] ? .	1 Bh 3Fh 2Eh 4-67
複写ページの登録	[ESC] ? ? h	1 Bh 3Fh 3Fh 68h 4-68
複写ページの消去	[ESC] ? ? r	1 Bh 3Fh 3Fh 72h 4-69
複写用紙のオーバーレイ印字開始	[ESC] ? ? p	1 Bh 3Fh 3Fh 70h 4-69
複写用紙のオーバーレイ印字終了	[ESC] ? ? z	1 Bh 3Fh 3Fh 7Ah 4-70
漢字の文字ピッチの指定	[ESC] ? H	1 Bh 3Fh 48h 4-71
ANK文字サイズの指定	[ESC] ? `	1 Bh 3Fh 60h 4-72
全文字印字	[ESC] ? ? a	1 Bh 3Fh 3Fh 61h 4-73
マクロの登録	[ESC] ? =	1 Bh 3Fh 3Dh 4-74
マクロの実行	[ESC] ? [1 Bh 3Fh 5Bh 4-75
マクロの削除	[ESC] ?]	1 Bh 3Fh 5Dh 4-75
マクロの追加登録	[ESC] ? &	1 Bh 3Fh 26h 4-76
LIPS-ヘキサ形式モードの開始	@@L ?	40h 40h 40h 3Fh 4-77
LIPSモードへの移行	[ESC] % @	1 Bh 25h 40h 4-78
右マージンの設定	[ESC] ? M	1 Bh 3Fh 4Dh 4-79
ヘキサ形式データの設定	@@C ?	40h 40h 43h 3Fh 4-80

PC-PR201/80Aの次の制御命令は無視されます。

機 能	書 式	
ブザー	[BEL]	07h
セレクト	[DC1]	11h
倍角印字の指定 (7ビットコード時)	[DC2]	12h
デセレクト	[DC3]	13h
倍角印字の解除 (7ビットコード時)	[DC4]	14h
CGグラフィックモードの指定 (7ビットコード時)	[ESC] #	1Bh 23h
SHSパイカモード	[ESC] n 1	1Bh 6Eh 31h
NHSパイカモード	[ESC] n 0	1Bh 6Eh 30h
ドラフト指定	[ESC] d 0	1Bh 64h 30h
ドラフト解除	[ESC] d 1	1Bh 64h 31h
片方向印字指定	[ESC] >	1Bh 3Eh
片方向印字解除	[ESC]]	1Bh 5Dh
ANK/漢字フォントの切り替え	[ESC] O	1Bh 4Fh
無視されるコード	[ESC] k	1Bh 6Bh
	[ESC] m	1Bh 6Dh
文字セットの切り替え	[FS] O 6 F 1	1Ch 30h 36h 46h 2Dh 30h
ホッパの切り替え	[FS] f	1Ch 66h

4.2 基本制御命令

基本制御命令は、次の11種類です。

(1) 水平タブ位置への移動

印字位置を同一行内で最も近い右側の水平タブ位置に移動します。

JIS HT

16進数 09h



現在印字位置より右側に水平タブが設定されていない場合や、次の水平タブ位置が右マージン位置を越えている場合、本制御命令は無視されます。



水平タブの設定 ESC (《 P.4-43》)

(2) 改行

復帰改行します。

JIS LF

16進数 0Ah



現在印字位置は、次行の左マージン位置になります。

下方への移動量は、現在の改行ピッチにしたがいます。

連続用紙のページフォーマット (Fmode 3, 4, 6) で逆改行モードのときは、逆方向へ改行します。

メニューの印字動作グループの「印字指令」を「CRなど」に設定した場合は、復帰動作を行ったあとで改行します。「CRのみ」に設定した場合は、行バッファにデータがあると本制御命令は無効になります。



改行ピッチの設定 (1/6インチ) ESC A 《 P.4-48》

改行ピッチの設定 (1/8インチ) ESC B 《 P.4-49》

改行ピッチの設定 (n/120インチ) ESC T 《 P.4-49》

逆方向改行モードの設定 ESC r 《 P.4-50》

(3) 垂直タブ位置への移動

印字位置を次の垂直タブのある行の左マージン位置に移動します。

JIS VT

16進数 0Bh



現在印字位置から下マージン位置またはTOF行（次ページの先頭行）までの間に垂直タブ位置が設定されていない場合は、本制御命令は無視されます。

メニューの印字動作グループの「印字指令」を「CRなど」に設定した場合は、復帰動作をともしません。「CRのみ」に設定した場合は、行バッファにデータがあると本制御命令は無効になります。



垂直タブ位置→VFUのセット開始[GS] 《☞ P.4-12》

(4) 改ページ

印字位置を次ページの先頭行の左マージン位置に移動します。

JIS FF

16進数 0Ch



カット紙のページフォーマット（Fmode 1, 2, 7, 8）では、用紙を排出してページフォーマットにしたがった先頭行に移動します。ただし、上余白が設定されている場合はその位置になります。

連続用紙のページフォーマット（Fmode 3, 4, 6）では、現在のページ長にしたがった次のTOF行に移動します。移動した位置が物理的に用紙の下端を越えた場合は用紙を排出します。

メニューの印字動作グループの「印字指令」を「CRのみ」に設定した場合は、行バッファにデータがあると本制御命令は無効になります。



左マージンの設定[ESC] L 《☞ P.4-45》

(5) 復 帰

行バッファのデータを印字し、印字位置を同一行の左マージン位置に移動します。

JIS `CR`

16進数 `0Dh`



メニューの印字動作グループの「CR機能」を「復帰／改行」に設定した場合は、印字位置を次行の左マージン位置に移動します。「復帰のみ」に設定した場合は、同一行の左マージン位置に移動します。

なお、左マージン位置の初期値は、第1文字目の印字位置です。



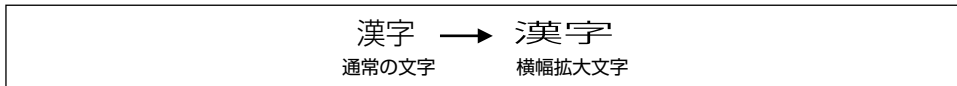
左マージンの設定 `ESC` L 《☞ P.4-45》

(6) 文字の横幅拡大指定

文字およびイメージの横幅を2倍に拡大して印字します。

JIS `S0`

16進数 `0Eh`



本制御命令による文字の横幅拡大の指定は、次のいずれかが行われるまで有効です。

- 文字の横幅拡大解除 `SI` を受け取る
- 文字の拡大指定 `ESC` e で横幅拡大以外のサイズが指定される



文字の横幅拡大解除 `SI` 《☞ P.4-12》

文字の拡大指定 `ESC` e 《☞ P.4-29》

(7) 文字の横幅拡大解除

文字およびイメージの横幅を2倍に拡大する指定を解除します。

J I S `[SI]`

16進数 0Fh



文字の横幅拡大指定 `[SI]` 《☞ P.4-12》

(8) データ削除

行バッファに残っている1行分のデータを消去し、印字位置を左マージン位置に移動します。

J I S `[CAN]`

16進数 18h

(9) VFUのセット開始

VFU (Vertical Format Unit) の設定を開始します。

J I S `[GS]`

16進数 1Dh



VFUは、TOF行から次のTOF行までの6lpi (1/6インチ改行) の行データで構成され、6つのチャンネルを使ってページ長、垂直タブ、ボトム領域を設定して、用紙送りを制御する機能です。VFUを使うと、表などの作成を容易に行えます。

本命令によりVFUの設定が開始され、設定終了 `[RS]` コードまでのデータがVFUデータとなります。

ページ長、垂直タブ、ボトム領域の設定のしかたは次のとおりです。

■ページ長

ページ長 (1ページの用紙の長さで用紙長ともいいます) は、1ページのTOF行 (先頭行) から次のページのTOF行の前行までになります。したがって、VFUデータの第1行目および最終行+1行をTOF行に指定します。TOF行の指定はチャンネル1のビットを『1』に、チャンネル2~6を『0』に設定します。

■垂直タブ位置

印字位置を垂直方向に移動するタブを設定します。垂直タブは2行目から最終行までの間に任意の行に対して設定できます。垂直タブは、設定を行う行のチャンネル2～6を使って5つまで設定でき、実行時にチャンネルを指定して目的にあったタブ位置に移動できます。

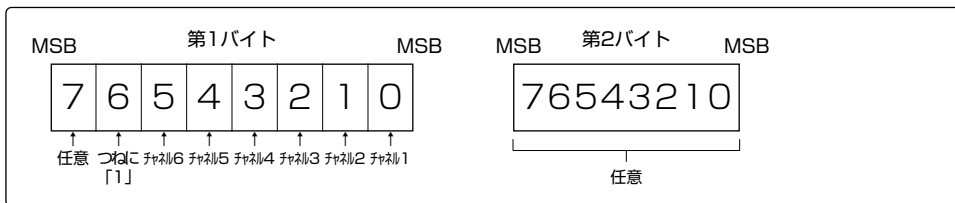
■ボトム領域

ページの最後の印字しない領域を設定します。

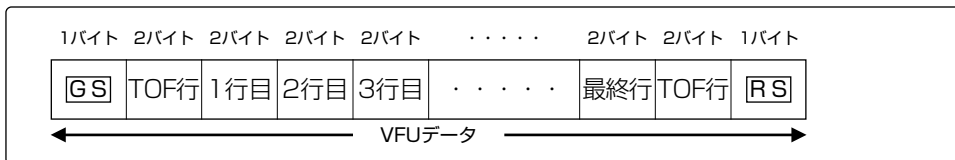
この設定は最終行の位置で決まり、それ以降次のTOF行までの範囲がボトム領域になります。最終行は1ページに1行しか存在しません。ボトム位置はチャンネル1と2のビットをともに『1』にして設定します。

VFUデータは2バイトで1行分になります。

2バイトのうち、第1バイトのビット1～6がそれぞれチャンネル1～6に対応します。ビット7は、つねに『1』で、ビット8（最上位ビット）および第2バイトの各ビットは『0/1』のどちらでもかまいません。



VFU書式は、次のようになります。



ページ長が13行（6LPI）、垂直タブがチャンネル2、3に2箇所、チャンネル5に1箇所、ボトム領域が4行という設定を行うデータは次のようになります。

	チャネル6	チャネル5	チャネル4	チャネル3	チャネル2	チャネル1
↑	0	0	0	0	0	1
	0	0	0	0	0	0
チャンネル2 垂直タブ	0	0	0	0	1	0
	0	0	0	0	0	0
チャンネル3 垂直タブ	0	0	0	1	0	0
チャンネル2 垂直タブ	0	0	0	0	1	0
チャンネル3,5 垂直タブ	0	1	0	1	0	0
	0	0	0	0	0	0
最終行	0	0	0	0	1	1
ボトム領域	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	0	0	0
↓	0	0	0	0	0	1

4

制御命令



VFUのセット終了[RS] 《☞ P.4-14》

VFUの実行[US] 《☞ P.4-15》

(10) VFUのセット終了

VFUの設定を終了します。

JIS [RS]

16進数 1Eh



以降のデータは印字データとなります。



VFUのセット開始[GS] 《☞ P.4-12》

VFUの実行[US] 《☞ P.4-15》

(11) VFUの実行

VFUを実行します。

JIS **US** <チャンネル番号/改行数 (1バイト)>

16進数 1Fh <チャンネル番号/改行数 (1バイト)>



以降のデータは印字データとなります。



<チャンネル番号/改行数 (1バイト)>

VFUで設定したチャンネルの垂直位置への移動、または任意に指定した改行数の改行を行います。以下のように値で設定内容が変わります。

<チャンネル番号 (1バイト)> の場合

垂直方向に移動するチャンネル番号を指定します。

■範 囲：01h~06h

現在行以降で指定したチャンネルに『1』が設定されている行まで印字位置を垂直移動しません。

指定されたチャンネルに『1』が設定されていない場合は、TOF行まで用紙を送ります（改ページ）。また、ボトム領域は自動的に送られます。

<改行数 (1バイト)> の場合

改行数を、実際に改行する行数+16を16進数で指定します。

■範 囲：10h~58h (0~72行)

たとえば、5行改行する場合は15h (5+16)、10行では1Ah (10+16) を指定します。



メニューの印字動作グループの「印字指令」を「CRなど」に設定した場合は、復帰動作を行ったあとでVFUが実行されます。「CRのみ」に設定した場合は、行バッファにデータがあると本制御命令は無効になります。



VFUのセット開始**GS** 《☞ P.4-12》

4.3 拡張制御命令

PC-PR201/80Aの拡張制御命令には、**[ESC]**シーケンスと**[FS]**シーケンスがあります。

4.3.1 **[ESC]**シーケンス

[ESC]シーケンスの拡張制御命令は、次の54種類です。

(1) VFUの簡易セット

ページ長、ボトム領域（ミシン目スキップ行数）、垂直タブ位置（VFUのチャンネル2）をパラメータによって設定します。

JIS **[ESC]** v <ページ長（2バイト）>, <ボトム領域（2バイト）>, <垂直タブ位置1（2バイト）>, …, <垂直タブ位置n（2バイト）>.

16進数 1Bh 76h <ページ長（2バイト）> 2Ch <ボトム領域（2バイト）> 2Ch <垂直タブ位置1（2バイト）> 2Ch…2Ch <垂直タブ位置n（2バイト）> 2Eh



<ページ長（2バイト）>

1ページの行数を指定します。

■単 位：6LPI（1インチあたり6行）

■範 囲：00～99（10進数）

「00」を指定すると、VFUが初期化されます。この場合、ボトム位置以降のパラメータを指定しても印字データとなります。

<ボトム領域（2バイト）>

ページ下端で印字しない行数（ミシン目スキップ行数）を指定します。

■単 位：6LPI（1インチあたり6行）

■範 囲：00～99（10進数）

指定を省略すると、ボトム領域は初期化されます。

〈垂直タブ位置1 (2バイト)〉 … 〈垂直タブ位置n (2バイト)〉

垂直タブを2行目から最終行までの任意の行に設定します。

■単 位：6LPI (1インチあたり6行)

■範 囲：02~99 (10進数)

指定を省略すると、垂直タブ位置は初期化されます。



パラメータが正しくない場合、VFUは初期化されます。



VFUのセット開始[GS] (P.4-12)

(2) パイカモードの指定

1バイトコード文字に対してパイカモードを設定します。

J I S [ESC] N

16進数 1Bh 4Eh



パイカモードでは、文字間隔が1インチあたり10文字 (10cpi) 印字されます。本制御命令は、ほかの印字方式 (コンデンス、エリート、プロポーショナル、漢字横印字/縦印字) が設定されるまで有効です。

パイカモードの設定は、本制御命令のほかに[ESC] Hでも可能です。

(3) パイカモードの指定

1バイトコード文字に対してパイカモードを設定します。

J I S [ESC] H

16進数 1Bh 48h



パイカモードでは、文字間隔が1インチあたり10文字 (10cpi) 印字されます。本制御命令は、ほかの印字方式 (コンデンス、エリート、プロポーショナル、漢字横印字/縦印字) が設定されるまで有効です。

パイカモードの設定は、本制御命令のほかに[ESC] Nでも可能です。

(4) コンデンスモードの指定

1バイトコード文字に対してコンデンスモードを設定します。

J I S [ESC] Q

16進数 1Bh 51h



コンデンスモードでは、文字間隔が1インチあたり17文字（17cpi）印字されます。本制御命令は、ほかの印字方式（パイカ、エリート、プロポーショナル、漢字横印字／縦印字）が設定されるまで有効です。

(5) エリートモードの指定

1バイトコード文字に対してエリートモードを設定します。

J I S [ESC] E

16進数 1Bh 45h



エリートモードでは、文字間隔が1インチあたり12文字（12cpi）印字されます。本制御命令は、ほかの印字方式（パイカ、コンデンス、プロポーショナル、漢字横印字／縦印字）が設定されるまで有効です。

(6) プロポーショナルモードの指定

1バイトコード文字に対してプロポーショナルモードを設定します。

J I S [ESC] P

16進数 1Bh 50h



プロポーショナルモードでは、文字が文字パターンの幅に応じた間隔（1／26.7～10.7インチ）で印字されます。本制御命令は、ほかの印字方式（パイカ、コンデンス、エリート、漢字横印字／縦印字）が設定されるまで有効です。

(7) 漢字横印字モードの指定

2バイトコード文字（漢字）を横書きで印字します。

J I S [ESC] K

16進数 1Bh 4Bh

漢字 横書き



2バイト（漢字）コード表に定義されていないコードを受信すると、漢字文字幅分のスペースとして処理します。

本制御命令は、ほかの印字方式（パイカ、コンデンス、エリート、プロポーショナル、漢字縦印字）が設定されるまで有効です。

(8) 漢字縦印字モードの指定

2バイトコード文字（漢字）を縦書きで印字します。

J I S [ESC] t

16進数 1Bh 74h

漢字 縦書き



2バイト（漢字）コード表に定義されていないコードを受信すると、漢字文字幅分のスペースとして処理します。

本制御命令は、ほかの印字方式（パイカ、コンデンス、エリート、プロポーショナル、漢字横印字）が設定されるまで有効です。

(9) カタカナモードの指定

1バイトコード文字に対して、カタカナモードを設定します。

JIS [ESC] \$

16進数 1Bh 24h



本制御命令は、ひらがなモードが設定されるまで有効です。

(10) ひらがなモードの指定

1バイトコード文字に対して、ひらがなモードを設定します。

JIS [ESC] &

16進数 1Bh 26h



本制御命令は、カタカナモードが設定されるまで有効です。

4

制御命令

(11) スーパースクリプト文字の指定

1バイトコード文字に対して、スーパースクリプト（上付き）文字を設定します。

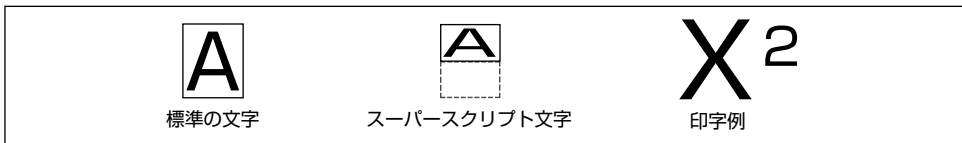
JIS [ESC] s 1

16進数 1Bh 73h 31h



スーパースクリプト文字は、1バイトコード文字の現在の縦方向の倍率を1/2に縮小し、現在の縦倍率の文字の上端に合わせて印字されます。

例えば、標準の文字に対してスーパースクリプト文字は次のように印字されます。



本制御命令は、サブスクリプト文字が設定されるか、またはスクリプト文字が解除されるまで有効です。



スーパースクリプト文字で印字できるのは、パイカ、コンデンス、エリート、プロポーショナル文字（1バイトコード文字）に限ります。



スクリプト文字の解除 [ESC] s 0 《☞ P.4-22》

サブスクリプト文字の指定 [ESC] s 2 《☞ P.4-22》

(12) サブスクリプト文字の指定

1バイトコード文字に対して、サブスクリプト（下付き）文字を設定します。

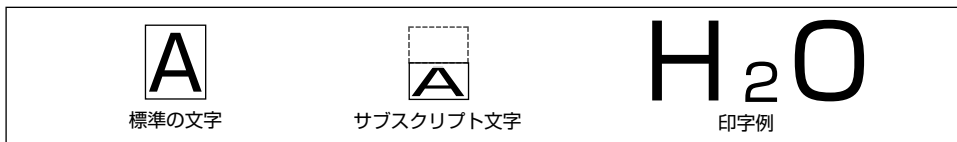
JIS `[ESC] s 2`

16進数 1Bh 73h 32h



サブスクリプト文字は、1バイトコード文字の現在の縦方向の倍率を1/2に縮小し、現在の縦倍率の文字の下端に合わせて印字されます。

例えば、標準の文字に対してサブスクリプト文字は次のように印字されます。



本制御命令は、スーパースクリプト文字が設定されるか、またはスクリプト文字が解除されるまで有効です。



サブスクリプト文字で印字できるのは、パイカ、コンデンス、エリート、プロポーショナル文字（1バイトコード文字）に限ります。



スクリプト文字の解除 `[ESC] s 0` [《☞ P.4-22》](#)
スーパースクリプト文字の指定 `[ESC] s 1` [《☞ P.4-21》](#)

(13) スクリプト文字の解除

1バイトコード文字に設定したスーパースクリプト（上付き）文字またはサブスクリプト（下付き）文字を解除します。

JIS `[ESC] s 0`

16進数 1Bh 73h 30h



スーパースクリプト文字の指定 `[ESC] s 1` [《☞ P.4-21》](#)
サブスクリプト文字の指定 `[ESC] s 2` [《☞ P.4-22》](#)

(14) 文字の登録 (16×16ドット構成)

指定の文字コードに16×16ドット構成の文字を登録します。

JIS **[ESC]** * <登録文字コード (2バイト)> (登録文字パターンデータ (32バイト)) **[EOT]**
16進数 1Bh 2Ah <登録文字コード (2バイト)> (登録文字パターンデータ (32バイト)) 04h



<登録文字コード (2バイト)>

文字パターンを登録する文字コードを指定します。

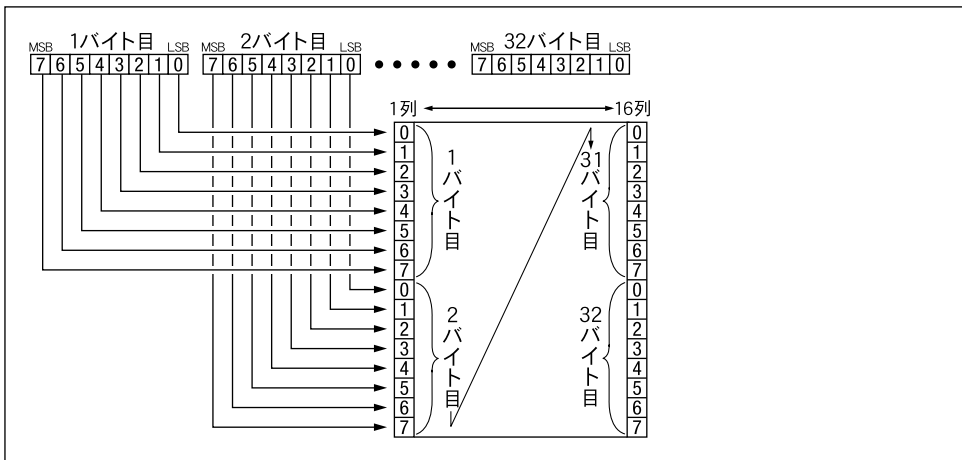
■ 範囲 : 76h 20h~76h 7Fh
77h 20h~77h 7Fh
78h 20h~78h 5Fh

(登録文字パターンデータ (32バイト))

文字パターンを16×2バイトの16進数で指定します。



登録文字パターンデータと印字結果は次のようになります。



登録文字の印字は、漢字モードと同じ方法で行われます。文字が登録されていないコードが送られた場合は、漢字の幅のスペースが印字されます。

なお、本エミュレーションモードでは、登録文字の各ドットは1/160インチのサイズで印字されます。

(15) 文字の登録 (24×24ドット構成)

指定の文字コードに24×24ドット構成の文字を登録します。

JIS [ESC] + <登録文字コード (2バイト)> (登録文字パターンデータ (72バイト)) [EOT]

16進数 1Bh 2Bh <登録文字コード (2バイト)> (登録文字パターンデータ (72バイト)) 04h



<登録文字コード (2バイト)>

文字パターンを登録する文字コードを指定します。

■ 範囲 : 76h 20h~76h 7Fh

77h 20h~77h 7Fh

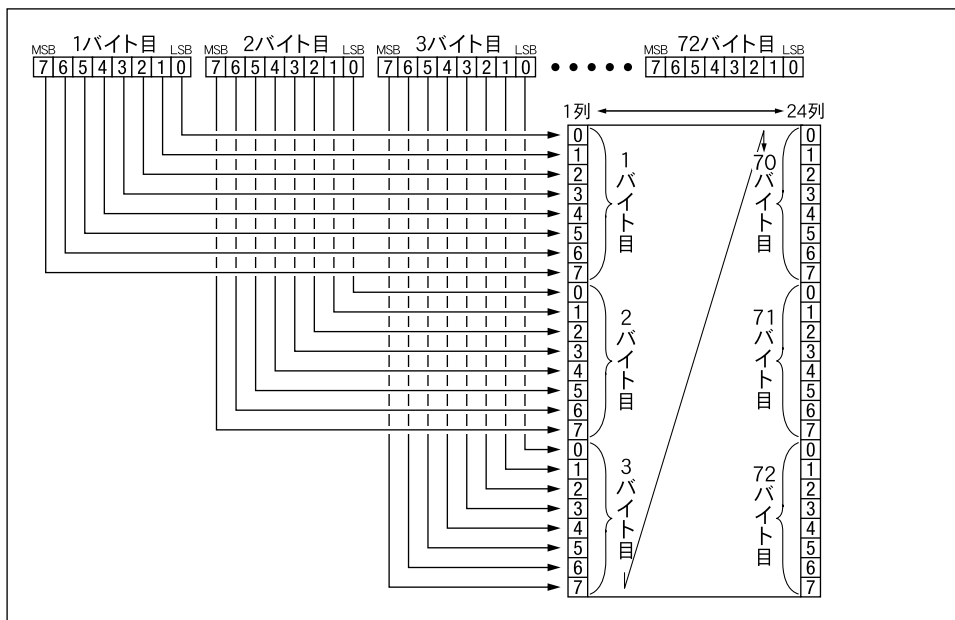
78h 20h~78h 5Fh

(登録文字パターンデータ (72バイト))

文字パターンを24×3バイトの16進数で指定します。



登録文字パターンデータと印字結果は次のようになります。



登録文字の印字は、漢字モードと同じ方法で行われます。文字が登録されていないコードが送られた場合は、漢字の幅のスペースが印字されます。

なお、本エミュレーションモードでは、登録文字の各ドットは1/160インチのサイズで印字されます。

(16) 1バイトコード文字の登録（プロポーショナルモード時）

プロポーショナルモードの1バイトコード文字を登録します。

JIS **[ESC]** ℓ [登録モード (1バイト)] <左側スペース量 (1バイト)> <文字幅 (2バイト)>
<右側スペース量 (1バイト)> <登録コード (1バイト)> (登録パターンデータ)

16進数 1Bh 6Ch [登録モード (1バイト)] <左側スペース量 (1バイト)> <文字幅 (2バイト)>
<右側スペース量 (1バイト)> <登録コード (1バイト)> (登録パターンデータ)



[登録モード (1バイト)]

カタカナまたはひらがなを指定します。

値	設定内容
5	プロポーショナルモード時のカタカナを登録します。
E	プロポーショナルモード時のひらがなを登録します。

<左側スペース量 (1バイト)>

文字の左側に付加するスペース量をドット数で指定します。

■範 囲：0～9 (10進数)

<文字幅 (2バイト)>

登録する文字の幅をドット数で指定します。

■範 囲：1～16 (10進数)

<右側スペース量 (1バイト)>

文字の右側に付加するスペース量をドット数で指定します。

■範 囲：0～9 (10進数)

ただし、<左側スペース量> + <文字幅> + <右側スペース量> ≤ 16

〈登録文字コード (1バイト)〉

文字パターンを登録する文字コードを指定します。

■範 囲：21h~FFh

(登録文字パターンデータ)

文字パターンのデータ量は、〈文字幅〉×3バイトです。

ただし、最大有効データ量は48バイトです。データ量が48バイトを超えた場合、48バイト以降のデータは無視されます。



1バイトコード文字の登録 (HDパイカ/エリート/コンデンスモード時)

[ESC] ℓ 〈 P.4-26〉

(17) 1バイトコード文字の登録 (HDパイカ/エリート/コンデンスモード時)

HDパイカ/エリート/コンデンスモードの1バイトコード文字を登録します。

JIS [ESC] ℓ [登録モード (1バイト)] 〈登録コード (1バイト)〉 (登録パターンデータ)

16進数 1Bh 6Ch [登録モード (1バイト)] 〈登録コード (1バイト)〉 (登録パターンデータ)



[登録モード (1バイト)] 〈登録コード (1バイト)〉 (登録パターンデータ)

カタカナまたはひらがなのモードで、文字を登録するコードの範囲、および文字パターンデータの量は次のとおりです。

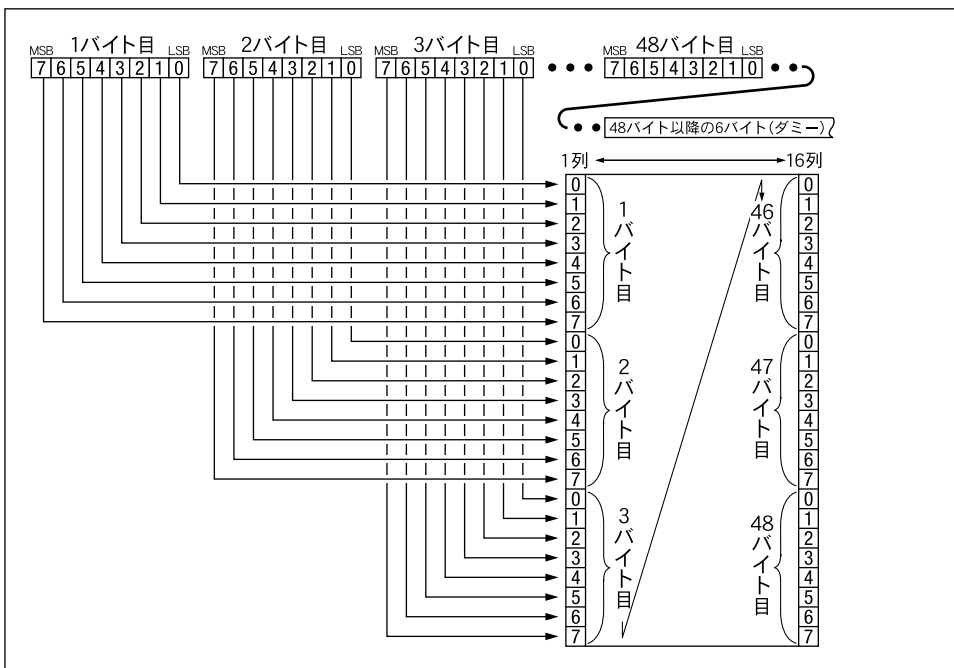
文 字 種	値	内 容	登 録 コード	パターndata量
カタカナ	1	HDパイカ	21h ~ FFh	54バイト
	2	HDパイカ		54バイト
	3	エリート		45バイト
	4	コンデンス		42バイト
ひらがな	A	HDパイカ		54バイト
	B	HDパイカ		54バイト
	C	エリート		45バイト
	D	コンデンス		42バイト

登録する1文字分の文字パターンデータは16進数で指定します。



HDパイカでは、54バイトのパターンデータを読み込みますが、最初の48バイトだけを有効データとして受け取り、残りの6バイトは無視します。

エリート/コンデンス文字の登録では、文字パターンデータはすべて有効です。HDパイカでの登録文字パターンデータと印字結果は次のようになります。



1バイトコード文字の登録（プロポーショナルモード時） **[ESC]** ℓ 《 P.4-25》

(18) 登録文字の印字

登録文字のコードが送られた場合に、登録文字を印字します。

J I S [ESC] ℓ +

16進数 1Bh 6Ch 2Bh



文字が登録されていない場合は、プリンタ内の文字を印字します。



登録文字の印字の解除→プリンタ内文字の印字 [ESC] ℓ - 《☞ P.4-28》

(19) プリンタ内文字の印字

文字コードに対応したプリンタ内の文字を印字します。

J I S [ESC] ℓ -

16進数 1Bh 6Ch 2Dh



電源をオンにしたときは、登録文字の印字ではなく、プリンタ内の文字の印字が選択されています。



登録文字の印字 [ESC] ℓ + 《☞ P.4-28》

(20) 登録文字の全消去

登録した文字をすべて消去し、未登録の状態に戻します。

J I S [ESC] ℓ 0

16進数 1Bh 6Ch 30h

(21) 文字の拡大指定

1バイトコード文字および2バイトコード文字の縦横の倍率を指定して拡大印字します。

JIS `[ESC] e` <縦の倍率 (1バイト)> <横の倍率 (1バイト)>

16進数 `1Bh 65h` <縦の倍率 (1バイト)> <横の倍率 (1バイト)>



<縦の倍率 (1バイト)> <横の倍率 (1バイト)>

縦方向および横方向の倍率を指定します。

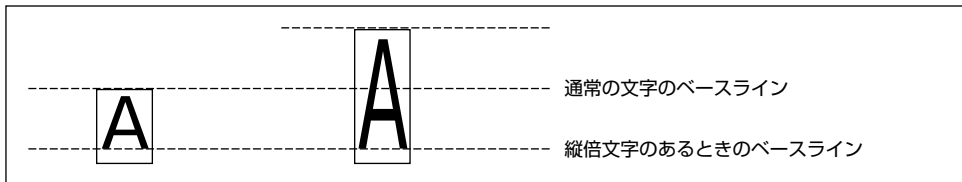
■ 範囲 : 1, 2, 3, 4, 6, 8



たとえば、縦横の倍率を組み合わせると次のような拡大が行われます。

縦の値	横の値	倍率(縦×横)	印字例
1	1	1×1	ABC
1	2	1×2	ABC
2	1	2×1	ABC
2	2	2×2	ABC

縦方向を2倍に拡大した場合、文字のベースライン位置は1行分だけ下がり、文字の下端が揃って印字されます。



PC-PR201/80Aでは縦拡大印字時に次の問題が生じます。

- `n/120`インチ改行幅の設定命令を使って、`18/120`インチより改行幅をせまく設定した場合、縦拡大文字が正常に印字されません。これに対し、本エミュレーションモードでは、設定された改行幅で縦拡大印字が正しく行われます。

- 用紙の下端付近で縦拡大文字を印字するとき、残りの行数（最小改行単位）が拡大文字の高さに満たない場合、文字の上半分と下半分が分断されます。これに対し、本エミュレーションモードでは、文字のベースラインがボトム位置を越えると自動的に改ページし、残りの改行が行われて印字されます。ただし、この場合、印字データが有効印字領域の上端を越えている場合は印字しません。
- 行バッファがいっぱいになったとき、この行に縦拡大文字があると自動的に1行改行されるため垂直位置がずれてしまいます。本エミュレーションモードでも同様の現象がおきますが、行バッファがいっぱいになるタイミングが異なるため印字結果も異なります。



縦倍文字の印字について→「2.5 印字領域と印字動作」《P.2-34》

(22) 文字の繰り返し印字

指定した文字を指定した回数だけ繰り返し印字（キャラクターリピート）します。

JIS `[ESC] R` <繰り返し回数 (3バイト)> <文字コード (1/2バイト)>

16進数 `1Bh 52h` <繰り返し回数 (3バイト)> <文字コード (1/2バイト)>



<繰り返し回数 (3バイト)>

繰り返す回数を3桁の10進数で指定します。

■範 囲：001～999

<文字コード (1/2バイト)>

繰り返す文字を16進数で指定します。

指定する文字が1バイトコード文字の場合は1バイトで指定し、2バイトコード文字の場合は2バイトで指定します。

(23) 強調印字の指定

強調印字モードを設定します。

J I S [ESC] !

16進数 1Bh 21h



PC-PR201/80Aでは、文字を2度印字してドットを濃くしていますが、本エミュレーションモードでは、文字およびイメージのドットを水平方向に右にずらして重ね印字して強調させます。文字およびイメージのそれぞれのドットのずらし量は次のようになります。

展開時の解像度	文 字		イ メ ー ジ	
	8ポイント	10, 12ポイント	Fmode 4, 7, 8	Fmode 1, 2, 3, 6
300dpi	1ドット	2ドット	1ドット	2ドット
600dpi	3ドット	4ドット	3ドット	4ドット



強調印字の解除 [ESC] " 《☞ P.4-31》

(24) 強調印字の解除

強調印字モードを解除します。

J I S [ESC] "

16進数 1Bh 22h



以降、文字およびイメージの強調印字は解除され、標準印字になります。



強調印字の指定 [ESC] ! 《☞ P.4-31》

(25) ライン印字モードの指定

文字にアンダーラインまたはアップパーラインを付加して印字します。

J I S [ESC] X

16進数 1Bh 58h



ラインの設定 [ESC] _ でアンダーラインまたはアップパーラインが設定されていない場合は、アンダーラインを引きます。

また、文字の拡大指定 [ESC] e で文字の縦方向を拡大しても、ラインの太さは変わりません。



ラインの設定 [ESC] _ [〈 P.4-33〉](#)

ライン印字モードの解除 [ESC] Y [〈 P.4-32〉](#)

(26) ライン印字モードの解除

アンダーラインまたはアップパーラインを印字するモードを解除します。

J I S [ESC] Y

16進数 1Bh 59h



ラインの設定 [ESC] _ でアンダーラインまたはアップパーラインが設定されていない場合は、アンダーラインを引きます。

また、文字の拡大指定 ESCe で文字の縦方向を拡大しても、ラインの太さは変わりません。



ラインの設定 [ESC] _ [〈 P.4-33〉](#)

ライン印字モードの指定 [ESC] X [〈 P.4-32〉](#)

(27) ラインの設定

ライン印字モードで付加するラインをアンダーラインまたはアップパーラインから選択します。

JIS `[ESC] _` [ライン種別 (1バイト)]

16進数 1Bh 2Bh [ライン種別 (1バイト)]



[ライン種別 (1バイト)]

アンダーラインまたはアップパーラインを指定します。

値	設定内容
1	アンダーライン
2	アップパーライン



ライン印字モードの指定 `[ESC] X` 《☞ P.4-32》

ライン印字モードの解除 `[ESC] Y` 《☞ P.4-32》

(28) ドットスペース量の指定

指定したドットスペース量だけスペースを空けます。

JIS `[ESC] <` ドットスペース量 (1バイト) `>`

16進数 1Bh <ドットスペース量 (1バイト) >



<ドットスペース量 (1バイト)>

スペースを空ける量をドット数で指定します。

■範 囲 : 00h~08h (16進数)



本制御命令によるドットスペース量の指定は、プロポーショナルモードおよび漢字横／縦印字モードの場合に有効です。

文字の拡大指定 `[ESC] e` で文字の横方向を拡大した場合は、スペースも拡大されます。



文字の拡大指定 `[ESC] e` 《☞ P.4-29》

(29) 8ビット・ドット列イメージの印字

1列のドットに対して、8ビット分のデータを与えてイメージデータを印字します。

JIS **[ESC]** S <ドット列数 (4バイト)> (イメージデータ)

16進数 1Bh 53h <ドット列数 (4バイト)> (イメージデータ)



<ドット列数 (4バイト)>

ドット列数を4桁の10進数で指定します。

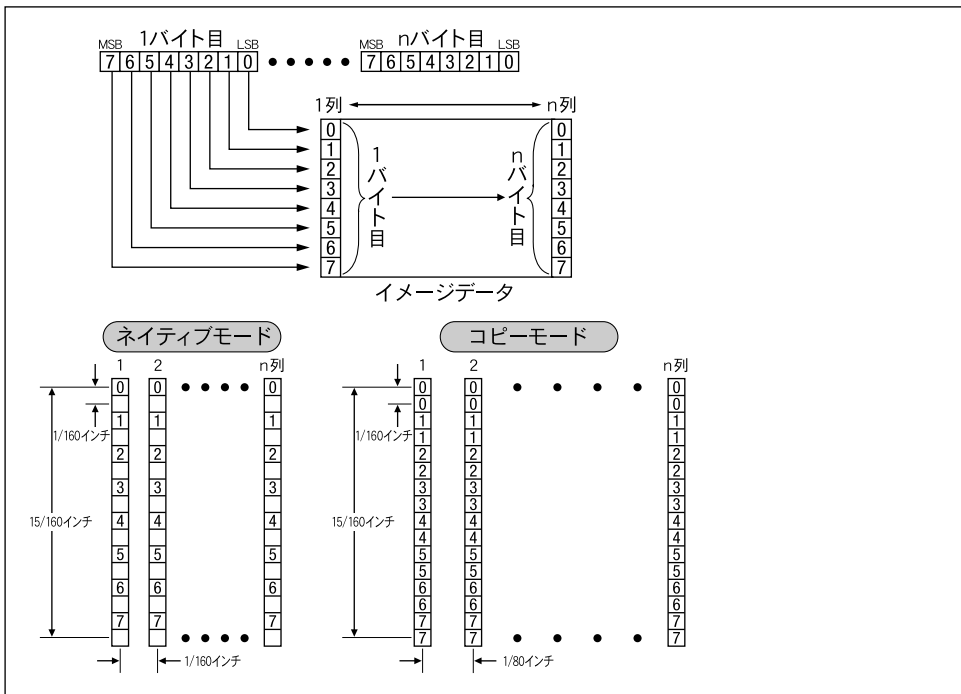
■ 範囲: 0001~9999 (10進数)

(イメージデータ)

16進数でイメージデータを指定します。



イメージデータの印字結果は、PC-PR201/80Aではネイティブモードとコピーモードとで次のようになりますが、本エミュレーションモードではモードの指定に関係なくドットの合間を埋めて (ベタ黒) 印字します。



(30) 16ビット・ドット列イメージの印字

1列のドットに対して、16ビット分のデータを与えてイメージデータを印字します。

JIS **[ESC]** I <ドット列数 (4バイト)> (イメージデータ)

16進数 1Bh 49h <ドット列数 (4バイト)> (イメージデータ)



<ドット列数 (4バイト)>

ドット列数を4桁の10進数で指定します。

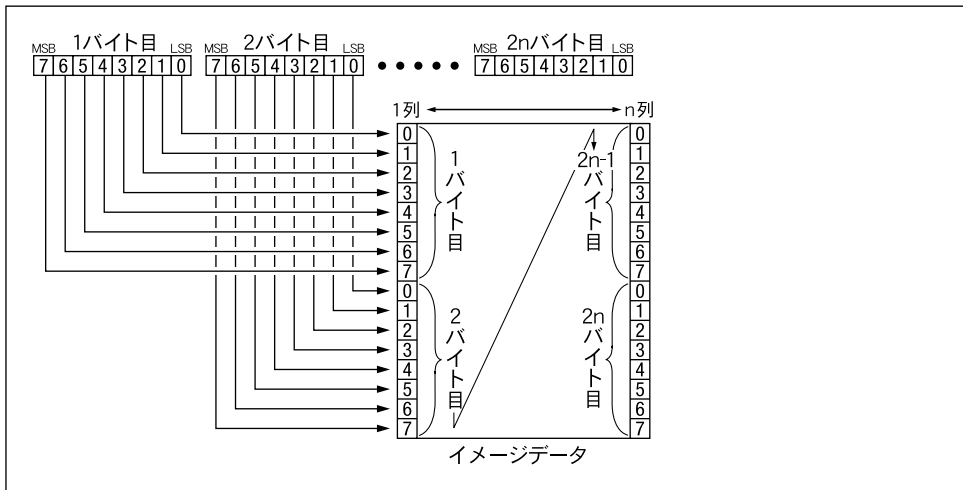
■範囲：0001～9999 (10進数)

(イメージデータ)

16進数でイメージデータを指定します。



イメージデータの印字結果は次のようになります。



(31) 24ビット・ドット列イメージの印字

1列のドットに対して、24ビット分のデータを与えてイメージデータを印字します。

JIS **[ESC]** J <ドット列数 (4バイト)> (イメージデータ)

16進数 1Bh 4Ah <ドット列数 (4バイト)> (イメージデータ)



<ドット列数 (4バイト)>

ドット列数を4桁の10進数で指定します。

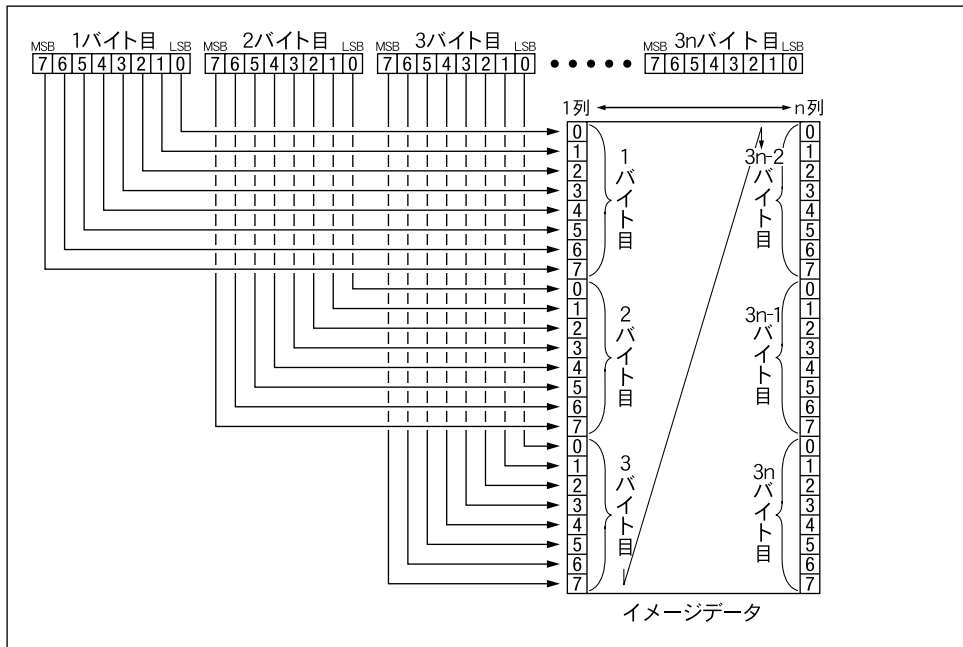
■ 範囲 : 0001~9999 (10進数)

(イメージデータ)

16進数でイメージデータを指定します。



イメージデータの印字結果は次のようになります。



(32) 8ビット・ドット列イメージの繰り返し印字

指定した8ビットのイメージデータを、指定した回数だけ繰り返して印字します。

JIS **[ESC]** V <繰り返し回数 (4バイト)> (イメージデータ (1バイト))

16進数 1Bh 56h <繰り返し回数 (4バイト)> (イメージデータ (1バイト))



<繰り返し回数 (4バイト)>

イメージデータを繰り返して印字する回数を指定します。

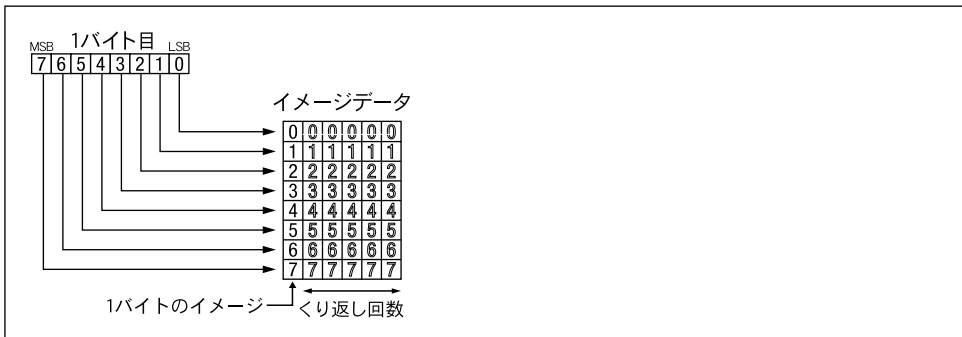
■ 範 囲 : 0001~9999 (10進数)

(イメージデータ (1バイト))

16進数でイメージデータ1ドット列 (8ビット) を指定します。



イメージデータの印字結果は次のようになります。



(33) 16ビット・ドット列イメージの繰り返し印字

指定した16ビットのイメージデータを、指定した回数だけ繰り返して印字します。

JIS **[ESC]** W <繰り返し回数 (4バイト)> (イメージデータ (2バイト))

16進数 1Bh 57h <繰り返し回数 (4バイト)> (イメージデータ (2バイト))



<繰り返し回数 (4バイト)>

イメージデータを繰り返して印字する回数を指定します。

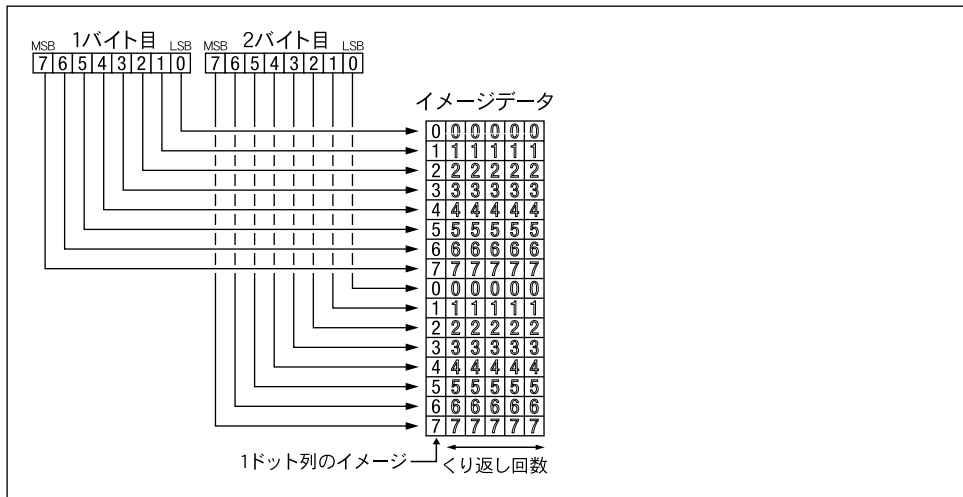
■ 範 囲 : 0001~9999 (10進数)

(イメージデータ (2バイト))

16進数でイメージデータ1ドット列 (16ビット) を指定します。



イメージデータの印字結果は次のようになります。



(34) 24ビット・ドット列イメージの繰り返し印字

指定した24ビットのイメージデータを、指定した回数だけ繰り返して印字します。

JIS **[ESC]** U <繰り返し回数 (4バイト)> (イメージデータ (3バイト))

16進数 1Bh 55h <繰り返し回数 (4バイト)> (イメージデータ (3バイト))



<繰り返し回数 (4バイト)>

イメージデータを繰り返して印字する回数を指定します。

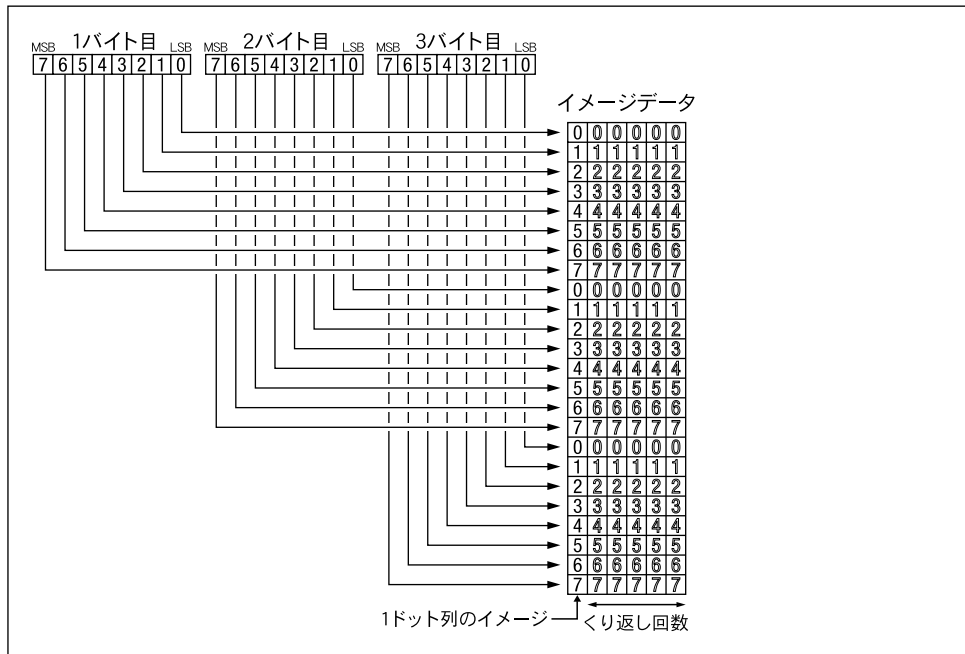
■ 範 囲 : 0001~9999 (10進数)

(イメージデータ (3バイト))

16進数でイメージデータ1ドット列 (24ビット) を指定します。



イメージデータの印字結果は次のようになります。



(35) ドットアドレッシング

印字位置を現在設定されている左マージン位置から、指定したドット位置（アドレス）まで横方向へ移動します。

JIS **[ESC]** F <ドットアドレス（4バイト）>

16進数 1Bh 46h <ドットアドレス（4バイト）>



<ドットアドレス（4バイト）>

移動する位置を指定します。

■ 範囲：0000～9999（10進数）

指定範囲の上限はページフォーマットおよび標準／ワイド領域モードによって変化する右マージンまでのドット数となります。

ただし、右マージン位置を超えたり、現在印字位置の左側を指定することはできません。



ドットアドレスの基準となる位置は、左マージン位置です。

1ドットの単位は、現在の印字方式によって次のようになります。

印 字 方 式	設 定 内 容
通常（パイカ／プロポーションアルモード、漢字横／縦印字モード）	160dpi
エリートモード	180dpi
コンデンスモード	240dpi



文字の拡大指定 **[ESC]** eによって横拡大を指定しても、ドットアドレスは拡大されません。

(36) コピーモードの指定

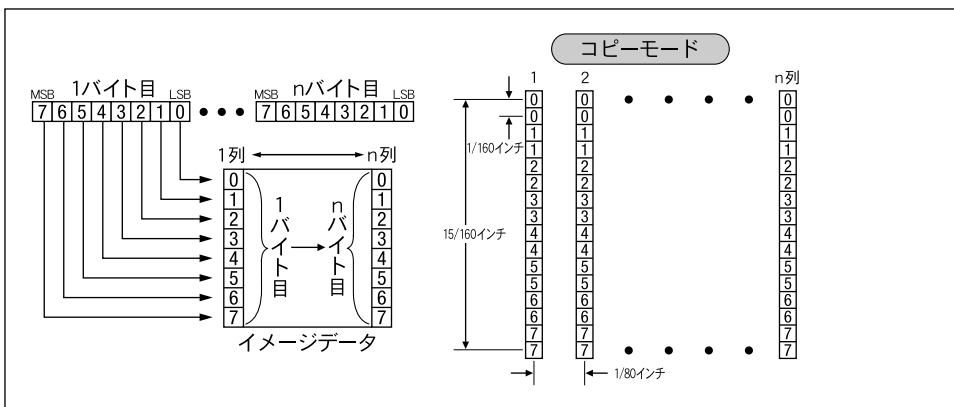
ドット列イメージの印字において、各ビットを2度ずつ印字する印字方式を指定します。

JIS [ESC] D

16進数 1Bh 44h



8ビット・ドット列イメージを印字した場合のPC-PR201/80Aでの印字結果は次のようになります。ただし、本エミュレーションモードでは、ドットの合間を埋めて印字します。



本制御命令により、改行ピッチは次のように自動的に変換されます。

- 4/120インチの場合 : 4/160インチ改行
- 8/120インチの場合 : 8/160インチ改行
- 16/120インチの場合 : 16/160インチ改行

(37) ネイティブモードの指定

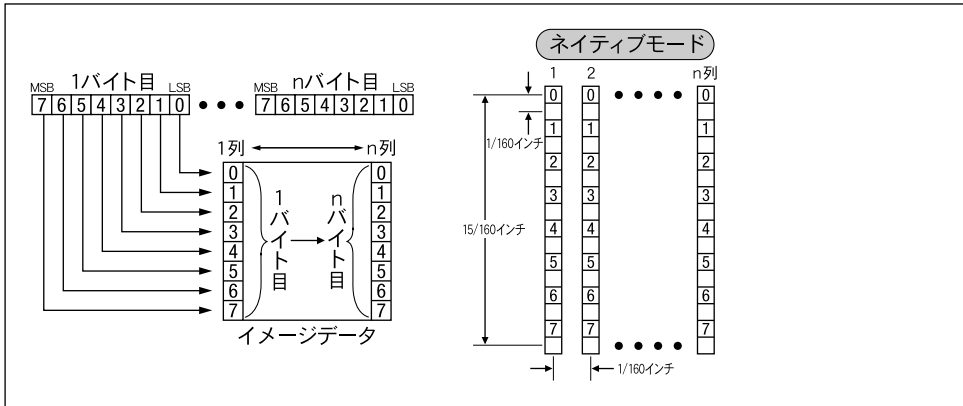
ドット列イメージの印字において、各ビットを1度ずつ印字する印字方式を指定します。

JIS ESC M

16進数 1Bh 4Dh



8ビット・ドット列イメージを印字した場合のPC-PR201/80Aでの印字結果は次のようになります。ただし、本エミュレーションモードでは、ドットの合間を埋めて印字します。



(38) 水平タブの設定

水平タブ位置を設定します。

JIS **[ESC]** (<タブ位置1 (3バイト)>, <タブ位置2 (3バイト)>, …, <タブ位置n (3バイト)>) .

16進数 1Bh 28h <タブ位置1 (3バイト)> 2Ch <タブ位置2 (3バイト)> 2Ch…2Ch <タブ位置n (3バイト)> 2Eh



<タブ位置1 (3バイト)>

設定する水平タブ位置を3桁の10進数で指定します。

設定の基準は左マージン位置です。したがって、『001』（iRシリーズは『1』）の指定は左マージン位置への設定になります。

設定できるタブ数は最大36箇所、昇順（右方向）で設定します。

現在設定されている印字文字数を越えた位置を水平タブ位置に設定することはできません。

タブ位置を左マージン位置より左、または右マージン位置より右に設定することはできませんが、その位置に移動することはできません。



現在設定されている印字方式の文字間隔で、水平タブ位置は設定されます。

本制御命令を受信すると、以前に設定した水平タブ位置はすべて解除されます。



指定を間違えた場合、設定した水平タブ位置はすべて解除されます。

また、文字の拡大指定**[ESC]** eによって横方向を拡大しても、設定位置は拡大されません。



水平タブの部分解除**[ESC]**) 《☞ P.4-44》

水平タブの全解除**[ESC]** 2 《☞ P.4-44》

(39) 水平タブの部分解除

特定の水平タブ位置を解除します。

J I S **[ESC]**) <タブ位置1 (3バイト)>, <タブ位置2 (3バイト)>, ..., <タブ位置n (3バイト)> .

16進数 1Bh 29h <タブ位置1 (3バイト)> 2Ch <タブ位置2 (3バイト)> 2Ch ... 2Ch
<タブ位置n (3バイト)> 2Eh



<タブ位置1 (3バイト)>

解除する水平タブ位置を3桁の10進数で指定します。



本制御命令で指定したタブ位置以外の水平タブは有効です。



水平タブの設定 **[ESC]** (《[P.4-43](#)》

水平タブの全解除 **[ESC]** 2 《[P.4-44](#)》

(40) 水平タブの全解除

設定したすべての水平タブ位置を解除します。

J I S **[ESC]** 2

16進数 1Bh 32h



水平タブの設定 **[ESC]** (《[P.4-43](#)》

水平タブの部分解除 **[ESC]**) 《[P.4-44](#)》

(41) 左マージンの設定

左マージン幅を設定します。

JIS `[ESC] L` <左マージン幅 (3バイト)>

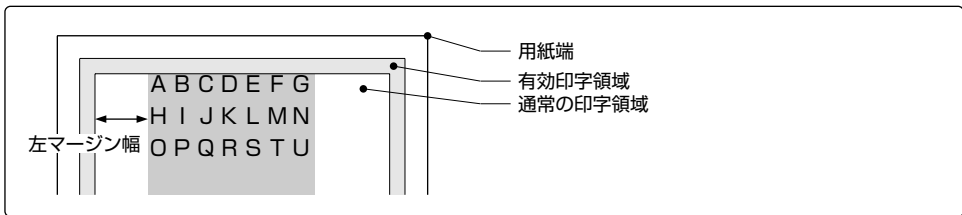
16進数 `1Bh 4Ch` <左マージン幅 (3バイト)>



<左マージン幅 (3バイト)>

左マージン幅を3桁の10進数で指定します。

右マージンと同じ位置または右マージン位置を越える値は設定できません。



左マージンの設定は、現在設定されている印字方式の文字間隔で行われます。ただし、プロポーショナルモードのときはピカモードの文字間隔になります。設定した左マージンは、次に設定しなおすまで有効です。

本制御命令を受信したとき、行バッファが空いていれば、直ちに左マージン幅が設定されます。



左マージンは、文字の拡大指定 `[ESC] e` によって横拡大が指定されていても拡大されません。

指定を間違えた場合、その設定は無視されます。



右マージンの設定 `[ESC] /` 《[P.4-46](#)》

(42) 右マージンの設定

右マージン幅を設定します。

JIS [ESC] / <右マージン幅 (3バイト)>

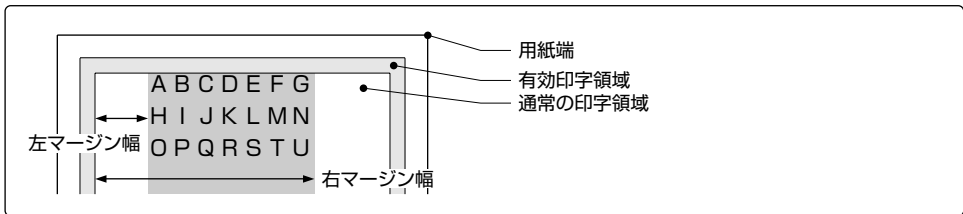
16進数 1Bh 2Fh <右マージン幅 (3バイト)>



<右マージン幅 (3バイト)>

右マージン幅を3桁の10進数で指定します。

左マージンと同じ位置または左マージン位置より左側の値を設定した場合は、左マージン幅が「000」になります。



右マージンの設定は、現在設定されている印字方式の文字間隔で行われます。ただし、プロポーショナルモードのときはパイカモードの文字間隔になります。設定した右マージンは、次に設定しなおすまで有効です。

本制御命令は即時有効となり、直ちに右マージン幅が設定されます。

右マージンは、文字の拡大指定 [ESC] e によって横拡大が指定されていても拡大されません。



左マージンの設定 [ESC] L 《 P.4-45 》

(43) 半角漢字の縦印字モードの指定

半角漢字を縦書きで印字します。

JIS [ESC] h 1

16進数 1Bh 68h 31h



漢字縦印字モード時に本制御命令を受信すると、半角漢字を行の中央に縦書きで印字します。

半角漢字は、全角文字（標準文字）の1/2の横幅になります。



本制御命令は、半角漢字の縦印字が解除されるまで有効です。



半角漢字が混在している印字データを縦印字すると、半角文字の高さが全角文字（標準文字）の高さと同一であるため、横印字に比べて行が長くなります



半角漢字の縦印字モードの解除 [ESC] h 0 《☞ P.4-47》

(44) 半角漢字の縦印字モードの解除

半角漢字の縦書き印字を解除します。

JIS [ESC] h 0

16進数 1Bh 68h 30h



本制御命令以降は、半角漢字は横書きで印字されます。



半角漢字の縦印字モードの指定 [ESC] h 1 《☞ P.4-47》

(45) 半角漢字の2文字構成縦印字モードの指定

半角漢字を2文字1組として縦書きで印字します。

J I S [ESC] q

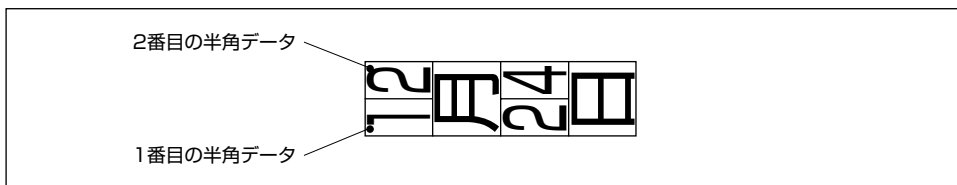
16進数 1Bh 71h



漢字縦印字モード時に本制御命令を受信すると、半角漢字2文字を1組として縦書きで印字します。

半角文字は、全角文字（標準文字）の1/2の横幅になります。

2文字構成の印字では、最初の半角文字を下側に、2番目の半角文字を上側に印字します。



本制御命令は、半角漢字を2文字構成で印字した後、または印字データが半角1文字の場合に解除されます。



半角漢字の縦印字モードの指定 [ESC] h 1 《☞ P.4-47》

(46) 改行ピッチの設定（1/6インチ）

改行幅を1/6インチに設定します。

J I S [ESC] A

16進数 1Bh 41h



本制御命令は、ほかの改行ピッチを設定するまで有効です。



改行ピッチの設定（1/8インチ） [ESC] B 《☞ P.4-49》

改行ピッチの設定（n/120インチ） [ESC] T 《☞ P.4-49》

(47) 改行ピッチの設定 (1/8インチ)

改行幅を1/8インチに設定します。

J I S **[ESC]** B

16進数 1Bh 42h



本制御命令は、ほかの改行ピッチを設定するまで有効です。



改行ピッチの設定 (1/6インチ) **[ESC]** A 《[P.4-48](#)》

改行ピッチの設定 (n/120インチ) **[ESC]** T 《[P.4-49](#)》

(48) 改行ピッチの設定 (n/120インチ)

改行幅をn/120インチ単位で設定します。

J I S **[ESC]** T <改行ピッチ (2バイト)>

16進数 1Bh 54h <改行ピッチ (2バイト)>



<改行ピッチ (2バイト)>

改行ピッチを指定します。

■範 囲：00~99 (10進数)

ただし、コピーモードでは「04」、「08」、「16」を指定するとn/160インチ単位になります。

改行ピッチが「00」の場合は改行しません。



本制御命令は、ほかの改行ピッチを設定するまで有効です。



改行ピッチの設定 (1/6インチ) **[ESC]** A 《[P.4-48](#)》

改行ピッチの設定 (1/8インチ) **[ESC]** B 《[P.4-49](#)》

(49) 順方向改行モードの設定

改行方向を順方向（下方向）に設定します。

J I S [ESC] f

16進数 1Bh 66h



本制御命令は、逆方向改行モードを設定するまで有効です。



逆方向改行モードの設定 [ESC] r 《 P.4-50》

(50) 逆方向改行モードの設定

改行方向を逆方向（上方向）に設定します。

J I S [ESC] r

16進数 1Bh 72h



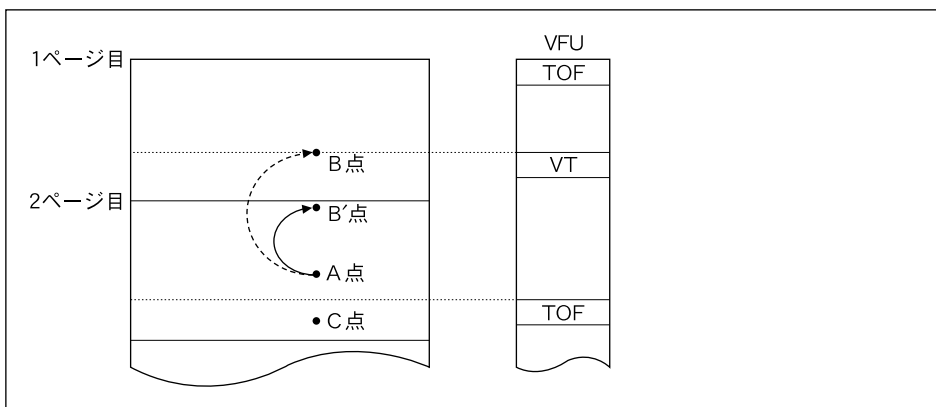
本制御命令は、順方向改行モードを設定するまで有効です。

カット紙のページフォーマット（Fmode 1, 2, 7, 8）では、本制御命令は無視されます。本エミュレーションモードでは、ページの上端およびTOF行を超えての逆方向改行はできません。ページ上端を超える場合と、TOF行を超える場合の動作は次のようになります。

- ページの上端を超える場合

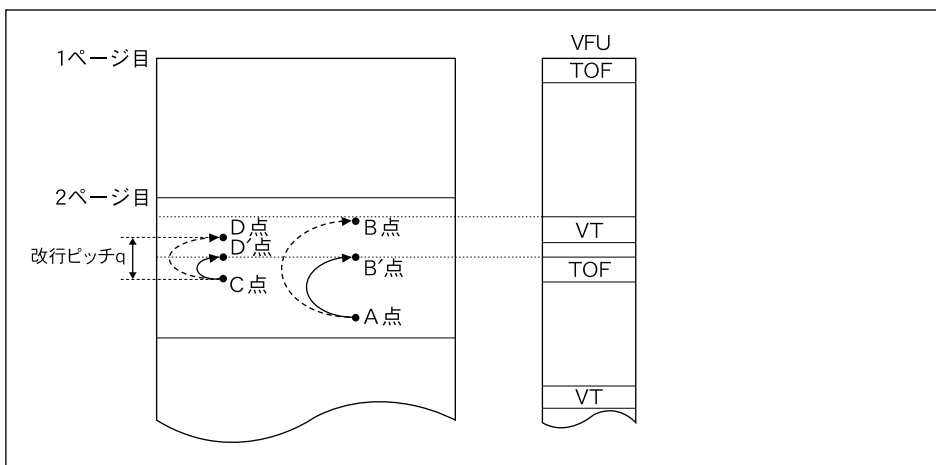
逆方向改行モード時、図のように現在印字位置がA点にあるとき、垂直タブの実行 [VT] を行っても前ページのB点には戻れず、B' 点に移動します。

また、C点で改ページ [FF] を実行すると、現在印字位置は次ページのTOF行に移動します。したがって、逆方向の改ページ [FF] 指定は、順方向と同じ動作になります。



●TOF行を超える場合

逆方向改行モード時、図のように現在印字位置がA点にあるとき、垂直タブの実行[VT]を行ってもTOF行を超えたB点には戻れず、B' 点に移動します。また、現在印字位置がC点にあり、改行ピッチがqのときに改行を実行すると、D点ではなくD' 点 (TOF行) に移動します。



順方向改行モードの設定 [ESC] f 《 P.4-50》

(51) カラー印字の指定

印字するカラーを指定します。

J I S [ESC] C [カラー (1バイト)]

16進数 1Bh 43h [カラー (1バイト)]



[カラー (1バイト)]

カラーを指定します。

■ 範 囲 : 0~7 (10進数)



本エミュレーションモードではカラーを指定してもすべて黒印字になります。

(52) 改ページ

改ページを行います。

J I S [ESC] a

16進数 1Bh 61h



本制御命令は、PC-PR201/80Aではカットシートフィーダの全排紙後吸入命令です。本エミュレーションモードでは、カット紙のページフォーマット (Fmode 1, 2, 7, 8) のとき、[FF]コードと同じ改ページ動作を行い、連続用紙のページフォーマット (Fmode 3, 4, 6) のときは無視されます。

メニューの印字動作グループの「印字指令」で「CRなど」を設定した場合は、復帰動作を行ったあとで改ページします。「CRのみ」を設定した場合は、行バッファにデータがあると本制御命令は無効になります。



改ページ [FF] 《☞ P.4-10》

(53) 改ページ

改ページを行います。

J I S ESC b

16進数 1Bh 62h



本制御命令は、PC-PR201/80Aではカットシートフィードの全排紙命令です。本エミュレーションモードでは、カット紙のページフォーマット (Fmode 1, 2, 7, 8) のとき、FFコードと同じ改ページ動作を行い、連続用紙のページフォーマット (Fmode 3, 4, 6) のときは無視されます。

メニューの印字動作グループの「印字指令」で「CRなど」を設定した場合は、復帰動作を行ったあとで改ページします。「CRのみ」を設定した場合は、行バッファにデータがあると本制御命令は無効になります。



改ページ FF 《☞ P.4-10》

(54) LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理

LBPシリーズ/iRシリーズを初期状態にします。

J I S ESC c 1

16進数 1Bh 63h 31h



PC-PR201/80Aの制御命令で設定されたすべての印字パラメータを初期化します。同時に操作パネルで設定したメニュー項目の一部を初期化します。



初期状態→「付録2. 初期状態」《☞ P.app.8》

4.3.2 [FS]シーケンス

[FS]シーケンスの拡張制御命令は、次の13種類です。

(1) 漢字の文字ピッチの指定 (3/20インチ)

漢字の文字ピッチを3/20インチ (10.5ポイントモード) に設定します。

J I S [FS] A

16進数 1Ch 41h



本モードでは、解像度が160dpiに切り換わります。

本制御命令では、漢字文字サイズは変更せず、文字幅のみを変更します。

また、本制御命令は、漢字横印字／縦印字モードの場合に有効です。

本制御命令は、ほかの漢字文字ピッチの指定命令を受信するまで有効です。

(2) 漢字の文字ピッチの指定 (1/5インチ)

漢字の文字ピッチを1/5インチ (10.5ポイントモード) に設定します。

J I S [FS] B

16進数 1Ch 42h



本モードでは、解像度が160dpiに切り換わります。

本制御命令では、漢字文字サイズは変更せず、文字幅のみを変更します。

また、本制御命令は、漢字横印字／縦印字モードの場合に有効です。

本制御命令は、ほかの漢字文字ピッチの指定命令を受信するまで有効です。

(3) 漢字の文字ピッチの指定 (1/6インチ)

漢字の文字ピッチを1/6インチ (9.5ポイント相当モード) に設定します。

JIS [FS] C

16進数 1Ch 43h



本モードでは、解像度が180dpiに切り換わります。

本制御命令では、漢字文字サイズは変更せず、文字幅のみを変更します。

また、本制御命令は、漢字横印字／縦印字モードの場合に有効です。

本制御命令は、ほかの漢字文字ピッチの指定命令を受信するまで有効です。

(4) 漢字の文字ピッチの指定 (2/15インチ)

漢字の文字ピッチを2/15インチ (9.5ポイント相当モード) に設定します。

JIS [FS] D

16進数 1Ch 44h



本モードでは、解像度が180dpiに切り換わります。

本制御命令では、漢字文字サイズは変更せず、文字幅のみを変更します。

また、本制御命令は、漢字横印字／縦印字モードの場合に有効です。

本制御命令は、ほかの漢字文字ピッチの指定命令を受信するまで有効です。

(5) 漢字の文字ピッチの指定 (1/10インチ)

漢字の文字ピッチを1/10インチ (7ポイント相当モード) に設定します。

JIS [FS] F

16進数 1Ch 46h



本モードでは、解像度が240dpiに切り換わります。

本制御命令では、漢字文字サイズは変更せず、文字幅のみを変更します。

また、本制御命令は、漢字横印字／縦印字モードの場合に有効です。

本制御命令は、ほかの漢字文字ピッチの指定命令を受信するまで有効です。

(6) 漢字の文字ピッチの指定 (1/6インチ)

漢字の文字ピッチを1/6インチ (12ポイント相当モード) に設定します。

J I S [FS] G

16進数 1Ch 47h



本モードでは、解像度が180dpiに切り換わります。

本制御命令では、漢字文字サイズは変更せず、文字幅のみを変更します。

また、本制御命令は、漢字横印字/縦印字モードの場合に有効です。

本制御命令は、ほかの漢字文字ピッチの指定命令を受信するまで有効です。

(7) 縦縮小文字の2文字縦構成の印字モードの指定

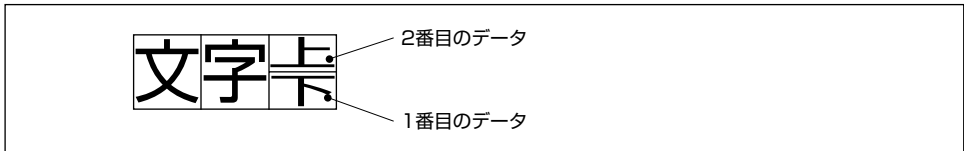
縦縮小印字時に2文字を上下に組み合わせて印字します。

J I S [FS] P

16進数 1Ch 50h



文字の縦縮小印字 (縦幅が1/2) が指定されている場合、本制御命令を受信すると、次に続く2文字の1文字目を下段、2文字目を上段に配置して1文字の幅に印字します。



本制御命令は、縮小文字を2文字構成で印字した後、自動的に解除されます。

(8) 文字修飾の指定

文字修飾の設定または解除を指定します。

JIS **[FS]** c , , [修飾モード1 (任意バイト)], ..., [修飾モード n (任意バイト)] .

16進数 1Ch 63h 2Ch 2Ch [修飾モード1 (任意バイト)] 2Ch ... 2Ch [修飾モード n (任意バイト)] 2Eh



[修飾モード1 (任意バイト)]

文字の修飾モードを指定します。

値	設 定 内 容
0	修飾の解除
1	ボールド修飾
2	イタリック修飾
3	アウトライン修飾
4	シャドウ修飾
5	立体修飾



複数の修飾を行うことが可能ですが、アウトラインと立体、およびシャドウと立体を同時に指定すると、後から指定した修飾のみ有効になります。

(9) 文字の拡大／縮小指定

文字の拡大または縮小を指定します。

JIS **[FS]** m [縦倍率の分子 (任意バイト)] / [縦倍率の分母 (任意バイト)], [横倍率の分子 (任意バイト)] / [横倍率の分母 (任意バイト)], [文字の位置 (任意バイト)] .

16進数 1Ch 6Dh [縦倍率の分子 (任意バイト)] 2Fh [縦倍率の分母 (任意バイト)] 2Ch [横倍率の分子 (任意バイト)] 2Fh [横倍率の分母 (任意バイト)] 2Ch [文字の位置 (任意バイト)] 2Eh



[縦倍率の分子 (任意バイト)] / [縦倍率の分母 (任意バイト)]

[横倍率の分子 (任意バイト)] / [横倍率の分母 (任意バイト)]

文字の縦方向および横方向の倍率を指定します。

倍率の分子の値	倍率の分母の値	設 定 内 容
1	1	1倍
2	1	2倍
3	1	3倍
4	1	4倍
6	1	6倍
8	1	8倍
1	2	1/2倍

倍率のパラメータを省略すると、「1」になります。

[文字の位置 (任意バイト)]

縦縮小文字を指定した場合に、文字を印字する位置を指定します。

値	設 定 内 容
L	下付き指定
M	中付き指定
H	上付き指定

縦縮小文字を指定した場合、本パラメータを省略すると下付き指定になります。



本制御命令で縦拡大と横縮小または縦縮小と横拡大を同時に指定すると無効になります。

(10) 漢字の文字ピッチの指定

漢字の文字ピッチおよび解像度を指定します。

JIS **[FS]** p [有効/無効 (任意バイト)], [文字ピッチの分子 (任意バイト)] / [文字ピッチの分母 (任意バイト)] .

16進数 1Ch 70h [有効/無効 (任意バイト)] 2Ch [文字ピッチの分子 (任意バイト)] 2Fh [文字ピッチの分母 (任意バイト)] 2Eh



[有効/無効 (任意バイト)]

文字ピッチの指定を有効にするか無効にするかを選択します。

値	設定内容
2	無効
2以外	有効

[文字ピッチの分子 (任意バイト)] / [文字ピッチの分母 (任意バイト)]

文字のピッチおよび解像度を指定します。

文字ピッチの分子の値	文字ピッチの分母の値	設定内容
1	5	1/5インチ 160dpi
1	6	1/6インチ 180dpi
3	20	3/20インチ 160dpi
2	15	2/15インチ 160dpi
1	10	1/10インチ 160dpi



本制御命令は漢字縦/横印字モード時に有効になります。

(11) 文字ピッチの調整

文字の印字間隔を調整します。

JIS **[FS]** w <文字間左スペース量 (任意バイト)>, <文字間右スペース量 (任意バイト)> .

16進数 1Ch 77h <文字間左スペース量 (任意バイト)> 2Ch <文字間右スペース量 (任意バイト)> 2Eh



<文字間左スペース量 (任意バイト)> <文字間右スペース量 (任意バイト)>

文字の左右のスペース量をドット単位で指定します。

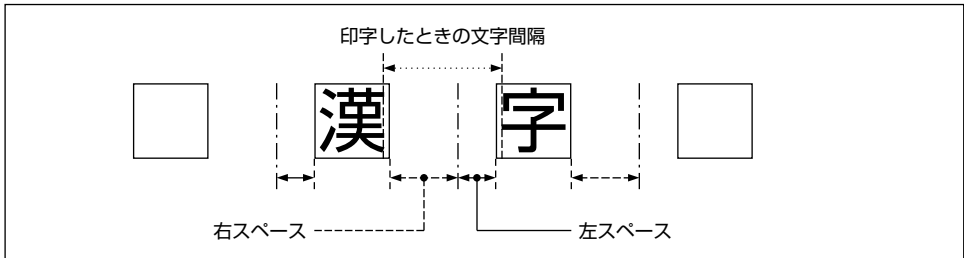
■単 位：現在の解像度

■0~31

ただし、 $0 \leq \text{左スペース量} + \text{右スペース量} \leq 31$ 以外のときは、左右のスペース量は0になります。また、パラメータ省略時も0になります。



左右スペース量の関係は、次のようになります。



(12) アンダー／アッパーラインの太さの指定

アンダーラインまたはアッパーラインの線の太さを指定します。

JIS **[FS]** 0 4 L 〈太さ (3バイト)〉

16進数 1Ch 30h 34h 4Ch 〈太さ (3バイト)〉



〈太さ (3バイト)〉

アンダー／アッパーラインの太さを2種類から選択します。

それぞれのページフォーマットでの線のドット数 (ドット/300dpi) は次のようになります。

値		設定内容						
		Fmode 1	Fmode 2	Fmode 3	Fmode 4	Fmode 6	Fmode 7	Fmode 8
S12	細線	2	2	2	1	2	1	1
S14	太線	3	3	3	2	3	2	2



ライン印字モードの指定 **[ESC]** X 〈☞ P.4-32〉

ライン印字モードの解除 **[ESC]** Y 〈☞ P.4-32〉

ラインの設定 **[ESC]** _ 〈☞ P.4-33〉

(13) 漢字文字サイズの指定

漢字縦／横印字モード時の解像度を指定します。

JIS **[FS]** 04S <解像度 (3バイト)>

16進数 1Ch 30h 34h 53h <解像度 (3バイト)>



<解像度 (3バイト)>

解像度を指定します。

値	設定内容
120	180dpi (12 ポイントモード)
105	160dpi (10.5ポイントモード)
108	160dpi (10.5ポイントモード)
095	180dpi (9.5ポイントモード)
096	180dpi (9.5ポイントモード)
070	240dpi (7 ポイントモード)
072	240dpi (7 ポイントモード)



本エミュレーションモードでは、漢字サイズは変更せずに、解像度のみを切り換えます。
本制御命令は漢字縦／横印字モード時に有効になります。



漢字の文字ピッチの指定 《☞ P.4-54以降》

4.4 LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令

N201エミュレーションモードには、次の19種類のLBPシリーズ/iRシリーズ専用の制御命令が用意されています。

4.4.1 フォーム作成の制御命令

フォーム作成に関する制御命令には、次の8種類の[ESC]シーケンスが用意されています。

(1) ユーザページの登録

オーバーレイ印字するユーザ独自のフォームデータを指定のユーザページに登録します。

JIS [ESC] ? h [ユーザページ番号 (1バイト)]

16進数 1Bh 3Fh 68h [ユーザページ番号 (1バイト)]



[ユーザページ番号 (1バイト)]

フォームデータを登録するユーザページを指定します。

値	設定内容
0	ユーザページ1にフォームを登録します。
1	ユーザページ2にフォームを登録します。



登録したフォームデータをジョブ（一連の印刷処理）が終わった時点で削除するか、LBPシリーズ/iRシリーズの電源をオフにするまで削除しないかは、メニューの他のグループの「登録レベル」で選択できます。

ユーザページの登録を開始すると、パラメータリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメータが初期化されます。



すでにフォームを登録したユーザページに、新たにフォームを登録した場合、以前のフォームデータは消去されます。



「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《☞ P.2-41》

「3.2.7 その他のグループ (1) 登録データの削除方法を設定する」《☞ P.3-52》

(2) ユーザページの登録終了

ユーザページまたは複写ページへのフォームデータの登録を終了します。

J I S [ESC] ? e

16進数 1Bh 3Fh 65h



ユーザページおよび複写ページの登録を終了すると、パラメータリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメータが初期化されます。

また、本制御命令を受信したとき以外にも、ユーザページの登録が終了する場合があります。



「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《☞ P.2-41》

(3) LIPSの制御命令によるユーザページの登録

PC-PR201／80Aの8ビット・ドット列イメージの印字命令によって、LIPSの制御命令で作成されたフォームデータを送り、ユーザページの登録を行います。

JIS [ESC] ? ' [ユーザページ番号 (1バイト)]

16進数 1Bh 3Fh 27h [ユーザページ番号 (1バイト)]



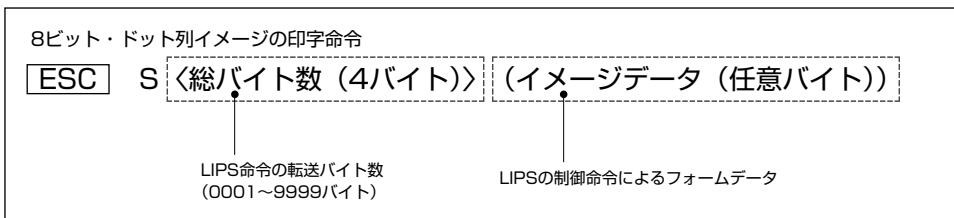
[ユーザページ番号 (1バイト)]

フォームデータを登録するユーザページを指定します。

値	設定内容
0	ユーザページ1にフォームを登録します。
1	ユーザページ2にフォームを登録します。



本制御命令を受信すると、ユーザページの登録が開始され、送られてくる8ビット・ドット列イメージの印字命令のイメージデータ部分をLIPSの制御命令または文字データとして解釈し、フォームを登録します。メニューの設定値「HEX／LIPS機能」が「無効」の場合には、本命令は無視されます。



LIPSの制御命令でフォームデータを登録している間は、LIPS以外の制御命令は無効になります。

また、指定したバイト数分のLIPSの制御命令が送られていなくても、ユーザページの登録が終了する条件が満たされれば、自動的に登録を終了します。

本制御命令を受信するとパラメータリセット処理が行われ、印字データがある場合はそのページを印字して排紙したあと、ページ登録を開始します。

ユーザページの印字方向 (ポートレイト／ランドスケープ) および用紙サイズは、本エミュレーションモードの設定 (ページフォーマットおよび用紙サイズの設定) にしたがいます。

なお、LIPSの制御命令は、メニューの「LIPSフォーム」で「LIPS2」または「LIPS4」から選択できます。



LIPSの制御命令によるページ登録中は、VDMモード以外で制御命令として[ESC] : が送られると、指定バイト数のLIPSの制御命令が送られていなくてもフォーム登録を終了します。VDMモード中のハードリセット命令やソフトリセット命令でもフォーム登録は終了します。

また、登録中はLIPSの自動改ページモードはOFFになり、垂直方向の移動命令による自動改ページは行われません。

なお、次の制御命令およびデータは無視または無効になります。

- 改ページ命令 [FF]
- ハード・リセット命令 [ESC] c
- エミュレーション・モード開始命令 [ESC] % 1
- コメント表示命令 1/2/3
[ESC] p y, [ESC] \、 [ESC] [& y
- 給紙モード設定命令 [ESC] [q
- オーバーレイ印字開始/終了命令 [ESC] [& w
- 文字セット削除命令 [ESC] [& p
- 1文字登録命令バイナリ/ヘキサ [ESC] [. q, [ESC] [/ q
- 文字セット登録命令バイナリ/ヘキサ [ESC] [. p, [ESC] [/ p

また、メニューのその他グループの「LIPSフォーム」の設定が「LIPS2」の場合、次のLIPSの制御命令は8ビット・ドット列イメージの印字命令以降は無効になります。また、「LIPSフォーム」の設定が「LIPS4」の場合、次の制御命令は8ビット・ドット列イメージの印字命令以降に「オーバーレイ・ページ登録開始 [ESC] [1 & s」を受信すると無効になります。

- ソフト・リセット命令 [ESC] <
- オーバーレイ・ページ登録開始 [ESC] [& 1 s
- ページ・フォーマット選択命令 [ESC] [p
- ジョブ開始終了命令 [ESC] P J

なお、「LIPSフォーム」の設定が「LIPS4」の場合は、8ビット・ドット列イメージの印字命令以降で「オーバーレイ・ページ登録開始」`[ESC]` `[& 1 s]`を送らないと登録が開始されません。

また、「LIPSフォーム」の設定に関係なく、「オーバーレイ・ページ登録終了」`[ESC]` `[& 0 s]`を受信するとLIPSのページ登録を終了します。

「LIPS4」のオーバーレイ・ページ登録開始`[ESC]` `[& 1 s]`で登録するページ番号は、本命令で登録するページ番号と同じでなければなりません。

メニューのその他のグループの「登録レベル」の設定が「永久」の場合、ジョブが終了しても登録ページは保持されますが、LIPSページ登録による登録ページは他のエミュレーションなどのジョブ中に削除される可能性があります。

メニューのその他のグループの「LIPSフォーム」の設定値が「LIPS2」の場合と「LIPS4」の場合の登録ページは、別のページとして登録されます。



「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《☞ P.2-41》

「3.2.7 その他のグループ (3) フォーム登録時のLIPSモードを設定する」《☞ P.3-55》

(4) LIPSの制御命令によるユーザページの登録終了

本制御命令を受信すると、LIPSの制御命令によるユーザページの登録を終了します。

J I S `[ESC]` ? .

16進数 1Bh 3Fh 2Eh



ユーザページの登録を終了すると、ジョブ終了と同様なりセットが行われますが、メニューの設定値は保持されます。



「2.6.1 ページオーバーレイ機能」《☞ P.2-41》

LIPSの制御命令によるユーザページの登録`[ESC]` ? ' 《☞ P.4-65》

(5) 複写ページの登録

複写用紙機能でオーバーレイ印字するユーザ独自のフォームデータを指定の共通ページまたは複写ページに登録します。

JIS **[ESC]** ? ? h [共通/複写ページ (1バイト)]

16進数 1Bh 3Fh 3Fh 68h [共通/複写ページ (1バイト)]



[共通/複写ページ (1バイト)]

フォームデータを登録するページを指定します。

値	設定内容
K	共通ページ (複写用紙の全ページに印字)
1~5	複写ページ1~5 (複写用紙に順番に印字)



登録したフォームデータをジョブ（一連の印刷処理）が終わった時点で削除するか、LBPシリーズ/iRシリーズの電源をオフにするまで削除しないかは、メニューの「登録レベル」で選択できます。

共通/複写ページの登録を開始すると、パラメータリセット処理が行われ、制御命令で設定したすべての印字パラメータが初期化されます。

共通/複写ページの登録は、「ユーザページの登録終了**[ESC]** ? e」によって終了します。

メモリサイズを越えるページ登録を行うと「メモリ・オーバー」とエラー表示され、この時点でページ登録は終了し、以降のデータは捨てられます。

(6) 複写ページの消去

複写用紙機能の共通ページまたは複写ページ1～5に登録されているフォームデータを消去します。

JIS [ESC] ? ? r [共通/複写ページ (1バイト)]

16進数 1Bh 3Fh 3Fh 72h [共通/複写ページ (1バイト)]



[共通/複写ページ (1バイト)]

フォームデータを消去するページを指定します。

値	設定内容
K	共通ページ
1～5	複写ページ1～5いずれかのページ
A	共通ページと複写ページの全ページ

(7) 複写用紙のオーバーレイ印字開始

複写用紙機能を使用したオーバーレイ印字を開始します。

JIS [ESC] ? ? p [共通ページ番号 (1バイト)], <複写枚数 (1バイト)>

16進数 1Bh 3Fh 3Fh 70h [共通ページ番号 (1バイト)] 2Ch <複写枚数 (1バイト)>



[共通ページ番号 (1バイト)]

オーバーレイ印字するフォームのページを指定します。

値	設定内容
K	共通ページの複写用紙のフォーム
0	ユーザページ1のオーバーレイのフォーム
1	ユーザページ2のオーバーレイのフォーム

全ページにオーバーレイ印字するフォームとして、複写用紙機能の共通ページに登録したフォームのほか、ページオーバーレイ機能のユーザページ1・2のフォームが使用できます。ただし、「1」を選択した場合、メニューの「システムオーバーレイ」でシステムページ(1～5) (iRシリーズでは、オーバーレイ番号(1～5))が設定されている場合は、そのページもオーバーレイ印字されます。

〈複写枚数 (1バイト)〉

各ページを複写する枚数を指定します。

■範 囲：1～5



共通ページのフォームは全ページに、複写ページのフォームはそれぞれのページにオーバーレイ印字されます。なお、本制御命令で複写用紙機能を開始しても、その時点では印字は行われず、通常のページを排紙するときにオーバーレイ印字が行われます。ただし、現在のページに印字データがあるときに本制御命令を受け取った場合は、複写用紙機能は次ページから有効になります。



「2.6.2 複写用紙機能」《☞ P.2-47》

(8) 複写用紙のオーバーレイ印字終了

複写用紙機能を使用したオーバーレイ印字を終了します。

J I S ESC ? ? z

16進数 1Bh 3Fh 3Fh 7Ah



「2.6.2 複写用紙機能」《☞ P.2-47》

4.4.2 文字修飾の制御命令

文字の印字に関する制御命令には、次の3種類の[ESC]シーケンスがあります。

(1) 漢字の文字ピッチの指定

2バイトコード文字（漢字）の文字ピッチを指定します。

JIS [ESC] ? h [文字ピッチ (1バイト)]

16進数 1Bh 3Fh 48h [文字ピッチ (1バイト)]



[文字ピッチ (1バイト)]

漢字の文字ピッチを指定します。

値	設定内容
0	6.6cpi
1	5 cpi
2	10 cpi
3	7.5cpi
4	4.4cpi
5	3.3cpi
6	6 cpi

cpi : 1インチあたりの文字数



PC-PR201/80Aの制御命令「漢字の文字ピッチの指定[FS] Aなど」と本制御命令を共に設定した場合は、後で設定した方が優先されます。



漢字の文字ピッチの指定[FS] Aなど 《☞ P.4-54以降》

(2) ANK文字サイズの指定

ANK文字の文字サイズを指定します。

JIS [ESC] ? ` [文字サイズ (1バイト)]

16進数 1Bh 3Fh 60h [文字サイズ (1バイト)]



[文字サイズ (1バイト)]

ANK文字サイズを指定します。

値	設定内容
0	実寸フォント
1	縮小フォント




設定されたサイズのANK文字が選ばれ、そのANK文字が隙間なく印字される文字ピッチが設定されます。現在のANK文字フォント（パイカ、エリート、コンデンス）や、漢字の文字サイズ、文字ピッチには影響がありません。

なお、ANK文字フォントの設定が変わると、新しい文字フォントに対して文字ピッチが設定しなおされます。

(3) 全文字印字

すべての1バイトコードの範囲から、指定されたコードの文字パターンを印字します。したがって、制御命令の部分も、制御命令としてではなく、すべて文字として印字します。

JIS  ? ? a <総バイト数 (4バイト)> (文字コード)

16進数 1Bh 3Fh 3Fh 61h <総バイト数 (4バイト)> (文字コード)



<総バイト数 (4バイト)>

印字する文字コードの総バイト数を指定します。

■範囲：0000～9999

(文字コード)

印字する文字コードを指定します。



指定されたコード範囲に文字パターンがない場合は、スペース (20h) が印字されます。

なお、本制御命令は、漢字縦印字／横印字モードのときは無効になります。

4.4.3 マクロ機能の制御命令

マクロ機能に関する制御命令には、次の4種類の **[ESC]** シーケンスがあります。

(1) マクロの登録

指定したマクロ番号にマクロデータを登録します。

JIS **[ESC]** ? = <マクロ番号 (3バイト)>, <バイト数 (5バイト)> (マクロデータ)

16進数 1Bh 3Fh 3Dh <マクロ番号 (3バイト)> 2Ch <バイト数 (5バイト)> (マクロデータ)



<マクロ番号 (3バイト)>

マクロ番号を指定します。

■範囲 罫：000～255

<バイト数 (5バイト)>

登録するマクロデータのバイト数を指定します。

■範囲 罫：00000～65535

(マクロデータ)

指定したバイト数のマクロデータを送ります。



登録したマクロデータをジョブが終わったときに削除するか、LBPシリーズ/iRシリーズの電源をオフにするまで登録しておくかを、メニューのその他グループの「登録レベル」で選択できます。

「LBPシリーズ/iRシリーズのリセット処理 **[ESC]** c 1」を受信した場合に、特定のマクロを自動実行させるスタートアップマクロを使用することもできます。



「2.6.3 マクロ機能」《☞ P.2-51》

「3.2.4 印字機能グループ (5) マクロ機能を設定する」《☞ P.3-39》

(2) マクロの実行

指定したマクロ番号に登録されているマクロを実行します。

J I S [ESC] ? [マクロ番号 (3バイト)]

16進数 1Bh 3Fh 5Bh <マクロ番号 (3バイト)>



<マクロ番号 (3バイト)>

マクロ番号を指定します。

■範囲 囲：000～255



「2.6.3 マクロ機能」《☞ P.2-51》

(3) マクロの削除

指定したマクロ番号に登録されているマクロデータを削除します。

J I S [ESC] ?] <マクロ番号 (3バイト)>

16進数 1Bh 3Fh 5Dh <マクロ番号 (3バイト)>



<マクロ番号 (3バイト)>

マクロ番号を指定します。

■範囲 囲：000～255



指定したマクロ番号にマクロデータが登録されていない場合、本制御命令は無視されます。



「2.6.3 マクロ機能」《☞ P.2-51》

(4) マクロの追加登録

すでに登録されているマクロ番号のマクロデータに新しいマクロデータを追加して登録します。

J I S **[ESC]** ? & <マクロ番号 (3バイト)>, <バイト数 (5バイト)> (マクロデータ)

16進数 1Bh 3Fh 26h <マクロ番号 (3バイト)> 2Ch <バイト数 (5バイト)> (マクロデータ)



<マクロ番号 (3バイト)>

マクロ番号を指定します。

■範囲 罫：000～255

<バイト数 (5バイト)>

新たに登録するマクロデータのバイト数を指定します。

■範囲 罫：00000～65535

(マクロデータ)

指定したバイト数のマクロデータを送ります。



「2.6.3 マクロ機能」《☞ P.2-51》

マクロの登録**[ESC]** ? = 《☞ P.4-74》

4.4.4 LIPSモードの制御命令

LIPSモードに関する制御命令には、次の2種類の制御命令があります。

(1) LIPS-ヘキサ形式モードの開始

本制御命令を受信した後、以降のデータをヘキサ形式のデータとして処理し、LIPSの制御命令を使用できるようにします（このモードをLIPS-ヘキサ形式モードと呼びます）。

JIS @ @ L ?

16進数 40h 40h 4Ch 3Fh



ヘキサ形式とは、1バイト（8ビット）のデータを示すコード（16進数）を、上位と下位に分けて2バイトの文字形式（アスキーコード）で表します。

LIPS-ヘキサ形式モードでは、LIPSの制御命令、文字コード、および本制御命令を送ったときのエミュレーションモードの制御命令によるANK／漢字の印字モードの変更（プリンタリセット処理による変更も含む）のみ有効になります。したがって、そのほかの本エミュレーションモードの制御命令およびLIPSのバイナリ形式の制御命令は無効になります。

本制御命令を受信すると、印字データがある場合は印字して排紙後、ソフトリセット処理が行われます。さらに、LIPS-ヘキサ形式モードに移行後、パラメータリセット処理が行われます。



ヘキサ形式でデータを送る場合は、メニューのその他グループの「HEX／LIPS機能」で「有効」を設定してください。「無効」の場合はヘキサ形式として扱われません。

LIPS-ヘキサ形式モード時、次のLIPSの制御命令は無視されます。

■コメント表示命令1/2 `[DCS] 0 y [ST]`、`[DCS] y [ST]`

また、LIPS-ヘキサ中は、テキストモードではハード・リセット命令が無視され、VDMモードではソフト・リセット命令とハード・リセット命令がLIPS-ヘキサ形式モードの終了命令となります。

■ハード・リセット命令 `[ESC] c`

■ソフト・リセット命令 `[ESC] <`

LIPS-ヘキサ形式モードは、LIPSのジョブ終了命令が送られた時点で終了します。その後送られる命令などがある場合、文字コードとして印字されます。



ヘキサ形式データの設定@@C? 《☞ P.4-80》

「3.2.7 その他のグループ (2) ヘキサ形式モードを設定する」 《☞ P.3-53》

(2) LIPSモードへの移行

本制御命令を受信した後、N201エミュレーションモードからLIPSモードに移行します。

J I S [ESC] % @

16進数 1Bh 25h 40h



本制御命令を使用する場合は、動作モードメニューで動作モードをN201エミュレーションモードに設定する必要があります。

4.4.5 そのほかの制御命令

そのほか、次の2種類の制御命令があります。

(1) 右マージンの設定

右マージンの位置を設定します。

JIS [ESC] ? M <文字数 (3バイト)>

16進数 1Bh 3Fh 4Dh <文字数 (3バイト)>



<文字数 (3バイト)>

右マージンの位置を指定します。

■単 位：1バイトコードの現在の文字ピッチ (ドット数) × <文字数>

■範 囲：001~999

ただし、3874ドット (160DPI) 以下で設定します。



右マージン位置は、1バイトコード文字 (ANK文字) の現在の文字ピッチに、ここで指定する <文字数> を乗じて求められるドット位置になります。

本制御命令で設定した右マージンの位置は、ページフォーマット (Fmode)、印字領域モード (標準/ワイド)、用紙位置 (左端/中央)、印字幅などによって変わることはありません。

右マージン位置を左マージン位置または、それより左に設定すると左マージン位置が第1文字目に初期化されます。



プロポーションアルモード時は、パイカモード時と同じ文字ピッチとします。

(2) ヘキサ形式データの設定

本制御命令以降に送られる指定バイト数のデータを、ヘキサ形式のデータとして取り扱います。

JIS @ @ C ? <バイト数 (4バイト)> (ヘキサデータ)

16進数 40h 40h 43h 3Fh <バイト数 (4バイト)> (ヘキサデータ)



<バイト数 (4バイト)>

ヘキサ形式データの総バイト数を指定します。

■ 範囲 : 0001~9999

ただし、バイト数は、ヘキサ形式のデータに変換する前のバイナリ形式のデータで計算します (ヘキサ形式のデータはこの値の2倍になります)。



ヘキサ形式データの中に、正しい数値にならない値がある場合、その1バイトは無視されます。

また、本制御命令の制御コードの間に、ほかの制御命令と認識できるコードがあっても、本制御命令の記述内容が正しければ、その制御命令を無視してヘキサ形式モードが設定されます。ただし、本制御命令の記述が間違っている場合は、その制御命令が有効になり、制御命令以外のコードは印字データとして扱われます。

ヘキサ形式データの中に「CR (0Dh)」等他の制御命令と認識できるコードが存在した場合に、そのコード以前のヘキサ形式データを確定したものととして処理します。

また、「@」コード以降512バイト受信しても本制御命令が確定されていない場合は、次の1バイト (513バイト目) を受信した時点で、1バイト目が確定したものととして処理します。



ヘキサ形式でデータを送る場合は、メニューのその他グループの「HEX/LIPS機能」で「有効」を設定してください。「無効」の場合はヘキサ形式として扱われません。



ヘキサ形式 → 「3.2.7 その他のグループ (2) ヘキサ形式モードを設定する」

《 P.3-53 》

付録

N201エミュレーションモードの注意事項、初期の設定状態、サンプルプリントなどを掲載します。
必要に応じてご覧ください。

付録1. N201モードの注意と制限

N201エミュレーションモードでは、エミュレートするPC-PR201/80Aと次のような違いがあります。ご使用にあたり、それぞれの注意と制限事項をよくお読みください。

(1) 解像度の違いについて

ドット列イメージの印字

イメージデータの印字は、LBPシリーズ/iRシリーズとPC-PR201/80Aとの解像度の違いによって、データを拡大して印字します。これによって、PC-PR201/80Aの解像度160dpiの1ドットがLBPシリーズ/iRシリーズの解像度600dpiの3ドットや4ドットに拡大されるため、印字結果が若干異なることがあります。

特に、水平方向と垂直方向の縮小率が異なるページフォーマットでは、横長のイメージになります。

垂直方向の移動とイメージデータ

PC-PR201/80Aでは、イメージの展開の縦方向の解像度が160dpi（1インチあたり160ドット）であるのに対して、改行ピッチは1/120インチ単位になります。このため、ページフォーマットによっては拡大率の関係から1ドット幅のずれが生じることがあります。

矩形罫線と矩形網かけ

LBPシリーズ/iRシリーズとPC-PR201/80Aとの解像度の違いにより、矩形罫線が正しく接続しない場合があります。

文字の印字

文字はフォントデザインの違いにより、印字結果がPC-PR201/80Aとは異なります。

右マージン

本エミュレーションモードでは、印字データが1ドット未満でも右マージン位置を越えた場合、次の行に印字します。

(2) 文字セット・フォントパターンについて

漢字サイズ

標準サイズ以外の漢字を指定した場合、TOF行での印字結果は保証されません。また、現在印字位置は、現在の文字ピッチを基準として移動するため、標準サイズより大きい文字を指定すると文字が重なる場合があります。なお、アンダーラインは、移動量に対して引かれるため、文字幅より短くなる場合があります。

1バイトコード登録文字

1バイトコードの登録文字は、PC-PR201/80Aで印字したときよりも文字が小さくなります。したがって、文字セルいっぱいパターンに登録して印字しても、となりどうしの文字が離れる場合があります。

2バイトコードの未定義領域

2バイトコード（漢字コード）の中で、PC-PR201/80Aでは未定義の領域にLBPシリーズ/IRシリーズ専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字させると、PC-PR201/80Aではスペースになりますが、本エミュレーションモードでは特定の文字パターンが印字されます。

(3) そのほかの制限

領域モード

領域モードが無効なページフォーマット (Fmode 1, 2, 7, 8) のときでも領域モードの設定を変更できます。この場合、ページフォーマットがFmode 3, 4, 6に切り替わったときに設定が有効になります。ただし、どのページフォーマットのときでも、領域モードの設定を変更した時点で印字パラメータのリセット処理が行われます。

用紙位置

用紙位置の設定が無効なページフォーマット (Fmode 3, 4, 6) のときでも用紙位置 (中央/左端) の設定を変更できます。この場合、ページフォーマットがFmode 1, 2, 7, 8に切り替わったときに設定が有効になります。ただし、どのページフォーマットのときでも、用紙位置の設定を変更した時点で印字パラメータのリセット処理が行われます。

用紙の向き

A4サイズおよびB5サイズの用紙は、共通のメニューで設定した用紙の向きによって用紙の送り方向が決まりますが、2ページ印刷およびページ登録中は用紙の送り方向は次のようになります。

- 2ページ印刷ではA4、B5サイズのデータがA3、B4サイズに印刷されるため、つねに横方向送りでページが作成されます。
- ページ登録中は、2ページ印刷に関わらず用紙の向きの設定にしたがって登録ページを作成します。ただし、LIPSの制御命令によるページ登録時は、2ページ印刷が指定されていると用紙の向きの設定に関わらず横方向送りで登録ページが作成されるため、縦方向送りで登録する場合はLIPS側で2ページ印刷の設定を解除する必要があります。

複数のエミュレーション利用時のLIPSの制御命令によるページ登録

登録ページは各エミュレーションモードで共通なため、同一ページ番号に別々の登録を行うことができません。したがって、メニューの「登録レベル」を「永久」に設定してページ登録を行っても、他のモードに切り替えて同一のページに登録を行って、再度N201エミュレーションモードに戻った場合は元の登録内容が失われています。その場合の登録ページの内容は、移行したモードの登録レベルが「永久」の場合はそのモードの登録内容がそのまま残り、「一時」の場合は消去されています。

カラープリンタでのLIPSの制御命令によるページ登録（LBPシリーズのみ）

カラー機能を持つプリンタでLIPSの制御命令によるページ登録を行う場合、共通メニューの「セットアップ」の「印字調整」にある「カラーモード」の設定によって次のようになります。

■「モノクロ」

モノクロで登録したフォームをエミュレーションモードのモノクロオーバーレイフォームとして使用できます。

■「カラー」

メニューの「LIPSフォーム」で「LIPS4」を設定し、カラーで登録したフォームをエミュレーションモードのカラーオーバーレイフォームとして使用できます。

■「自動」

モノクロで登録したフォームをエミュレーションモードのモノクロオーバーレイフォームとして使用できます。

メモリオバー

文字の登録、マクロの登録、オーバーレイ印字のユーザページ、システムページ、複写用紙機能の共通ページ／複写ページの登録を行っているときにメモリが不足すると、『23ダウンロードメモリアル』（iRシリーズは、『23ダウンロードフル』）と表示されます。

この場合、エラースキップの操作を行うと、次のような動作を行います。

■ユーザページ・共通ページ・複写ページ登録時

メモリアルになるまでのデータは登録され、以降の登録終了までのデータを読み飛ばします。

■システムページのページ番号指示によるフォームの登録時

メモリアルになるまでのデータは登録され、以降の登録終了までのデータを読み飛ばします。

■文字の登録・マクロ登録時

登録を終了し、以降の登録終了までのデータを読み飛ばします。

登録中の文字データまたはマクロデータは削除されます。

白紙ページの排紙

本エミュレーションモードでは、ページ内に次の印字データがないと排紙を行いません。

■スペース以外の文字および登録文字

■イメージデータ

■アンダーライン

ただし、次の場合は白紙を排紙します。

■「用紙位置」、「用紙位置微調整」、「上余白」の設定によって、上記を含む印字データが印字範囲を越えた場合

■共通プリント環境の「縦補正」・「横補正」の設定によって、上記を含む印字データが印字範囲を越えた場合

(4) PC-PR201シリーズのDIPスイッチの機能について

PC-PR201シリーズのDIPスイッチで設定できる機能の中で、本エミュレーションモードがサポートしていない機能や設定の意味が異なる機能があります。

本エミュレーションモードでは、PC-PR201HのそれぞれのDIPスイッチの機能を次のように取り扱います。

機能名称	PC-PR201シリーズの場合	N201モードの場合
各国文字の 切り換え	各国文字をDIPスイッチによって設定 できます。	メニューの「国別文字」で設定 できます。
用紙長の 切り換え	用紙長の初期値をDIPスイッチによっ て11インチまたは12インチに設定で きます。	初期値は11インチです。
[DC1] 、 [DC3] コードの処理	オフライン状態で [DC1] ／ [DC3] コー ドを受信します。	オフライン状態で [DC1] ／ [DC3] コードを受信しても無視します。
自動復改の 切り換え	バッファ・フル時の対処をDIPスイッ チによって復帰のみ、または復帰改行 に設定できます。	メニューの「バッファフル」で 設定できます。
印字指令の 切り換え	印字指令の制御コードをDIPスイッ チによって設定できます。	メニューの「印字指令」で設定 できます。
[CR] 機能の 切り換え	[CR] コードを受信したときの処理を DIPスイッチによって設定できます。	メニューの「CR機能」で設定で きます。
数字「0」の 字体の切り換え	DIPスイッチによってゼロの書体を 「0」または「Ø」に設定できます。	メニューの「ゼロ書体」で設定 できます。
ドット対応グラ フィックドット数の 切り換え	DIPスイッチによってネイティブモー ドまたはコピーモードを選択できま す。	メニューの「グラフィック」で 設定できます。
逆方向改行時の用 紙なし検出の切り 換え	DIPスイッチによって有効／無効の切 り換えを選択できます。	LBPシリーズ／iRシリーズでは、 ページを超える逆改行はできま せん。
印字方式の 切り換え	電源オンのときの印字方式をDIPスイ ッチによってHSパイカまたはHDパイ カに設定できます。	HS／HDパイカの区別はありま せん。LBPシリーズ／iRシリー ズは印字速度が速いためドラフ トモードは必要ありません。

機能名称	PC-PR201シリーズの場合	N201モードの場合
7/8ビットデータの切り換え	DIPスイッチによって7ビットコードと8ビットコードの切り換えを選択します。	8ビットコード固定です。
136桁/80桁の切り換え	8インチ×11インチの連続用紙を使用するための機能です。	ページフォーマットFmode 3のワイド領域モードを使用してA4サイズに印字すれば、80文字目に右マージンを設定しているため80文字での自動折り返しが可能です（標準領域モードの右マージンは80文字目ではありません）。
印字方向の切り換え	DIPスイッチによって片方向または両方向に設定できます。	LBPシリーズ/iRシリーズでは、印字方向という概念がありません。
NHS/SHSパイカの切り換え	電源オンのときの印字方式をDIPスイッチによってNHSパイカまたはSHSパイカに設定できます。	NHS/SHSパイカの区別はありません。
メモリスイッチ初期化の切り換え	電源投入時にメモリスイッチの設定内容を初期化するかどうかを設定できます。	リセット処理の操作があるので不要です。
ドット印字モードの印字方向の切り換え	DIPスイッチによって片方向または両方向に設定できます。	LBPシリーズ/iRシリーズでは、印字方向という概念がありません。
ドラフトモードの初期設定	ドットを間引くことにより高速印字を行うモードを設定できます。	ドットを間引いても印字速度に影響しないので必要ありません。

* : NHS (Normal High Speed) パイカは11ドット幅の文字で150文字/秒で印字されます。
SHS (Super High Speed) パイカは9ドット幅の文字で200文字/秒で印字されます。

付録2. 初期状態

N201エミュレーションモードには、LBPシリーズでは8種類、iRシリーズでは6種類のリセット処理があります。

リセット処理が行われると、印字環境などの各種の設定は、メニューの設定に初期化されます。

■電源オン

LBPシリーズ/iRシリーズの電源をオンにしたときに行われるリセット処理です。

すべての印字パラメータおよび登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）が初期化されます。

■ハードリセット処理（iRシリーズ：プリンタ初期化）

操作パネルのキー操作でハードリセット処理（プリンタ初期化）を行います。

このリセット処理では、電源オンのときと同等の処理が行われます。

すべての印字パラメータおよび登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）が初期化されます。

■ソフトリセット処理（iRシリーズ：プリント中止）

操作パネルのキー操作でソフトリセット処理（プリント中止）を行います。

すべての印字パラメータが初期化されます。登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）は、メニューの「登録レベル」が「一時」に設定されている場合のみ初期化されます。

■インプットプライム信号受信によるリセット処理（1）（LBPシリーズのみ）

セットアップメニューの共通プリント環境にある「インプットプライム」が「リセット」*に設定されている場合に、インプットプライム信号を受信し、リセット処理が行われます。現在作成中のページおよび受信データを破棄し、すべての印字パラメータが初期化されます。登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）は、メニューの「登録レベル」が「一時」に設定されている場合のみ初期化されます。

*：セットアップメニューの「拡張機能」→「インタフェース」→「セントロニクス設定」→「インプットプライム」で設定できます。

■ジョブ終了時のソフトリセット処理

一連の印刷処理（ジョブ）が終了した時点でリセット処理が行われます。

次のようなとき、ジョブが終了したとみなされます。

- 排紙操作を行ったとき
- ジョブタイムアウトになったとき*
- LIPSモードに切り換わる制御命令を受信したとき

現在作成中のページを排紙し、一部の印字パラメータが初期化されます。登録データ（登録文字、ユーザページのフォーム、マクロなどのデータ）は、メニューの「登録レベル」が「一時」に設定されている場合のみ初期化されます。なお、LIPSの制御命令によるユーザページの登録に切り替わる場合は、「登録レベル」の設定に関わらずユーザページのフォーム登録文字は保持されます。

*：「タイムアウト」の設定で自動ジョブ終了時間を設定している場合、ジョブ終了命令を受信しなくても一定時間が過ぎるとジョブが終了します。

■インプットプライム信号受信によるリセット処理（2）（LBPシリーズのみ）

セットアップメニューの共通プリント環境にある「インプットプライム」が「動作モードイゾン」*に設定されている場合に、インプットプライム信号を受信し、リセット処理が行われます。

現在作成中のページを排紙し、一部の印字パラメータが初期化されます。

*：セットアップメニューの「拡張機能」→「インタフェース」→「セントロニクス設定」→「インプットプライム」で設定できます。

■PC-PR201／80Aのリセット命令によるソフトリセット処理

PC-PR201／80Aの制御命令「LBPシリーズ／iRシリーズのリセット処理[ESC] c 1」を受信し、リセット処理が行われます。
一部の印字パラメータが初期化されます。

■LBPシリーズ／iRシリーズ専用命令によるパラメータリセット処理

LBPシリーズ／iRシリーズ専用命令を実行すると、リセット処理が行われます。
一部の印字パラメータが初期化されます。

■リセット処理とメニューの設定値

設定項目		電源オン ハードリセット ソフトリセット インプットタイム ¹⁾²⁾	ジョブ終了	インプットタイム ²⁾²⁾	PC-PR201 制御命令	LBPシリーズ /iRシリーズ 専用命令
ページレイアウト	ページフォーマット	メニューの設定値 *1	保持	保持	保持	保持
	用紙位置					
	上余白					
	用紙位置微調整					
	領域					
	右マージン既定値					
	用紙サイズ					
	2ページ印刷設定					
行桁固定	行固定機能					
	桁固定機能					
	行数					
	桁数					
	漢字ピッチ					
フォント	漢字書体					
	フォントID					
	漢字サイズ					
	OCR文字 (iRシリーズ: OCRフォント)					
	ゼロ書体					
	国別文字					
	漢字グラフィックセット					
印字機能	イメージの補正					
	外字サイズ					
	グラフィック					
	システムオーバーレイ					
	スタートアップマクロ					
	ユーザオーバーレイ1 (iRシリーズ: ユーザオーバーレイ1設定)					
	ユーザオーバーレイ2 (iRシリーズ: ユーザオーバーレイ2設定)					

設定項目		電源オン ハードリセット ソフトリセット インプットタイム ^{1*2}	ジョブ終了	インプットタイム ^{2*2}	PC-PR201 制御命令	LBPシリーズ /iRシリーズ 専用命令
印字動作	HEXモード後の[LF] (iRシリーズ：HEX後の改行無視)	メニューの設定値 *1				
	[CR]機能					
	印字指令					
	バッファフル					
VFC	改行幅					
	単票用紙長機能					
	用紙長機能					
	用紙長設定					
	ミシン目スキップ					
その他	登録レベル	保 持				
	HEX/LIPS機能					
	LIPSフォーム					

*1：アプリケーションソフトウェアなどで変更されている設定項目がすべてメニューの設定値に戻ること示します。

*2：LBPシリーズのみ。

■リセット処理とPC-PR201/80Aの設定値

設定項目	電源オン ハードリセット ソフトリセット インプットタイム ^{*4}	ジョブ終了	インプットタイム ^{*4}	PC-PR201 制御命令	LBPシリーズ /iRシリーズ 専用命令
	ページ長	設定・用紙などに依存 ^{*1}		保持	設定・用紙などに依存
ボトム領域	メニューの設定値 ^{*2}		保持	メニューの設定値 ^{*2}	
垂直タブ位置	チャンネル2：6行ごとにセット チャンネル3～6：クリア		保持	チャンネル2：6行ごとにセット チャンネル3～6：クリア	
左マージン位置	1				
右マージン位置	ページフォーマット、印字領域モード、用紙サイズに依存				
水平タブ位置	なし				
改行ピッチ	メニューの設定値				
キャラクタモード	カタカナモード				
ANK/漢字種別	ANK	保持/ANK ^{*3}	ANK	ANK	保持
印字方式 (ANK)	パイカモード				
印字方式 (漢字)	横書き				
改行方向	順方向				
文字拡大モード	解除				
強調文字モード	解除				
アンダーラインモード	解除				
半角漢字縦印字モード	解除				
半角漢字の2文字構成 縦印字モード	解除				
漢字文字ピッチ	3/20インチ				
スクリプト文字モード	解除				
登録文字の印字モード	内字				
文字の拡大指定文字	解除				

*1：詳細は「ページ長の初期状態」を参照。《 P. app.18》

*2：ページ長≦ボトム領域の場合は、ミシン目スキップは0とみなされます。

*3：メニューの「登録レベル」が「永久」なら保持し、「一時」ならANKになります。《 P.3-52》

*4：LBPシリーズのみ。

設定項目		電源オン ハードリセット ソフトリセット インプットタイム ^{*1}	ジョブ終了	インプットタイム ²⁾	PC-PR201 制御命令	LBPシリーズ /iRシリーズ 専用命令
P C - P R 2 0 1 / 8 0 A	漢字文字サイズ	10.5ポイント				
	2文字構成縦印字モード	解 除				
	横罫線モード	解 除				
	横罫線の高さ	24ピン				
	縦罫線の高さ	24ピン				
	文字修飾	解 除				
	縦縮小文字の印字位置	下付き				
	固定ドットスペース	左：0, 右：0				
	フォーマットモード	解 除				
	ラインの太さ	2ドット				

*1：LBPシリーズのみ。

■リセット処理とLBPシリーズ/iRシリーズ専用命令の設定値

設定項目		電源 オン ハードリセット ソフトリセット インプットブライム ¹ ²	ジョブ終了	インプットブライム ² ²	PC-PR201 制御命令	LBPシリーズ /iRシリーズ 専用命令
iRシリーズ LBPシリーズ 専用命令	漢字文字ピッチ	3/20インチ				
	右マージン位置	ページフォーマット、印字領域モード、用紙サイズに依存 *1				
	ANK文字サイズ	ページフォーマットに依存				
	ヘキサ形式モード	解除			保持	

*1：詳細は「右マージンの初期状態」を参照。〈 P. app.18〉

*2：LBPシリーズのみ。

■リセット処理と受信データ・登録データ

設定項目		電源 オン	ハードリセット	インプットブライム ¹ ⁵ ソフトリセット	ジョブ終了	PC-PR201制御命令 LBPシリーズ /iRシリーズ 専用命令 インプットブライム ² ⁵
受信・登録データ	文字の登録(2バイトコード)	クリア		クリア/保持 *1		保持
	文字の登録(1バイトコード)	クリア		クリア/保持 *1		保持
	ユーザページの登録	クリア		クリア/保持 *1		保持
	複写ページの登録	クリア		クリア/保持 *1		保持
	マクロ登録	クリア		クリア/保持 *1		保持
	ページバッファ	クリア			印字 *2	印字 *3
	行メモリ内の未印字データ	クリア				クリア *4
	現在の印字位置	最左端相当位置				

*1：メニューの「登録レベル」が「永久」なら保持し、「一時」ならクリアされます。〈 P.3-52〉

ただし、LIPSの制御命令（ページ登録開始やLIPS-ヘキサ形式モードの開始による一時的なジョブ終了時は「登録レベル」にかかわらず保持されます。

*2：ジョブ終了までのデータを実行し、ページバッファを印字して排紙します。

*3：インプットブライム2、PC-PR201/80AおよびLBPシリーズ/iRシリーズ専用の制御命令によるリセットを受信した時点で、直前の印字開始命令までのデータを印字し、排紙します。

*4：LBPシリーズ/iRシリーズ専用命令のときだけ、印字されます。

*5：LBPシリーズのみ。

■N201エミュレーションモードのメニューの初期状態

グループ	設定項目	工場出荷時の設定状態	
		LBPシリーズ	iRシリーズ
ページレイアウト	ページフォーマット	ジッスタテ	実寸縦
	用紙位置	チュウオウ	中央
	上余白	+000	0
	用紙位置微調整	+000	0
	領域	ヒョウジュン	標準
	右マージン既定値	136ケタ	136桁
	用紙サイズ	カレントヨウシ	カレント用紙
	2ページ印刷設定	シナイ	しない
行桁固定	行固定機能	ムコウ	無効
	桁固定機能	ムコウ	無効
	行数	66ギョウ	66行
	桁数	136ケタ	136桁
	漢字ピッチ	2/1	2/1
フォント	漢字書体	ミンチョウ	明朝
	フォントID	002	2
	漢字サイズ	システム	システム
	OCR文字 (iRシリーズ: OCRフォント)	シヨウセズ	使用せず
	ゼロ書体	0	斜線なしゼロ
	国別文字	ニホン	日本
	漢字グラフィックセット	JIS78	JIS78
印字機能	イメージの補正	シナイ	しない
	外字サイズ	10.8ポイント	10.8ポイント
	グラフィック	ネイティブ	ネイティブ
	システムオーバーレイ	オフ	システムオーバーレイ設定: しない オーバーレイ番号: 1
	スタートアップマクロ	0	0
	ユーザオーバーレイ1 (iRシリーズ: ユーザオーバーレイ1設定)	オフ	しない
	ユーザオーバーレイ2 (iRシリーズ: ユーザオーバーレイ2設定)	オフ	しない

グループ	設定項目	工場出荷時の設定状態	
		LBPシリーズ	iRシリーズ
印字動作	HEXモード後の[LF] (iRシリーズ: HEX後の改行設定)	ムシスル	無視する
	[CR]機能	フッキノミ	復帰のみ
	印字指令	[CR]ノミ	[CR]のみ
	バッファフル	フッキ/カイギョウ	復帰/改行
VFC	改行幅	6LPI	6lpi
	単票用紙長機能	ムコウ	無効
	用紙長機能	ムコウ	無効
	用紙長設定	66ギョウ	66行
	ミシン目スキップ	0ギョウ	0行
その他	登録レベル	イチジ	一時
	HEX/LIPS機能	ムコウ	無効
	LIPSフォーム	LIPS2	LIPS2

■ページ長の初期状態

リセット処理が行われたときのページ長の初期値は、ページフォーマット、領域モード、初期状態で有効になるページ長の設定（用紙長機能）によって次のようになります。

ページフォーマット	領域	用紙長機能	ページ長
Fmode 1	—	無効	66行 (6lpi)
Fmode 2		有効	メニューの「用紙長設定」の設定値
Fmode 3	標準	無効	66行 (6lpi)
Fmode 4		有効	メニューの「用紙長設定」の設定値
Fmode 6	ワイド	無効	用紙サイズに依存
		有効	メニューの「用紙長設定」の設定値
Fmode 7	—	無効	66行 (6lpi)
Fmode 8		有効	メニューの「用紙長設定」の設定値

インプットプライム2（LBPシリーズのみ）のときは、「用紙長機能」の設定に関係なくつねに「用紙長設定」の設定値のページ長になります。

■右マージンの初期状態

リセット処理が行われたときの右マージン位置の初期値は、ページフォーマット、用紙位置、領域モード、および右マージン位置の設定（右マージン既定値）によって次のようになります。

ページフォーマット	用紙位置	領域	右マージン既定値	右マージン位置
Fmode 1 Fmode 2	中央	—	—	136桁目（パイカモード）
	左端	—	136桁	136桁目（パイカモード）
		—	用紙右端	用紙サイズに依存
Fmode 3 Fmode 4 Fmode 6	—	標準	—	136桁目（パイカモード）
		ワイド	—	用紙サイズに依存
Fmode 7 Fmode 8	中央	—	—	136桁目（パイカモード）
	左端	—	—	用紙サイズに依存

付録3. N201ステータスプリント

N201ステータスプリントのプリントサンプル

N 2 0 1 ステータス プリント R1.00

メニュー項目		登録状態
項	目	
ページ レイアウト	ページフォーマット	実寸設置
	用紙位置	中央印字
	上余白	0
	用紙位置調整	0
	領域	標準
	右マージン既定値	136桁
桁固定	用紙サイズ	カレント用紙
	2ページ印刷設定	使用しない
	行固定の選択	無効
	桁固定の選択	無効
フォント	固定行数	66
	固定桁数	136
	漢字ピッチ	2/1倍
	漢字書体の選択	明朝
	フォントID	使用しない
	漢字サイズ	システム設定
印字機能	OCRフォントの選択	使用せず
	ゼロ書体(1バイト系)	解除無し
	国別文字	日本
	漢字グラフィックセット	J I S 7 8
	イメージの補正	しない
印字動作	外字サイズ	10.8ポイント
	グラフィック	ネイティブ
	システムオーバーレイ	オフ
	スタートアップマクロ番号指示	0
	ユーザオーバーレイ1	オフ
その他	ユーザオーバーレイ2	オフ
	HEXモード後の改行	LF無視する
	CR機能	復帰のみ
	印字指令	CRのみ
VFC	バッファフル	復帰/改行
	改行幅	6 L P I
	単票用紙長機能	無効
	用紙長機能	無効
その他	用紙長設定	66行
	ミシン目スキップ	0行
	登録レベル	一時登録
その他	HEX/LIPS機能	無効
	LIPSフォーム	LIPS2

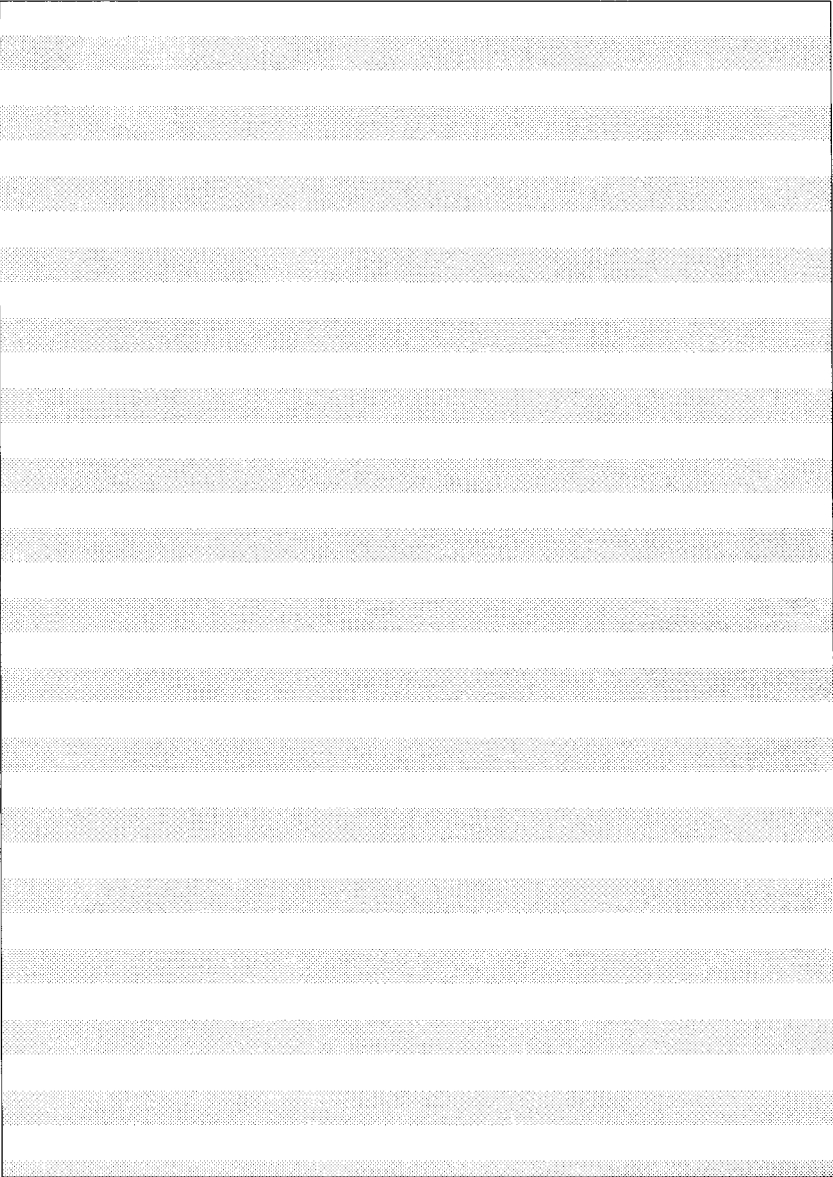
0 1 R1.00/TYS004B/06.33

付録4. 内蔵フォームの印字サンプル

(1) ページ1

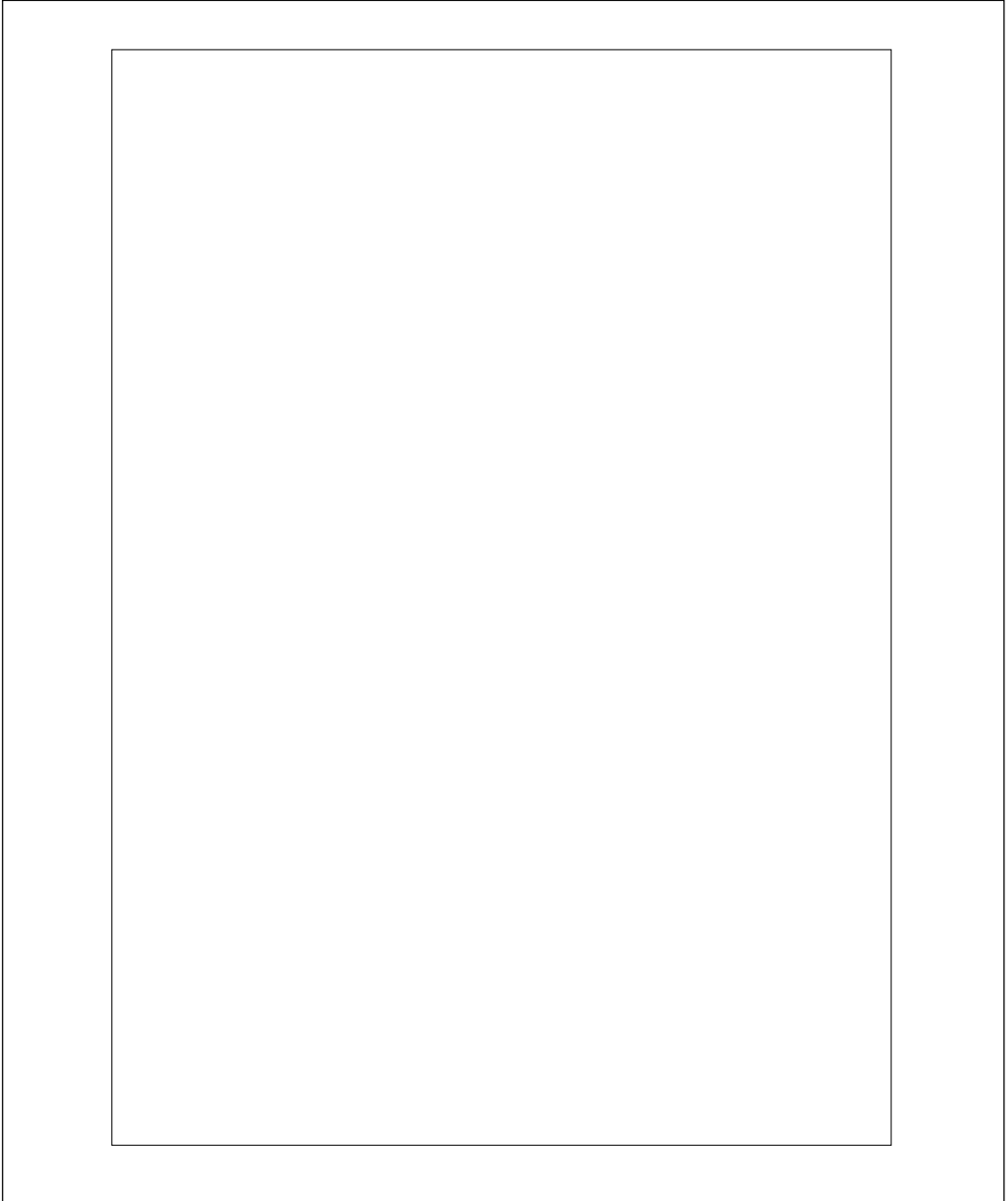
The image shows a large rectangular area containing a sample of a form. The form consists of multiple rows of horizontal lines, each row having a solid top line, a dotted midline, and a solid bottom line, providing a template for text entry.

(2) ページ 2



付録

(3) ページ 3

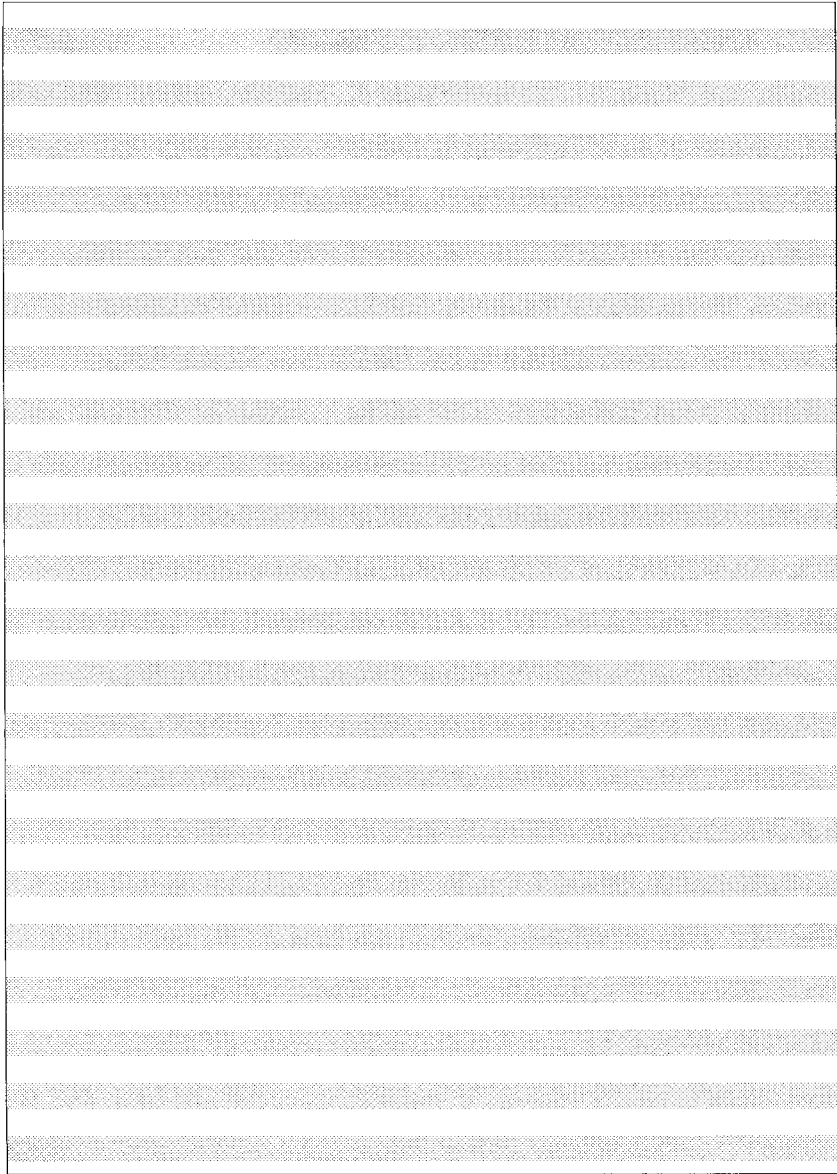


付録

(4) ページ 4

The image shows a large rectangular frame containing a series of horizontal lines for writing. Each line set consists of a solid top line, a dotted midline, and a solid bottom line. There are 12 such sets of lines stacked vertically within the frame.

(5) ページ 5



付録

付録5. コード表

(1) 1バイトコード表

本エミュレーションモードは、8ビットの文字コードにのみ対応しています。

■カタカナモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	`	p	一	上	一	タ	ミ	三	×		
1		!	1	A	Q	a	q	一	上	ア	チ	ム	ト	円		
2		"	2	B	R	b	r	一	上	イ	ツ	メ	ト	年		
3		#	3	C	S	c	s	一	上	ウ	テ	モ	ト	月		
4		\$	4	D	T	d	t	一	上	エ	ト	ヤ	ト	日		
5		%	5	E	U	e	u	一	上	オ	ナ	ユ	ト	時		
6		&	6	F	V	f	v	一	上	カ	ニ	ヨ	ト	分		
7		'	7	G	W	g	w	一	上	キ	ヌ	ラ	ト	秒		
8		(8	H	X	h	x	一	上	ク	ネ	リ	ト			
9)	9	I	Y	i	y	一	上	ケ	ノ	ル	ト			
A		*	:	J	Z	j	z	一	上	コ	ハ	レ	ト			
B		+	;	K	[k	{	一	上	サ	ヒ	ロ	ト			
C		,	<	L	¥	l		一	上	シ	フ	ワ	ト			
D		-	=	M]	m	}	一	上	ス	ヘ	ン	ト			
E		.	>	N	^	n	~	一	上	セ	ホ	ト				
F		/	?	O	_	o	+	一	上	ソ	マ	ト				

■ひらがなモード

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			0	@	P	`	p	一	上	一	た	み	三	×		
1		!	1	A	Q	a	q	一	上	あ	ち	む	ト	円		
2		"	2	B	R	b	r	一	上	い	つ	め	ト	年		
3		#	3	C	S	c	s	一	上	う	て	も	ト	月		
4		\$	4	D	T	d	t	一	上	え	と	や	ト	日		
5		%	5	E	U	e	u	一	上	お	な	ゆ	ト	時		
6		&	6	F	V	f	v	一	上	か	に	よ	ト	分		
7		'	7	G	W	g	w	一	上	あ	き	ぬ	ト	秒		
8		(8	H	X	h	x	一	上	い	く	ね	リ	ト		
9)	9	I	Y	i	y	一	上	け	の	る	ト			
A		*	:	J	Z	j	z	一	上	え	こ	は	レ	ト		
B		+	;	K	[k	{	一	上	お	さ	ひ	ろ	ト		
C		,	<	L	¥	l		一	上	や	し	ふ	わ	ト		
D		-	=	M]	m	}	一	上	ゆ	す	へ	ん	ト		
E		.	>	N	^	n	~	一	上	よ	せ	ほ	ト			
F		/	?	O	_	o	+	一	上	そ	ま	ト				

(2) 2バイトコード表

■半角文字コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
20	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	,	-	.	/	
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[¥]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}	~	
80	。	「	」	、	・	を	あ	い	う	え	お	や	ゆ	よ	っ	
90	-	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
A0	。	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ッ	
B0	-	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
C0	夕	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	°	
E0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	°	

■漢字コード表 (JIS第一水準 準拠)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F	
21	、	。	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	、	
22	◆	■	□	△	▲	▽	▼	※	→	←	↑	↓	⇒	⇐	⇑	⇓	⇒	⇐	⇑	⇓	⇒	⇐	⇑	⇓	⇒	⇐	⇑	⇓	⇒	⇐	⇑	⇓
23	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X	XI	XII	XIII	XIV	XV	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8
24	あ	い	う	え	お	か	が	き	く	け	こ	さ	ざ	し	じ	ず	ぜ	そ	ぞ	た												
25	ア	アイ	イ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	キ	ク	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ				
26	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π	P	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω								
27	A	B	Γ	Δ	E	È	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э		
28																																
29	!	"	#	\$	%	&	'	()	*	+	.	-	/	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	:	<	=	>	?		
2A	「	」	、	・	ヲ	ア	イ	ウ	エ	オ	ヤ	ユ	ヨ	ッ	-	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ		
2B	"	"	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
2C																																
2D	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲	⑳	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII	IX	X		
2E	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	
2F																																
	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
21	~	~			'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	'	
22	U	∩									∧	∨	→	⇒	⇐	⇑	⇓	⇔	⇕	⇖	⇗	⇘	⇙	⇚	⇛	⇜	⇝	⇞	⇟	⇠	⇡	
23	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z						
24	だ	ち	つ	つ	つ	つ	つ	て	ど	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	び	び	び	ぶ	ぶ	ぶ	べ	べ	べ	ほ	ぼ	ぼ	ま	み	
25	ダ	チ	ツ	ツ	ツ	ツ	テ	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	バ	ビ	ビ	ビ	ブ	ブ	ブ	ベ	ベ	ベ	ホ	ボ	ボ	マ	ミ		
26	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω								
27	Ю	Я																														
28																																
29	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[]	^	_	
2A	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	ビ	ブ	ヘ	ホ	マ	ミ	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	フ	
2B	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	
2C	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	
2D	ミリ	キロ	ギガ	テラ	ペタ	エクサ	ゼタ	エタ	ヨタ	セタ	ヘタ	テタ	ペタ	エクサ	ゼタ	エタ	ヨタ	セタ	ヘタ	テタ	ペタ	エクサ	ゼタ	エタ	ヨタ	セタ	ヘタ	テタ	ペタ	エクサ	ゼタ	
2E																																
2F																																
	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E	
21	÷	=	≠	<	>	≥	≤	∞	∴	∵	∶	∷	∸	∹	∺	∻	∼	∽	∾	∿	⊂	⊃	⊄	⊅	⊆	⊇	⊈	⊉	⊊	⊋		
22	∇	≡	≡	≡	≡	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	∞	
23	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z						
24	む	め	ち	や	や	ゆ	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ	わ	ゑ	を	ん													
25	ム	メ	チ	ヤ	ヤ	ユ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ	ヱ	ヲ	ン														
26	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	Ⓕ	Ⓖ	Ⓗ	Ⓘ	Ⓚ	Ⓛ	Ⓜ	Ⓝ	Ⓟ	Ⓡ	Ⓢ	Ⓣ	Ⓤ	Ⓥ	Ⓦ	Ⓧ	Ⓨ	Ⓩ	ⓐ	ⓑ	ⓓ	ⓔ	ⓖ	ⓗ	ⓙ		
27	o	π	p	c	t	y	φ	x	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э	ю	я	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii	ix	x		'	"	
28	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	≡	
29	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{		}			
2A	キ	エ	リ	ハ	ケ	ガ	ギ	グ	ゴ	サ	ジ	ズ	ゼ	ゾ	ダ	チ	ツ	テ	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	ビ	ブ	ヘ	ホ	ボ	
2B	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	
2C	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	†	
2D	"	"	No	KK	TEL	ⓞ	ⓟ	ⓠ	ⓡ	ⓢ	ⓣ	ⓤ	ⓥ	ⓦ	ⓧ	ⓨ	ⓩ	⓪	⓫	⓬	⓭	⓮	⓯	⓰	⓱	⓲	⓳	⓴	⓵	⓶	⓷	
2E																																
2F																																

付録

■漢字コード表 (JIS第一水準 準拠)

21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F		
30	垂	唾	哇	阿	哀	爰	埃	始	逢	葵	茜	穉	雨	握	渥	旭	葦	鱒	梓	庄	幹	扱	宛	妯	妯	妯	鮎	綯	綾	結	或	
31	院	陰	隱	韻	吋	右	烏	鴉	羽	迂	雨	鴉	沖	億	屋	確	白	渦	噓	嘔	嘔	乙	尪	恩	恩	恩	瓜	閏	罇	云	運	
32	押	旺	橫	歐	殿	王	翁	皆	鴉	鷺	開	階	貝	凱	外	咳	憶	臆	桶	吐	乙	尪	恩	恩	恩	瓜	閏	罇	化	佞	何	
33	魁	晦	械	海	灰	界	給	皆	鷺	鷺	開	階	貝	凱	外	咳	憶	臆	桶	吐	乙	尪	恩	恩	恩	瓜	閏	罇	化	佞	何	
34	粥	刈	苜	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勸	勸	喚	堪	姦	完	官	寬	干	騎	鬼	干	患	感	儀	儀	宜	該	該	該	該	該	
35	機	婦	綬	兒	競	共	祈	季	稀	紀	微	規	境	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	
36	供	侯	僑	兇	競	共	祈	季	稀	紀	微	規	境	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	強	
37	窟	窟	查	靴	轡	隄	限	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	梁	
38	檢	樞	牽	犬	獻	研	視	綱	果	肩	見	謙	軒	遣	鍵	陰	頭	驗	驗	驗	驗	驗	驗	驗	驗	驗	驗	驗	驗	驗	驗	
39	后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	巧	巷	幸	庚	康	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	晃	晃	晃	晃	晃	晃	晃	晃	晃	
3A	此	頃	今	困	坤	壘	婚	恨	懇	昏	昆	根	混	痕	紺	艮	昏	昏	昏	昏	昏	昏	昏	昏	昏	昏	昏	昏	昏	昏	昏	
3B	察	抄	撮	擦	札	殺	薩	薩	臯	鯖	剔	鮫	血	晒	三	傘	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	山	
3C	次	宗	滋	州	修	拾	秀	而	秋	終	繡	習	吳	夕	鹿	式	衆	雙	雙	雙	雙	雙	雙	雙	雙	雙	雙	雙	雙	雙	雙	
3D	勝	匠	升	召	哨	唱	嘗	唱	委	媚	宵	將	小	少	尚	庄	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	
3E	匠	勝	升	召	哨	唱	嘗	唱	委	媚	宵	將	小	少	尚	庄	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	廠	
3F	植	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖	殖
40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F	
30	粟	恰	安	庵	按	暗	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	闇	
31	雲	往	餌	叢	營	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	嬰	
32	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	伽	
33	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	垣	
34	汗	漢	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	潤	
35	祇	鏡	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	
36	鏡	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	響	
37	契	形	徑	惠	慶	慧	聰	揚	携	携	携	携	携	携	携	携	携	携	携	携	携	携	携	携	携	携	携	携	携	携	携	
38	言	謔	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	孤	孤	孤	孤	孤	孤	孤	孤	孤	孤	孤	孤	孤	孤	孤	孤	孤	孤	孤	
39	浩	港	溝	挫	債	硬	穉	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	紅	
3A	綵	坐	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	
3B	酸	餐	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	斬	
3C	疾	質	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	
3D	柔	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	洪	
3E	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	樺	
3F	神	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	素	
60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E		
30	萎	衣	謂	違	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延	延		
31	園	奄	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴	宴		
32	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	迦	
33	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	櫃	
34	巖	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩	玩		
35	朽	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲	汲		
36	謹	劇	近	金	吟	銀	九	俱	句	穴	決	決	決	決	決	決	決	決	決	決	決	決	決	決	決	決	決	決	決	決		
37	劇	午	擊	吾	娛	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	御	
38	伍	香	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮		
39	項	香	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮		
3A	材	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪	罪		
3B	死	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏	氏		
3C	酌	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉	餉		
3D	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	準	
3E	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	鉦	
3F	逗	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹	吹		

付録

■漢字コード表 (JIS第一水準 準拠)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F		
40	澄	摺	寸	世	瀨	歎	凌	踐	制	勢	姓	征	性	政	整	星	晴	棲	正	清	牲	盛	精	聖	声	製	西	誠					
41	織	羨	腺	外	船	薦	詮	賤	賤	選	遷	錢	閃	鮮	前	善	漸	族	全	禪	膳	糧	增	咀	措	會	曾	楚					
42	臧	藏	贈	造	促	側	則	息	則	捉	束	測	速	俗	屬	賊	統	旦	探	其	崩	孫	尊	損	村	遜	他	多					
43	卍	但	達	辰	奪	脫	巽	訛	汕	棚	谷	狸	樽	誰	丹	單	嘆	担	探	旦	歎	淡	炭	短	端	綻	朕	朕					
44	帖	帳	釘	弔	張	影	微	挑	暢	朝	潮	笛	聽	徹	腸	蝶	導	調	典	超	跳	跳	展	頂	鳥	勅	抄	直	朕				
45	郵	董	藤	籜	討	膳	豆	踏	逃	透	鏡	陶	騰	鬪	動	同	堂	導	懂	洞	瞳	童	洞	添	纏	甜	帖	軫	軾				
46	如	尿	韭	任	妊	忍	認	濡	祿	寧	葱	貓	熱	年	念	捻	燃	粘	乃	廼	之	嬰	惱	濃	納	能	腦	膿	膿				
47	函	箱	裕	箸	匹	髭	彥	膝	肌	肘	病	必	筆	筆	逼	松	媛	紐	伐	嬰	嬰	嬰	嬰	併	併	併	併	併	併				
48	鼻	椋	稗	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋	疋			
49	福	腹	複	覆	淵	弗	拂	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛	佛			
4A	法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	衰	訪	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇	邇				
4B	漫	論	輸	唯	佑	優	勇	友	密	悠	憂	摺	有	猶	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂				
4C	痲	裏	裡	里	離	陸	率	律	立	律	掠	略	流	溜	琉	留	疏	漏	粒	隆	龍	侶	慮	慮	慮	慮	慮	慮	慮				
4D	連	連	鍊	呂	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯	魯			
4E	4F	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
40	誓	請	逝	醒	青	靜	齊	稅	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	折	設		
41	狙	疏	疎	礎	祖	粗	素	祖	蘇	訴	阻	甌	鼠	僧	創	雙	叢	叢	叢	叢	壯	奏	爽	屠	屠	屠	屠	屠	屠	屠	屠	屠	
42	太	汰	汰	唾	墮	妥	擘	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	榨	
43	胆	誕	蛋	鍛	陳	壇	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	
44	沈	珍	賃	鎮	陳	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	墜	
45	点	伝	殿	殿	田	電	瓦	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	度	土	奴	怒	倒	竟	冬		
46	得	德	洗	特	督	禿	篤	獨	誦	榜	橡	凸	突	戩	芭	馬	俳	煩	頰	飯	挽	晚	番	盤	臂	蕃	蜜	匪	卑	否	妃		
47	農	視	蚤	巴	把	播	霸	把	派	琶	破	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	芭	
48	叛	帆	搬	斑	板	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	汎	
49	廟	描	病	秒	苗	鉅	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	蒜	
4A	弊	棒	並	肪	膨	謀	貿	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	質	
4B	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	免	棉	綿	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	麵	
4C	營	輿	預	備	幼	妖	庸	揚	搖	擁	曜	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	樣	
4D	察	料	梁	涼	獺	療	稜	糧	良	諒	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	遼	
4E	論	倫	和	話	歪	賄	惑	惑	粹	鷺	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	互	
4F	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E		
40	窃	節	說	雪	絕	舌	蟬	仙	先	千	占	宣	尖	川	戰	扇	撰	揅	梅	泉	洗	洗	洗	洗	洗	洗	洗	洗	洗	洗	洗		
41	操	曹	菓	檜	槽	代	台	中	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第	第		
42	退	逮	隊	黛	鯛	着	台	仲	宙	忠	抽	昼	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注		
43	逐	秩	窒	茶	嫡	着	台	仲	宙	忠	抽	昼	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注	注		
44	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	庭	庭	庭	庭	庭	庭	庭	庭	庭	庭	庭	庭	庭	庭	庭	庭	庭	庭	庭		
45	凍	刀	唐	塔	塘	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	套	
46	奈	那	內	乍	風	雍	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	謎	
47	模	煤	屏	批	陪	陪	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	
48	披	悲	屏	批	陪	陪	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	這	
49	斧	普	浮	父	符	腐	膚	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫	武	舞	葡	非	無	部	封	楓	風	葦	菴	伏	副	復	幅	服		
4A	圃	捕	步	甫	補	輔	募	墓	慕	戊	暮	母	毋	菩	做	俸	包	呆	報	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉	奉		
4B	摩	磨	魔	麻	埋	昧	枚	每	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	哩	
4C	尤	辰	初	貴	問	悶	紋	鬥	勿	也	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	
4D	沃	浴	翌	翼	淀	羅	裸	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來	來		
4E	類	令	伶	例	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	洽	
4F	レ	0	ni	√	了	ni	㊦	㊧	㊨	㊩	㊪	㊫	㊬	㊭	㊮	㊯	㊰	㊱	㊲	㊳	㊴	㊵	㊶	㊷	㊸	㊹	㊺	㊻	㊼	㊽	㊾		

付録

■漢字コード表 (JIS第二水準 準拠)

	21	22	23	24	25	26	27	28	29	2A	2B	2C	2D	2E	2F	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	3A	3B	3C	3D	3E	3F
70	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟	陟
71	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛	顛
72	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻	髻
73	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝	鵝
74	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯	堯
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															

	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	4A	4B	4C	4D	4E	4F	50	51	52	53	54	55	56	57	58	59	5A	5B	5C	5D	5E	5F
70	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	霽	
71	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	饒	
72	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	
73	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	
74																																
75																																
76																																
77																																
78																																
79																																
7A																																
7B																																
7C																																
7D																																
7E																																

	60	61	62	63	64	65	66	67	68	69	6A	6B	6C	6D	6E	6F	70	71	72	73	74	75	76	77	78	79	7A	7B	7C	7D	7E
70	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋	韋
71	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪	驪
72	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾	鍾
73	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽	徽
74																															
75																															
76																															
77																															
78																															
79																															
7A																															
7B																															
7C																															
7D																															
7E																															

付録

索引

【数字・アルファベット】

0 (ゼロ) 書体	3-30
2ページ印刷機能	2-60
2ページ印刷機能の設定	3-19
CR機能	3-43
Fmode 1	2-10
Fmode 2	2-12
Fmode 3	2-13
Fmode 3のワイド領域	2-26
Fmode 4	2-15
Fmode 4のワイド領域	2-28
Fmode 6	2-17
Fmode 6のワイド領域	2-29
Fmode 7	2-19
Fmode 8	2-22
HEX/LIPS機能	3-53
LIPSフォーム	3-55
OCR文字	3-28
VFCグループ	3-46

【い】

イメージの補正	3-33
印字機能グループ	3-33
印字指令	3-44
印字動作グループ	3-42
印字領域の右端	2-40
印字領域の下端	2-38
印字領域の左端	2-36
印字領域の上端	2-34
印字領域モード	3-16

【う】

上余白3-11

【え】

エミュレーションモードの初期値app.8

【か】

改行幅3-46

外字サイズ3-34

拡張機能2-41

カット紙2-2

漢字グラフィックセット3-32

漢字サイズ3-27

漢字書体3-25

漢字比率2-56

漢字ピッチ3-24

【き】

行桁固定機能2-55

行桁固定グループ3-20

行数3-22

行数固定機能3-20

共通ページ2-47

【く】

国別文字3-31

グラフィック3-36

【け】

桁固定機能3-21

桁数3-23

【さ】

左端印字モード2-3

【し】

システムページ	2-42
システムページのオーバーレイ印字	3-37
初期状態	app.8

【す】

スタートアップマクロ	3-39
ステータスプリント	app.19

【そ】

ソフトリセット処理	app.8
-----------------	-------

【た】

単票用紙長機能	3-47
---------------	------

【ち】

中央印字モード	2-3
---------------	-----

【と】

動作モード	1-5
登録レベル	3-52

【は】

ハードリセット処理	app.8
バッファフル	3-45

【ひ】

標準領域モード	2-5, 2-26
左開き	2-60

【ふ】

フォントID	3-26
フォントグループ	3-25
複写ページ	2-47

複写用紙機能	2-47
--------------	------

【へ】

ヘキサ形式モード後の改行無視の指定	3-42
ページオーバーレイ機能	2-41
ページフォーマット	2-5
ページフォーマットの種類	2-9
ページフォーマットの選択	3-7
ページレイアウトグループ	3-7

【ま】

マクロ機能	2-51
マクロ番号	2-51

【み】

右開き	2-60
右マージン既定値	3-17
ミシン目スキップ行数の設定	3-51

【ゆ】

ユーザページ	2-44
ユーザページのオーバーレイ印字	3-40, 3-41
ユーザページの登録	2-44

【よ】

用紙位置	3-10
用紙位置の微調整	3-13
用紙サイズ	2-2
用紙サイズの設定	3-18
用紙長機能	3-48
用紙長設定	3-49

【り】

リセット処理	app.8
リセット処理の種類	app.8

【れ】

連続用紙	2-2
------	-----

【わ】

ワイド領域モード	2-26
----------	------

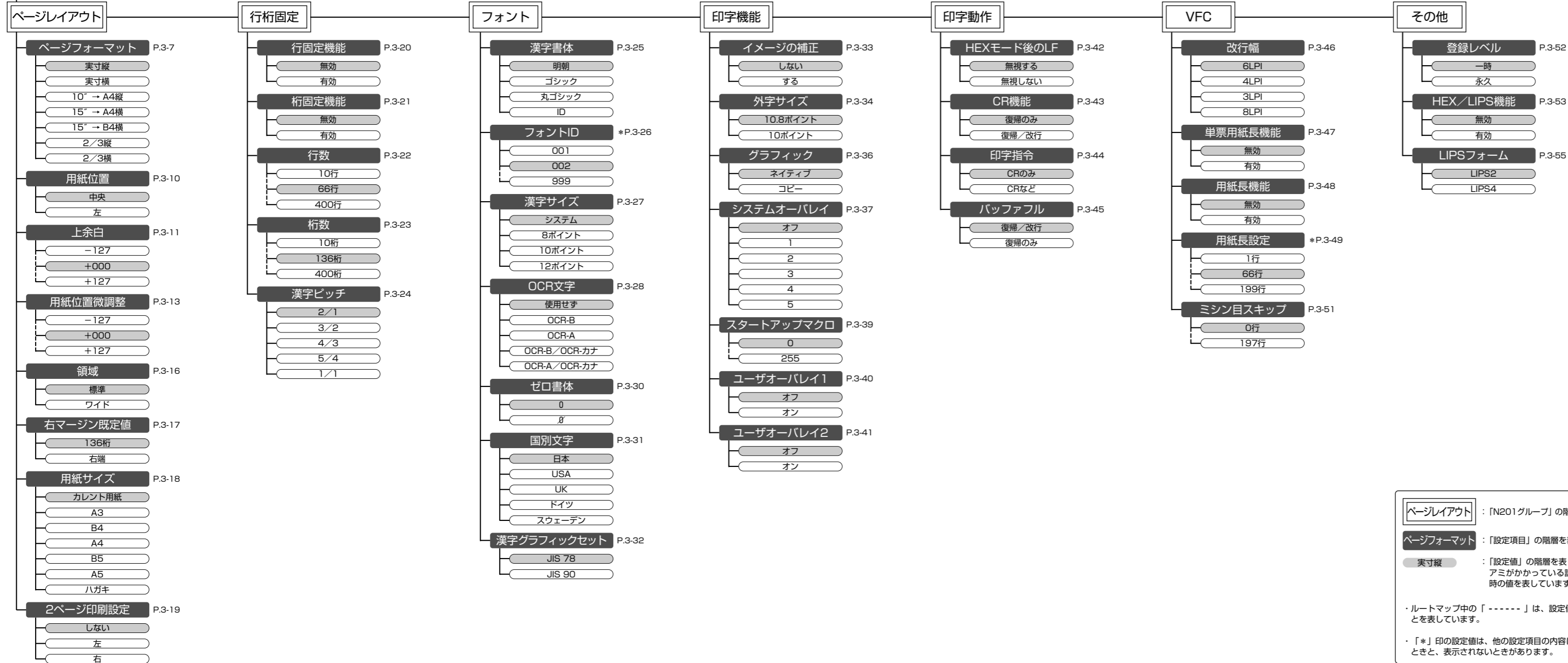
メニュールートマップ (LBPシリーズ)

N201

《N201専用セットアップメニュー》

共通セットアップメニューのグループの階層で「N201セットアップ」を選択すると、N201専用セットアップメニューが表示されます。

N201セットアップ



ページレイアウト : 「N201グループ」の階層を表しています。

ページフォーマット : 「設定項目」の階層を表しています。

実寸縦 : 「設定値」の階層を表しています。
アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値を表しています。

・ルートマップ中の「-----」は、設定値を省略していることを表しています。

・「*」印の設定値は、他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。

メニュールートマップ (iRシリーズ)

N201

《N201専用セットアップメニュー》

LIPS/エミュレーション設定メニューで「N201設定」を選択すると、N201専用セットアップメニューが表示されます。

N201設定

ページレイアウト

- ページフォーマット P.3-7
 - 実寸縦
 - 実寸横
 - 10" → A4縦
 - 15" → A4横
 - 15" → B4横
 - 2/3縦
 - 2/3横
- 用紙位置 P.3-10
 - 中央
 - 左
- 上余白 P.3-11
 - 127
 - 0
 - +127
- 用紙位置微調整 P.3-13
 - 127
 - 0
 - +127
- 領域 P.3-16
 - 標準
 - ワイド
- 右マージン既定値 P.3-17
 - 136桁
 - 右端
- 用紙サイズ P.3-18
 - カレント用紙
 - A3
 - B4
 - A4
 - B5
 - A5
 - ハガキ
- 2ページ印刷設定 P.3-19
 - しない
 - 左
 - 右

行桁固定

- 行固定機能 P.3-20
 - 無効
 - 有効
- 桁固定機能 P.3-21
 - 無効
 - 有効
- 行数 P.3-22
 - 10行
 - 66行
 - 400行
- 桁数 P.3-23
 - 10桁
 - 136桁
 - 400桁
- 漢字ピッチ P.3-24
 - 2/1
 - 3/2
 - 4/3
 - 5/4
 - 1/1

フォント

- 漢字書体 P.3-25
 - 明朝
 - ゴシック
 - 丸ゴシック
 - ID
- フォントID *P.3-26
 - 1
 - 2
 - 999
- 漢字サイズ P.3-27
 - システム
 - 8ポイント
 - 10ポイント
 - 12ポイント
- OCRフォント P.3-28
 - 使用せず
 - OCR-B
 - OCR-A
 - OCR-B/OCR-カナ
 - OCR-A/OCR-カナ
- ゼロ書体 P.3-30
 - 斜線無しゼロ
 - 斜線付きゼロ
- 国別文字 P.3-31
 - 日本
 - USA
 - UK
 - ドイツ
 - スウェーデン
- 漢字グラフィックセット P.3-32
 - JIS 78
 - JIS 90

印字機能

- イメージの補正 P.3-33
 - する
 - しない
- 外字サイズ P.3-34
 - 10.8ポイント
 - 10ポイント
- グラフィック P.3-36
 - ネイティブ
 - コピー
- システムオーバーレイ P.3-37
 - システムオーバーレイ設定
 - する
 - しない
 - オーバーレイ番号
 - 1
 - 2
 - 3
 - 4
 - 5
- スタートアップマクロ P.3-39
 - 0
 - 255
- ユーザオーバーレイ1設定 P.3-40
 - する
 - しない
- ユーザオーバーレイ2設定 P.3-41
 - する
 - しない

印字動作

- HEX後の改行設定 P.3-42
 - 無視する
 - 無視しない
- CR機能 P.3-43
 - 復帰のみ
 - 復帰/改行
- 印字指令 P.3-44
 - CRのみ
 - CRなど
- バッファフル P.3-45
 - 復帰/改行
 - 復帰のみ

VFC

- 改行幅 P.3-46
 - 6 lpi
 - 4 lpi
 - 3 lpi
 - 8 lpi
- 単票用紙長機能 P.3-47
 - 無効
 - 有効
- 用紙長機能 P.3-48
 - 無効
 - 有効
- 用紙長設定 *P.3-49
 - 1行
 - 66行
 - 199行
- ミシン目スキップ P.3-51
 - 0行
 - 199行

その他

- 登録レベル P.3-52
 - 一時
 - 永久
- HEX/LIPS機能 P.3-53
 - 無効
 - 有効
- LIPSフォーム P.3-55
 - LIPS2
 - LIPS4

ページレイアウト : 「N201グループ」の階層を表しています。

ページフォーマット : 「設定項目」の階層を表しています。

実寸縦 : 「設定値」の階層を表しています。
アミがかかっている設定値は、工場出荷時の値を表しています。

・ルートマップ中の「-----」は、設定値を省略していることを表しています。

・「*」印の設定値は、他の設定項目の内容によって表示されるときと、表示されないときがあります。

Canon